

平成13年度流通構造等分析調査

葬儀にかかわる費用等調査報告書

平成14年3月

 東京都生活文化局

ま え が き

東京都では、これまで物価・消費者行政の一環として、生活に必要な物資等の店頭価格に関する調査を毎月実施し、その結果を消費者および関係団体に情報提供してきました。

平成8年度からは、最終消費段階の価格ばかりでなく、卸会社や製造会社の流通構造に踏み込んだ調査をおこない、流通段階における価格形成の実態を調査・分析し、消費者の自主的・合理的な消費行動に役立つ価格情報を提供するため、流通構造等分析調査を行っています。

今回は、誰にでも訪れる「死」ともなう儀式である「葬儀」に焦点をあてて調査することにしました。

家族の「死」「葬儀」に直面することは、誰にでも突然に起こり得ることですが、日常生活の中ではなかなか考えることがありません。また契約を締結するときには必ずしも冷静な判断ができるとは限りません。葬儀は、高額のサービスであるにもかかわらず一般的な価格情報が少なく、判断基準がないなかで契約しなければなりません。

東京都では、葬儀価格等について平成7年度に調査を実施しましたが、その後6年が経過しました。この間に社会状況や経済状況は目まぐるしく変わっており、それにつれて都民の意識も大きく変わっています。

本調査では、葬儀に関わるサービスや費用について調査し、消費者に一つの判断基準を提供するとともに、都民が実際に葬儀の際に支払った費用について前回調査（平成7年度）と比較を行い、とりまとめたものです。各方面で広く御活用いただければ幸いです。

この調査にあたり、関係業界の皆様から、貴重な情報やご意見をいただきました。調査・アンケートに御協力頂きました皆様に厚く御礼申し上げます。

平成14年3月

東京都生活文化局

目 次

調査の概要	1
調査結果の概要	5
1 実態調査	7
2 葬儀についての意識調査結果	11
3 香典調査	14
4 提 言	15
企業側調査結果	17
1 企業の概要	19
(1) 本社、支社別	19
(2) 組織形態	19
(3) 資本金	20
(4) 従業員数	20
(5) 兼業の業種	20
2 経営実態	21
(1) 取扱っている葬儀サービス	21
(2) 費用の設定	21
(3) 請負時の見積もり	22
(4) 葬儀場所別取扱い状況	22
(5) 関連費用の祭壇等費用への扱い	23
(6) 葬儀費用	23
(7) 飲食代	29
(8) 寺院への支払い	29
(9) 葬儀場所別葬儀費用	30
(10) 葬儀取り扱い件数	32
(11) 継続的に付き合いがある病院	33
(12) 葬儀の際のトラブル	33
(13) 遺族の要望	33
(14) 生前契約の受付け	34
(15) 将来のサービス	34
(16) 今後の葬儀について	35
(17) 葬儀について心がけておくこと	35
都民側調査の結果	37
1 意識調査	39
(1) 葬儀についての考え	39

(2) 家族の葬儀について	40
家族の葬儀についての考え	40
家族の葬儀の規模	41
家族の葬儀のための準備の有無	42
準備の内容	42
葬儀社を選択するときに何を重視するか	43
(3) 自分の葬儀について	44
自分の葬儀についての準備の有無	44
準備の内容	45
自分の葬儀の規模について	48
自分の葬儀の希望様式について	50
まとめ	51
(4) 生前葬について	51
生前葬の認知度	51
生前葬への関心	52
(5) 自分のお墓について	52
(6) 散骨について	53
散骨の意向	53
散骨したい理由	54
(7) 生前予約システム	55
生前予約システムの認知	55
生前予約システムの利用意向	56
2 香典調査	57
(1) この1年間の参列状況	57
(2) この1年間の参列回数	57
(3) 香典支出状況	59
金額	59
支出回数	59
(4) 香典返し	60
3 葬儀を行った経験	61
(1) 家族の葬儀を行った経験	61
(2) 故人の亡くなられた場所	61
(3) 病院の葬儀社との契約の有無	61
病院の葬儀社を選んだ理由	62
病院の葬儀社を選ばなかった理由	63
(4) 執り行った葬儀の形式	63
(5) 葬儀の会場	63
葬儀の実施会場	63
斎場選択の理由	65

4 葬儀費用	66
(1) 葬儀費用支払い状況	66
利用者から見た葬儀費用の負担状況	66
金額の分布	68
(2) 葬儀の費用の決め方	70
費用の決め方	70
費用の決定要因	71
(3) 見積書の受け取り	72
(4) 支払った金額と見積もりとの差	72
(5) 葬儀の費用についての印象	73
葬儀社への支払い	73
寺院関係への支払い	73
香典返し	73
(6) 予想外の出費の有無	74
(7) お葬式で納得のいかなかったところ	75
5 自由意見	77
調査票及び単純集計	81

調査の概要

1 調査の目的

「死」とともなう儀式である「葬儀」に直面することは、誰にでも突然に起こり得ることであるが、日常生活の中ではなかなか考えることがなく、また契約を締結するときには必ずしも冷静な判断ができるとは限らない。さらに、高額のサービスであるにもかかわらず一般的な価格情報が少なく、判断基準がないなかで契約し、後で後悔することもある。都では平成7年度に調査を実施したが、その後6年が経過した。

本調査では、葬儀に関わるサービスや費用について調査し、消費者に一つの判断基準を提供する。同時に、前回調査（平成7年度）や都民が実際に葬儀の際に支払った費用と比較を行う。また、都民の葬儀に関する価値観や意識、日常の交際に伴う香典等について調査し、都民および関係事業者へ情報提供する。

- 1) 葬祭事業者へのアンケートによる価格の調査と、前回調査（平成7年度）との比較
- 2) 都民が5年以内に葬儀を行った際に実際に支払った葬儀費用および前回調査との比較、事業者調査結果との比較
- 3) 都民が葬儀参列の際に実際に支払った香典額
- 4) 葬儀に関する都民の意識

2 調査の設計

本調査は、「都民調査」「企業等調査」「ヒアリング調査」から成り立っている。

3 調査の全体概要

都民調査

1) 調査期間

平成13年8月1日～8月31日

2) 調査対象

都内在住・在勤者（東京都物価調査員・東京都消費生活モニター）

3) 標本数

1500（東京都物価調査員一人2部・東京都消費生活モニター一人1部）

4) 調査方法

留置法

5) 有効回答数

1344

6) 回答者のプロフィール

		性 別				合 計	
		女		男		件 数	割合(%)
		件 数	割合(%)	件 数	割合(%)		
年 齢	20 代	67	6.4	24	8.1	91	6.8
	30 代	170	16.3	33	11.1	203	15.1
	40 代	202	19.3	41	13.8	243	18.1
	50 代	249	23.8	48	16.1	297	22.1
	60 代	249	23.8	107	35.9	356	26.5
	70代以上	109	10.4	45	15.1	154	11.5
	無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	合 計	1046	100.0	298	100.0	1344	100.0

企業等調査

1) 調査期間

平成13年 8月1日～9月10日

2) 調査対象

都内(島嶼部を除く)所在の葬儀関連企業および団体

3) 標本数

500

4) 調査方法

郵送依頼・郵送回収

5) 有効回答数

回収166通 有効回答155

ヒアリング調査

1) 対 象

葬祭事業者(三社)

2) 期 間

平成13年12月

調査結果の概要

1. 実態調査

(1) 葬儀費用の実態

葬儀企業の料金比較（企業アンケート結果より）

企業アンケート結果から、葬儀料金は最高クラスで 807 万円、最低クラスで 89 万円、最多価格帯では 175 万円という結果になった。前回調査よりも、1 割前後安くなっている。

最高と最低の倍率は 9.1 倍となっており、最も価格差が大きかったのは、「祭壇」と「お棺」である。祭壇とお棺の価格は、葬儀費用全体のなかで約 7 割を占めていることから、この 2 つが葬儀グレードを決定しているとみられる。なお、比較のため、23 区民ならだれでも利用できる区民葬の一番安価なものを掲げた。「祭壇」「お棺」「火葬」で 15 万 4 千円であるが、実際の葬儀の際にはこれ以外にも費用がかかるため、注意が必要である。

また、葬儀会場別の比較では、寺院や民間斎場での費用が高めとなっている。(本文 P23)

葬儀費前回調査比較

平均値 (単位千円)

		最多クラス			最高クラス		最低クラス		最高と最低の比較		(参考) 区民葬C
		13年度 (A)	7年度 (B)	Bを100とした指数	13年度 (C)	7年度 (D)	13年度 (E)	7年度 (F)	13年度 (C/E)	7年度 (D/F)	
項目別 価格調査	祭壇 (1)	614.7	652.3	94.2	2838.0	2832.7	208.8	183.3	13.6	15.5	91.0 (2)
	お棺	126.9	110.7	114.6	907.6	497.7	63.1	46.0	14.4	10.8	(3)
	ドライアイス	11.9	11.2	106.3	13.8	19.6	8.9	9.0	1.6	2.2	
	遺影写真	28.3	23.7	119.4	64.8	71.4	20.2	18.4	3.2	3.9	
	生花	32.3	14.1	229.1	115.4	43.5	15.9	10.4	7.3	4.2	
	天幕等	102.5	99.0	103.5	617.1	810.8	38.0	33.5	16.2	24.2	
	その他の装具	17.0	15.0	113.3							
	会葬礼状	17.5	6.0	291.7	47.7	12.9	8.0	3.9	6.0	3.3	
	霊台車	19.7	19.4	101.5	39.9	79.1	14.4	13.9	2.8	5.7	
	霊柩車	38.5	28.7	134.1	54.9	50.0	20.6	16.9	2.7	3.0	10.4
	小計 (A)	1009.3	980.1	103.0	4699.2	4417.7	397.9	335.3	11.8	13.2	100.4
	火葬料	52.4	52.0	100.8	163.7	157.6	42.1	20.5	3.9	7.7	43.4
	骨壺	15.3	15.9	96.2	46.5	47.8	11.3	10.0	4.1	4.8	9.8
	ハイヤー	39.5	44.6	88.6	54.3	78.8	33.8	30.9	1.6	2.6	
	貸衣装	12.6	12.3	102.4	20.5	22.2	11.4	10.6	1.8	2.1	
	心付け	22.5	25.4	88.6	39.7	64.0	12.3	11.4	3.2	5.6	
	式場使用料	198.3	228.1	86.9	624.5	677.6	80.5	93.9	7.8	7.2	
	小計 (B)	340.6	378.3	90.0	949.2	1048.0	191.4	177.3	5.0	5.9	53.2
	飲食代 (C)	402.3	535.7	75.1	1371.2	1591.3	117.5	135.2	11.7	11.8	
	(1人当り単価)	4.6	4.7	97.9	6.4	8.2	3.9	2.6	1.6	3.2	
A+B+C	1752.2	1894.1	92.5	7019.6	7057.0	706.8	647.8	9.9	10.9	153.6 (4)	
寺院への支払い (内戒名料)	439.5 245.3	501.3 330.8	87.7 74.2	1386.5 909.2	1512.8 992.1	201.7 114.6	188.5 110.5	6.9 7.9	8.0 9.0		
上記小計 (A) 場所別 集計項目	自宅	860.0	990.0	86.9	2116.5	2704.0	318.6	327.0	6.6	8.3	
	寺院	1150.8	1475.0	78.0	3863.1	4857.0	481.8	597.0	8.0	8.1	
	教会	855.2	1019.0	83.9	2237.8	2741.0	395.5	460.0	5.7	6.0	
	集会場	808.4	843.0	95.9	1732.8	1792.0	359.0	385.0	4.8	4.7	
	公営斎場	855.9	1196.0	71.6	2129.9	2733.0	385.1	458.0	5.5	6.0	
	民営の斎場	1028.4	1218.0	84.4	3226.8	3819.0	440.6	454.0	7.3	8.4	
	平均	926.5	1123.5	83.5	2551.2	3107.7	396.8	446.8	6.4	7.0	

1 事業者毎に価格設定は異なるため、祭壇価格に棺 遺影写真等が含まれる(セット価格)ものがある。

2 祭壇価格に(3)のお棺価格と若干の付属品価格を含みます。

4 価格表示のある項目以外は含まれませんので、このほかに費用がかかります。

利用者から見た葬儀費用の負担状況（都民アンケート結果より）

過去5年間に実際に都内での葬儀費用を負担した都民へのアンケート調査結果から、平均的な葬儀社への支払いの負担額は、176万9千円であり、これは前回調査より約18万円多いという結果となった。

（単位：千円）

項目	回答額					一人当りの金額			
	件数 (件)	平均価格		最高価格	最低価格	件数 (件)	平均価格	最高価格	最低価格
		2001年	1995年 (参考)						
葬儀社への支払い	363	1768.8	1592.8	8,500	38				
そのうち飲食・接待費	276	293.2		3,000	0	273	2.3	100	0
寺院関係への支払い	313	642.7	637.9	2,500	0				
そのうち戒名料	231	381.7	402.4	2,000	0				
香典返し	329	911.2	906.6	6,000	0	326	5.6	94	0
飲食・接待費	223	362.3	451.8	2,500	0	222	2.4	26	0
その他	151	232.4	479.2	3,000	0				
費用の合計	364	3,458.6		16,500	350				

企業アンケート・都民アンケートから見える葬儀費用の実態

葬儀にかかる費用の総額は平均346万円

葬儀に必要な費用は大きく分けて、葬儀社へ支払う『葬儀費用』『寺院等へのお礼』『飲食費』があり、後日『香典返し』も必要となる。

企業アンケートおよび都民アンケートから、飲食費を含めた葬儀料金は176万円前後であり、これに寺院への支払や香典返し等が加わるので、見かけ上都民が負担する額は平均で300万円を超えるのが実態である。

葬儀費用のなかで最も大きなものは祭壇であり、葬儀費用全体の6割以上を占めている。最高クラスでは祭壇だけで280万円以上の例もあるが、祭壇は反復使用されるのが普通であり、一回あたりの原価（償却費含む）は低額であることから、『祭壇価格』とは葬儀社の人件費を含むサービス料金がすべて含まれている価格であると考えられる。

(2) 葬儀内容の決定

消費者は葬儀社をどのようにして決めているか

1) 葬儀社を選択するとき何を重視するか

家族の葬儀を行なう際の葬儀社の選択基準をきいたところ、「価格体系が明朗である」は70.5%の人が選択している。次いで、「疑問点を丁寧に説明してくれる」が58.4%であり、「出費をおさえられる」は21.5%にとどまった。消費者は、単に安さだけを求めているのではなく、納得できるサービスと価格を求めているといえる。

2) 病院出入りの葬儀社との契約は2割弱

親族が病院で亡くなったと回答した人は82.1%で、それ以外の場所は15.9%であった。

親族が病院で亡くなった場合、葬儀社の決定方法について聞いたところ、「病院の葬儀社と契約した」が17.5%、「別の葬儀社と契約した」が61.6%、「一部のみ病院出入りの葬儀社と契約した（病院から自宅等へ搬送）」が9.1%となっている。

病院の葬儀社を選んだ理由

病院の葬儀社を選んだ人にその理由をきいたところ、「最も妥当であった」という人は4.6%にすぎず、「他に知っている葬儀社がない」55.4%、「なんとなく」12.3%という結果になった。「病院に強く勧められた」という人も7.7%いた。

病院で強く勧められる例は少ないと思われるが、特に知っている葬儀社がない場合、ほとんどの人がなんとなく病院出入りの葬儀社を選択している実態がうかがわれる。

また、複数の葬儀社へのインタビューによれば、病院の霊安室での契約率が3～5割に達する葬儀社もあるという。事業の性格上、広告宣伝を行うことが難しいことから、病院との提携は新規顧客獲得のために極めて有効であり、企業アンケート調査でも、病院と提携関係にある葬儀社は、全体の4割を占める結果となっている。

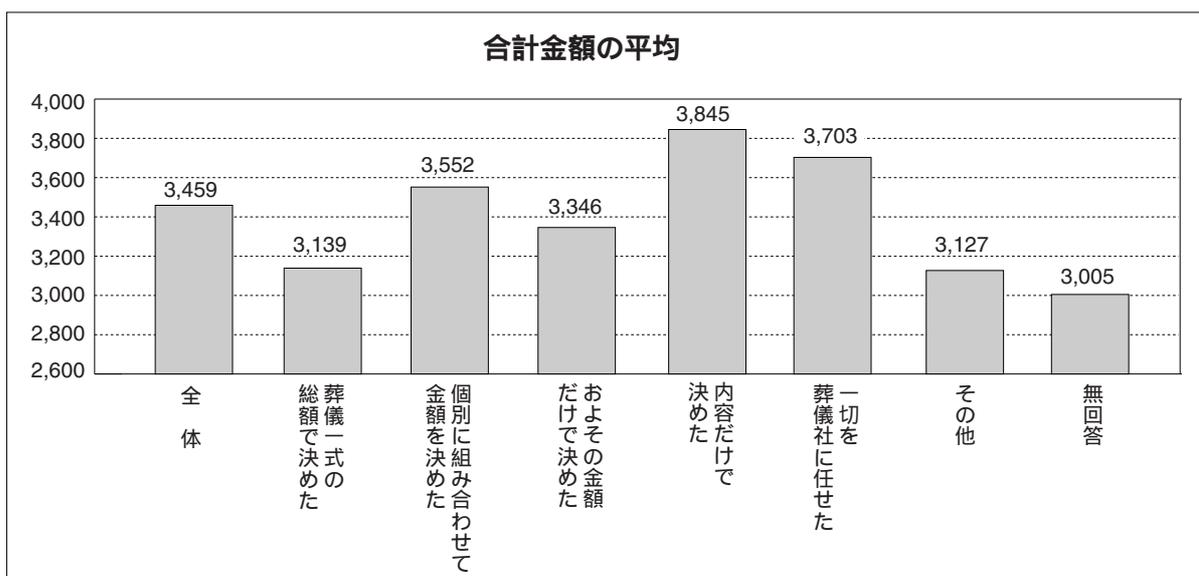
病院の葬儀社を選ばなかった理由

一方、病院出入りの葬儀社を選択しなかった人に、理由をきいたところ、「互助会に入っていた」(21%)「友人・知人の紹介」(19%)「自分で探した」(16%)などに分かれた。「その他」が24%と多いが、その理由では、「自宅に近い」「お寺(教会)の紹介」「前からの知り合いの葬儀社があった」等の理由が多い。葬儀の性格上、地域に近い事業者が選定される比率が高いことをしめしている。

葬儀のグレード(費用)はどのようにして決めたか

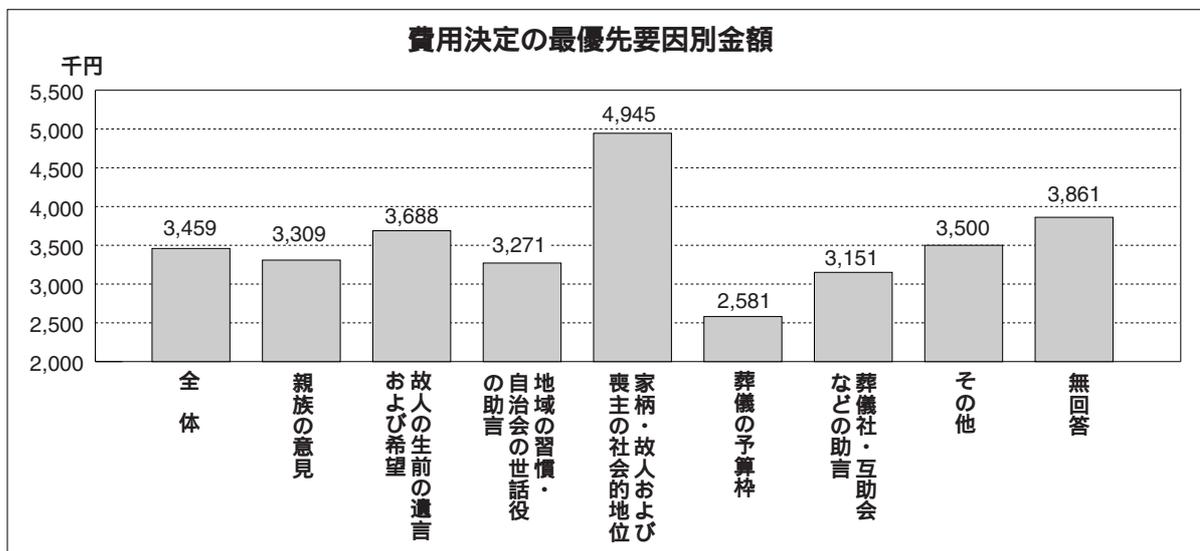
1) 費用の決め方

費用の決め方による金額の平均では、「その他」を除けば、「総額で決めた」ひとが、金額が一番低く、「内容だけで決めた」「一切を葬儀社に任せた」人が高めとなっている。



2) 費用の決定要因 「家柄・地位」を重視した人は高額な費用

費用決定の最優先要因と支払った平均費用の関係をみると、「家柄・地位」を優先した人の支払った費用が一番高く、「葬儀の予算枠」を優先した人の支払った費用が一番安い。その差は平均で230万円である。また、「故人の生前の希望」を優先したケースは、二番目に高いという結果になった。



(3) 葬儀業者とサービスの特徴

都内の葬祭事業者のプロフィール

アンケート調査より

資本金は、「1千万円～3千万円未満」が4割を占め、「5百万未満」が3割である。また、従業員数は「5人から9人」が4割、「4人以下」と「10人から29人」がともに4分の1と小規模事業者が多い。

また、1ヶ月の葬儀取り扱い件数は平均で26.8件、最高は450件である。「6件未満」が最も多く34.2%を占めている。出入りしている病院の有無については、「ある」が40.6%、「ない」が55.5%であった。

参考（平成11年東京都事業所統計調査より）

小規模経営が多い（9人以下で65%）

事業所規模	全体	1～4人	5～9人	10～29人	30～99人	100～299人	300人以上
件数	763	232	264	180	68	14	53
割合	100.0%	30.4%	34.6%	23.6%	8.9%	1.8%	6.9%

平成8年から11年までの事業所数は、事業所統計調査によると、総数ではプラス8件にすぎないが、入れ替わりは15%である。ほぼ、飽和状態にあるといえる。

葬儀業者の特徴

聞き取り調査より

- ・扱う対象が『人間の死』という非日常的なことであり、休日・夜間関係なく仕事をするが、繁忙期と閑散期の波があるため、人材派遣を利用する業者が多い。
- ・給与の実態：歩合制をとる会社が多い。

- ・人件費や諸経費を見積りに計上せず、祭壇等の費用（使用料）として請求する。
- ・契約がとれれば、扱う金額が他のサービスに較べて大きい。
- ・新規顧客開拓のための派手な広告ができにくく、事前に積極的な営業活動をすると逆効果になる。新規顧客開拓のチャンスは、病院の霊安室が大きな割合を占める。

葬儀サービスと料金の特徴

葬儀契約は請負契約であり、葬儀社は祭壇やお棺等の設備を持参して葬儀全体を円滑に進める責務を負っている。コミュニティによる相互扶助が行われなくなった都市部では、特に葬儀社から提供される人的サービスが葬家にとって大事である。

葬儀は様式化が進んでおり、お通夜・告別式を経て茶毘に付するのが一般的であり、死者はお棺に入れて安置し、祭壇・生花を飾るという形で行われるものが大半である。その意味でサービス内容はある程度決まっているが、価格差は大きい。この価格差は、祭壇やお棺のグレードで決まると説明されているが、実際は葬儀サービス全体の価格である。

それでは、この価格はどのように決定されているのか。他のサービスの価格のように「**原価（仕入価格、減価償却費、人件費、経費）＋利益＝価格**」で決まっているものではない。しかし、葬儀社自身でも明確に原価計算を行っていないケースも多く、この点は不明確である。あえていえば、『業界の常識』あるいは『市場価格』で決まっているといえる。

2 葬儀についての意識調査結果

(1) 葬儀とは何か

葬儀とはどのようなものであると考えているかについてきいたところ、「葬儀は故人とのお別れをするための慣習的なものである」と考える人が65.6%を占めている。次いで、「葬儀は故人の冥福を祈る宗教的なものである」とした人が24.6%であった。性・年代別に見ると「故人とのお別れをするための慣習的なものである」は若年層に多い。逆に「故人の冥福を祈る宗教的なものである」とした人の割合は、高年齢層の方が多くなっている。若年層に「故人とのお別れをするための慣習的なものである」と考える人が多いため、今後このように考える人が全体的に増えてくることが予想される。

(2) 家族の葬儀 普段の考えと実際の差

家族の葬儀についての考え

家族の葬儀を行なう場合の考えについてきいたところ、「故人の遺志を反映したものにしたい」が7割弱を占め、「人並みに行えればよい」の4倍以上となった。

ところが、実際に家族の葬儀を行った人にどのように費用を決定したかを聞くと、「故人の生前の遺言および希望」によって費用を決定した人は、意識調査において家族の葬儀を「故人の遺志を反映したものにしたい」と回答した人の14%にすぎない。34%は「親族の意見」、18%は「葬儀社・互助会の助言」によって決定しており、この二つで過半数を超える。現実の葬儀の際には、故人の生前の意志よりも、親族・葬儀社・地域の習慣などの外部からの意見等に従う人が多数をしめている。

		実際の葬儀費用決定の最優先要因								小計
		親族の意見	故人の生前の遺言および希望	地域の習慣・自治会の世話役の助言	家柄・故人および喪主の社会的地位	葬儀の予算枠	葬儀社・互助会などの助言	その他	無回答	
家族の葬儀に対する考え	故人の遺志を反映したものにしたい	96	39	17	26	24	52	9	20	283
		34%	14%	6%	9%	8%	18%	3%	7%	100%
	遺族の気の済むようにしたい	20	4	9	8	4	13	0	4	62
		32%	6%	15%	13%	6%	21%	0%	6%	100%
	人並みに行えればよい	31	3	10	8	10	22	4	6	94
		33%	3%	11%	9%	11%	23%	4%	6%	100%
	その他	1	0	0	2	1	0	2	0	6
無回答	3	0	0	1	0	1	0	3	8	
全体	151	46	36	45	39	88	15	33	453	
	33%	10%	8%	10%	9%	19%	3%	7%	100%	

葬儀の規模 「ごんまり」か「人並みに」か

1) 家族の葬儀は人並みに、自分の葬儀はごんまりと

家族の葬儀の規模については、「多少のお金はかかっても人並みの事は行いたい」の割合が40.9%であり、「親しい人とごんまりと行いたい」が51.0%と過半数を超えた。

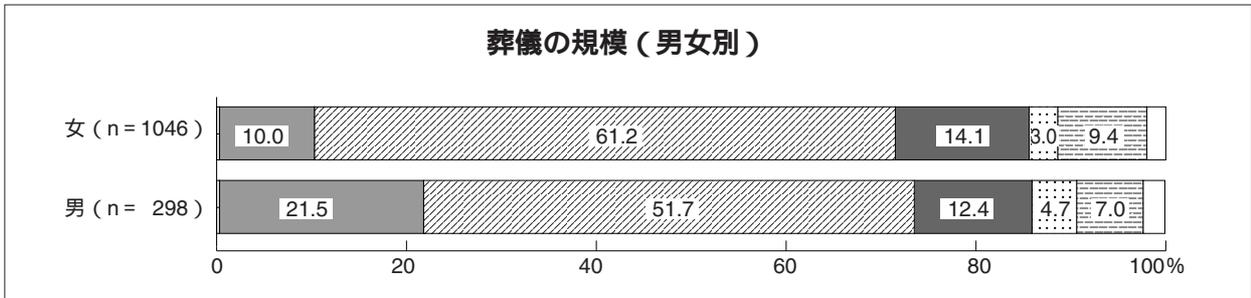
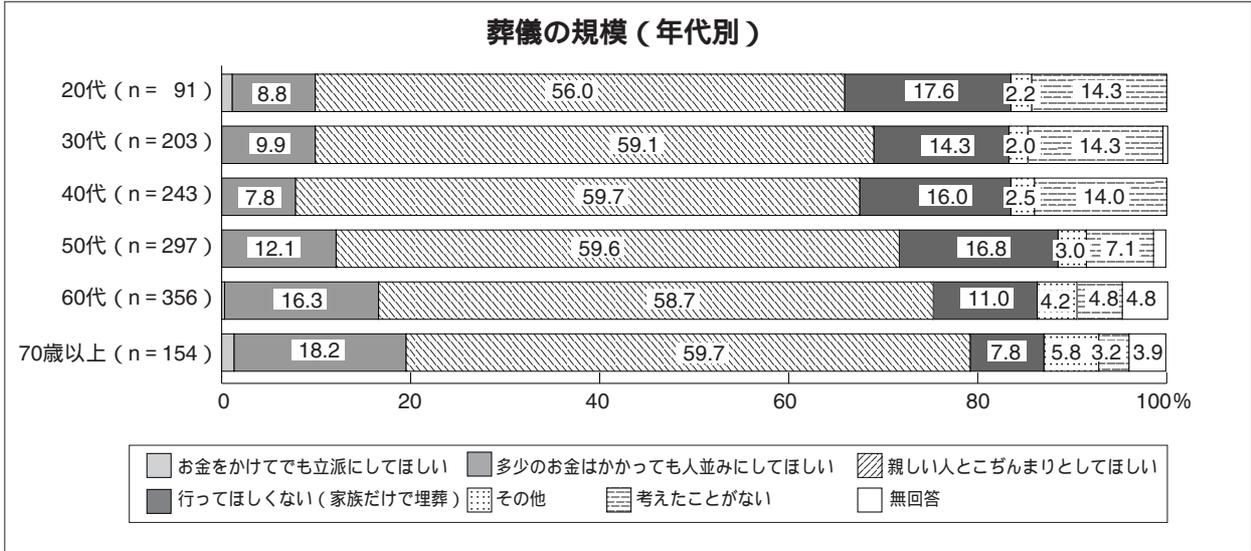
自分の葬儀の規模についてきいたところ、「親しい人とごんまりと行ってほしい」(59.1%)が約6割となり、次いで「行ってほしくない」(13.8%)、「多少のお金はかかっても人並みにしてほしい」(12.6%)、「考えたことがない」(8.9%)の順となっている。

また、「家族の葬儀は人並みにしても、自分は簡略なものでよい」と考える人が全体の約2割存在する。

自由意見では、3分の1の人が「費用のかからない葬儀」2割弱の人が「形式にとられない葬儀」を望んでいた。

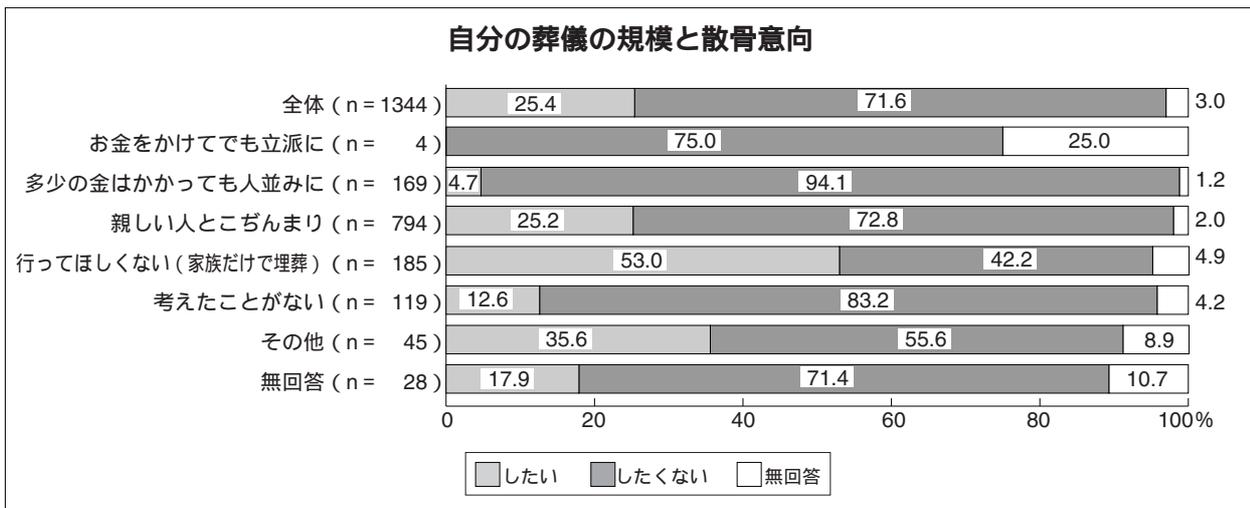
2) 年代別葬儀規模の希望

年代別に見ると、「親しい人とごんまりと行ってほしい」は全ての年代で6割近くを占めている。60代・70代以上の高年齢層では、「多少のお金はかかっても人並みにしてほしい」が他の年代よりも多いが、「葬儀は行ってほしくない」は他の年代よりも少なくなっている。また、女性よりも男性の方が「人並みに」行ってほしい人の割合が多い。



3) 散骨希望者は全体の4分の1

散骨希望者は、全体の4分の1であったが、自分の葬儀の規模についての考え方との関係でみると、「立派な葬儀」「人並みの葬儀」を希望する人に散骨を希望する人がほとんどいないのに対して、「葬儀を行って欲しくない(家族だけで埋葬してほしい)」と回答したひとの53%が散骨を希望している。



(3) 葬儀の会場

自宅葬の大幅な減少（都民アンケート）

葬儀の会場は、「自宅」が11.3%で、前回調査の42.0%を大きく下回った。今回の調査では、自宅以外で行った人の割合が8割以上を占めた。

葬儀をおこなった場所のうちでは、「民間の斎場」で行った人が最も多く、葬儀を行った人の31%を占める。以下、「寺の斎場」(26%)「公営の斎場」(15%)が続いている。

葬儀場所別取扱い状況（企業アンケート）

この1年間に扱った葬儀は、どのような斎場が多いかきいたところ、1番目としては、「民営の斎場」(39.4%)、次に「火葬場付近の斎場」(23.2%)「寺院」(11.6%)の順である。

インタビュー

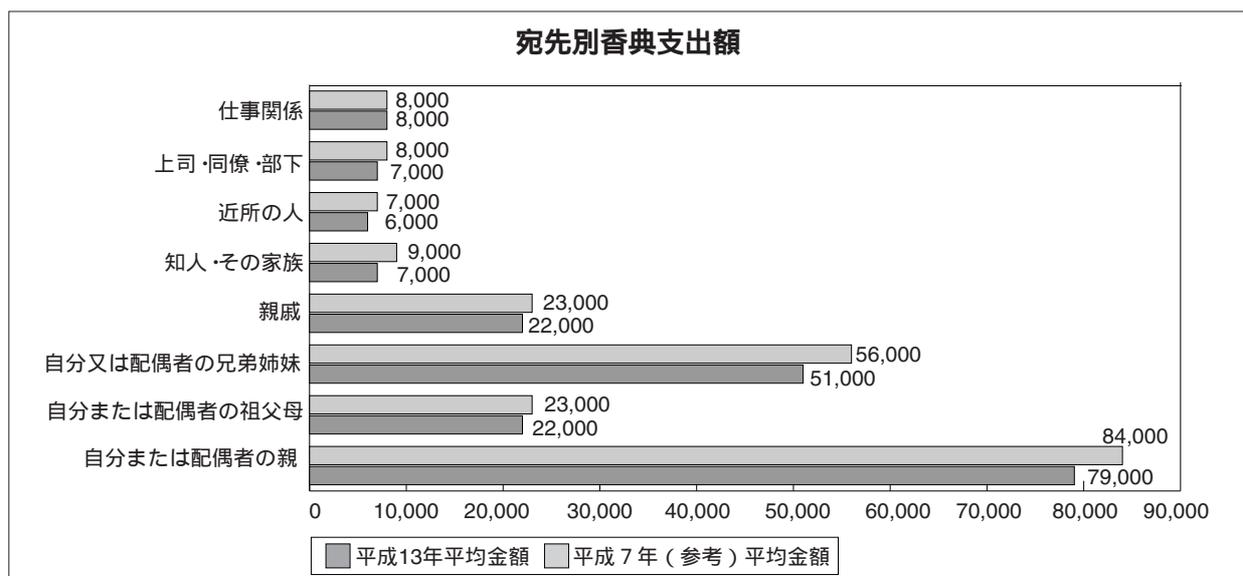
葬祭事業者へのインタビューでは、「実感として、ここ5～6年で急激に自宅で葬儀を行う人が減少し、民間の斎場で行う人が増えている」とのことである。その理由は、『斎場で行うと、遺族が楽である』『近所に迷惑をかけたくない』等、遺族の意識の変化と、葬祭事業者側にとっても自宅で行う葬儀に比べ、手間がかからないことがあげられた。

3 香典調査

(1) 香典支出状況

金額

一回当たりの香典額を宛先別に見ると、「自分または配偶者の親」79000円、「自分または配偶者の兄弟姉妹」51000円、「自分または配偶者の祖父母」22000円、「親戚」22000円などとなっている。また、前回調査と比較すると、全体的に金額が低くなっている。



年代別にみると、年間の支出額が一番低いのは20代であり、1年間で平均14000円である。また、一番多いのは50代で58000円、次いで60代の56000円となっている。宛先別年代別の支出金額は表のとおりである。

年代別香典支払額

	宛先別香典 1 回あたりの支払額				年 間 平 均 支 払 額
	親 族	親 戚	友 人・ 知 人 等	仕事関係	
全体	59,000	22,000	7,000	8,000	49,000
20代	22,000	9,000	8,000	6,000	14,000
30代	38,000	11,000	5,000	5,000	22,000
40代	57,000	19,000	6,000	6,000	35,000
50代	75,000	21,000	7,000	8,000	58,000
60代	60,000	24,000	8,000	9,000	56,000
70代以上	48,000	27,000	8,000	10,000	54,000

4 提 言

(1) 葬儀費用は高いか

葬儀社への支払いを「高かった」と感じている人が22.1%であり、その支払額の平均は212万3千円である。「どちらとも言えない」と感じている人は60.0%で平均支払額は171万9千円、「安かった」と感じている人は9.1%で平均支払額は124万6千円である。

実際に葬儀経験をもつ都民のうち2割が「高い」という印象をもっていることで、ただちに現在の葬儀費用が高いとは断言できないものの、この5年間のサービス価格全体の変化と比較すると、葬儀費用が高値安定で推移しているのも事実である。

こうした背景には、葬儀が消費者にとって非日常的な行事であり、一般的な相場感覚を持ちにくいことや、宗教的な色彩が強いために価格交渉がタブー視されてきたことがある。また、多くの消費者が「親族の死」という冷静な判断を行いにくい精神状態のもとで契約せざるを得ないという特殊事情もある。これらを背景として**葬儀社間での価格競争が起こりにくい**ことが高値安定につながっている可能性もある。

このため、葬儀が終了し、冷静に振り返ると、「特に価格の決定方法が釈然としない」という不満をもつ消費者は多い。実際に自由意見でも、「日本の慣習として何らかの形で葬儀は行いたい、非常に費用がかかり、また料金システムが不明瞭である」というものが多く、「自分の葬儀では形式にとらわれない、簡素ながらも心のこもった式を近親者だけで行いたい」という意見が目立っている。

(2) 消費者に対して

契約はあわてず慎重に

知っている葬儀社がない場合は、病院出入りの葬儀社に依頼するのは手っ取り早い方法ではあるが、気が動転していたため病院の霊安室で高額の契約を結ばされた例もあり、契約はあわてず慎重に行うことが望まれる。病院で契約する例は2割にも満たない。遺体の搬送のみを依頼する例も多く、その後に葬儀社を決定しても十分に間に合う。よく比較検討することが、その後の契約トラブルを避けることにつながる。

葬儀のグレードは祭壇ではない

葬儀内容の決定にあたっては、祭壇のグレード（金額）のみに目が向きがちだが、葬儀全

体を円滑に進めるためには、遺族の役割分担や葬儀社からの派遣人員の数やサービス内容と、料金を見比べながら決定することが望ましい。

見栄をはらない

諸事情から葬儀に多額の予算をかけられない場合には、見栄を張ることなく葬儀社に率直に伝え、相談することが必要である。

納得できる葬儀を行うために心がけておくこと

合理的な葬儀を行うためには、普段から家族と葬儀の方法、規模について具体的に話し合い、どのような葬儀を行いたいのが自分なりのイメージを持っておく。また、信頼できる複数の葬儀社から見積もりを取っておくこともひとつの方法である。

(3) 業界に対して

料金提示は祭壇使用料にすべて含める方法を改め、人件費・サービス料金等を明示してほしい

アンケート結果からは、消費者の多くが葬儀料金とサービスの内容との関係に不満をもっていることが窺われる。葬儀の価格は、祭壇等のレンタル料に葬儀社の提供するノウハウや人員の派遣の費用が含まれた**葬儀サービス全体の価格**である。しかし、あたかも祭壇やお棺の賃貸料であるかのような説明をしているため、説明が曖昧になり、不信感を呼んでいる可能性もある。

料金提示については、祭壇使用料にすべてを含める価格提示の方法を改め、葬儀社として提供するサービスの内容と価格について、事前にある程度明示しながら消費者の納得を得ることが必要である。

設備の賃貸料・サービス費など、消費者からみて明朗でわかりやすく、比較可能な料金体系を

消費者はより簡素な葬儀を望む人が若い人を中心にすでに過半数を超えており、この流れのなかで、必要なサービスのみを選択できるような形態を望む声があがっている。現在の一括セット価格方式は消費者ニーズに合わなくなっている可能性もある。最低限、祭壇のグレードと価格について、消費者が写真等で確認できるよう明確にすることが望まれる。

また、祭壇費用だけでなく、関連費用も含めた葬儀全体のアドバイスを行うことも、事業者として信頼を得られる方法である。

その他

当然のことながら、消費者が身内の死による精神的混乱状態にあることや、消費者の無知につけ込むようなセールストークは控えるべきである。

企業側の調査の結果

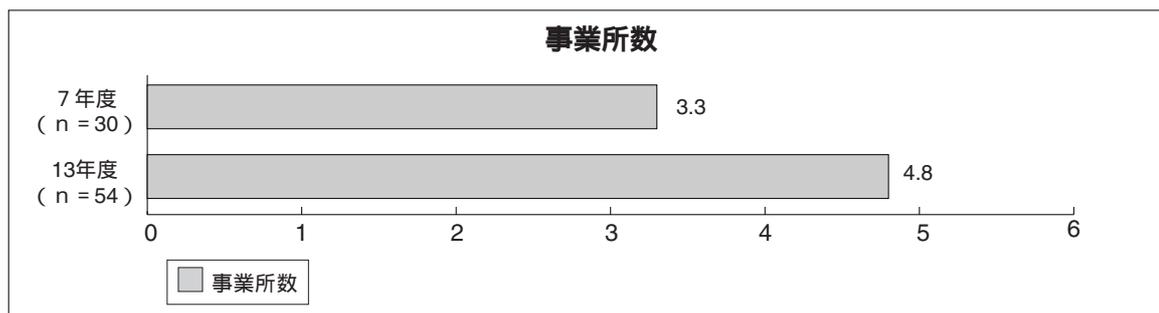
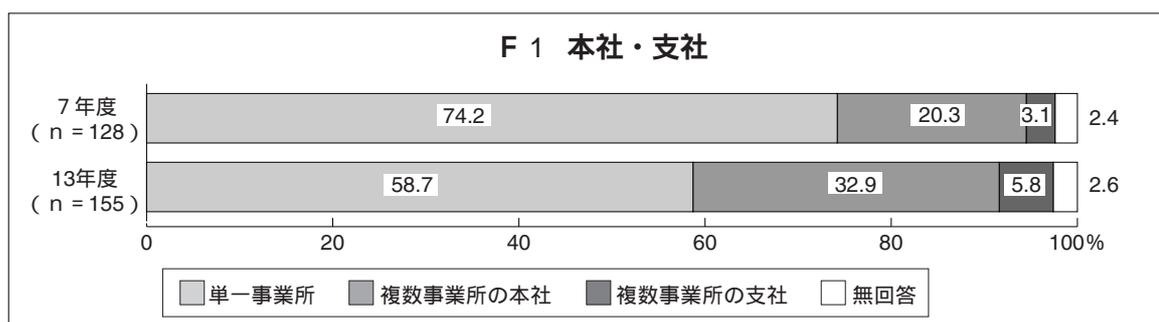
企業側調査の結果

1 企業の概要

(1) 本社、支社別

F 1 貴社（特定された事業所）は本社ですか、支社ですか。

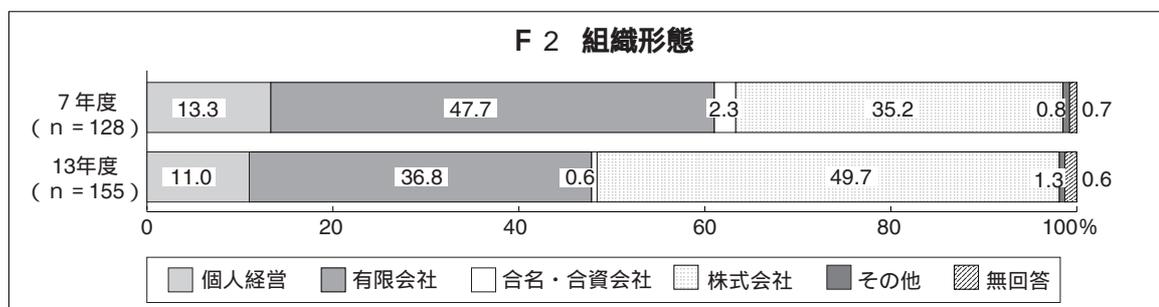
本調査の回答事業所属性は、「単一事業所」が58.7%を占め、「複数事業所」は38.7%である。そのうち、複数事業所の本社は全体の32.9%、支社は5.8%である。また、複数事業所の平均事業所数は4.8か所（本社を含む）となっている。



(2) 組織形態

F 2 貴社の組織形態はどれにあたりますか。

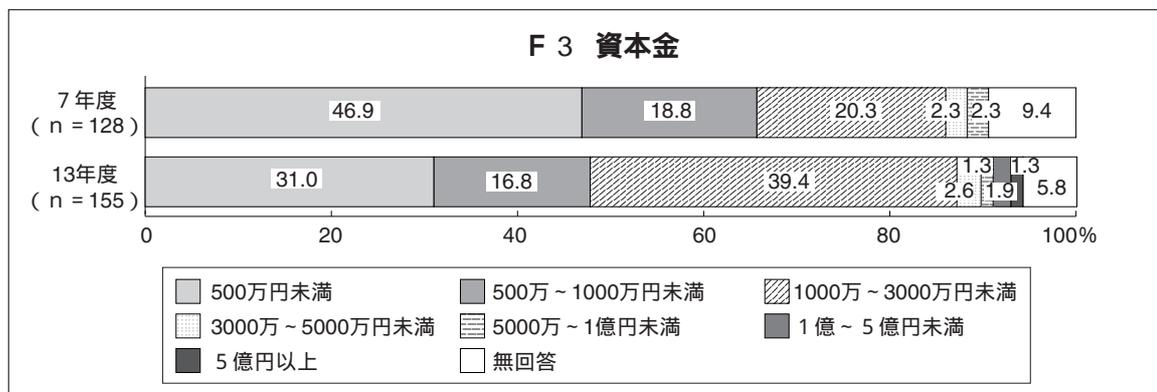
「株式会社」(49.7%)が半数、「有限会社」(36.8%)3分の1である。



(3) 資本金

F 3 貴社の資本金はどれにあたりますか。

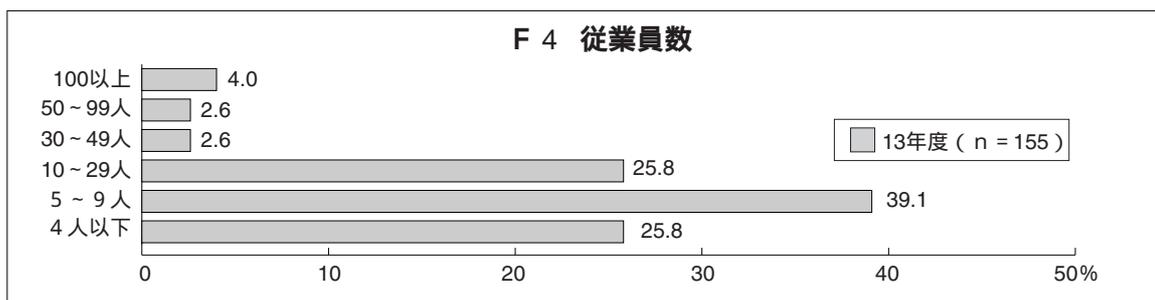
「1千万円～3千万円未満」が4割を占め、「5百万未満」が3割である。



(4) 従業員数

F 4 貴社の従業員数は何人ですか。

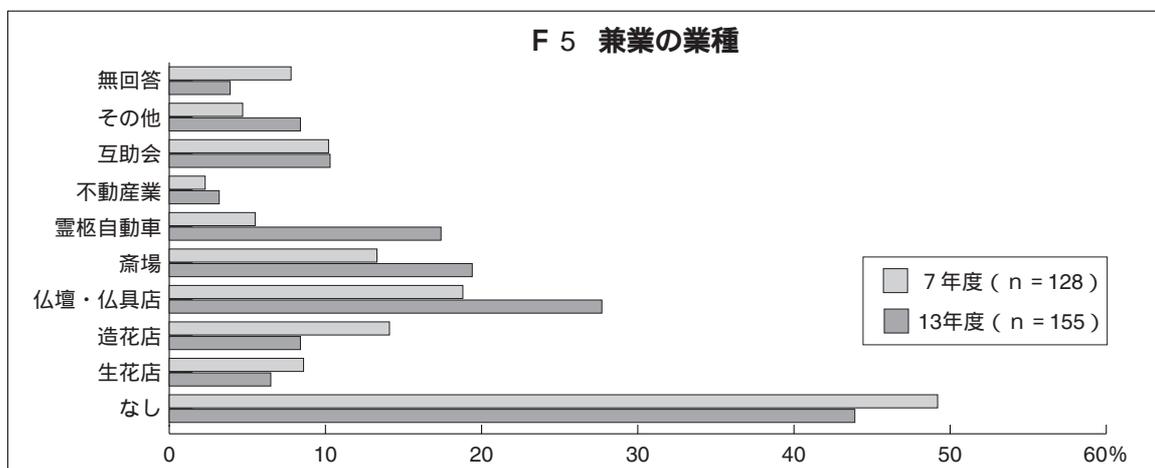
「5人から9人」が4割、「4人以下」と「10人から29人」がともに4分の1である。



(5) 兼業の業種

F 5 兼業している業種についてお答えください。(複数回答)

兼業している業種としては、「仏壇・仏具店」(27.7%)、「斎場」(19.4%)、「霊柩自動車」(17.4%)などである。兼業していない事業者は43.9%である。

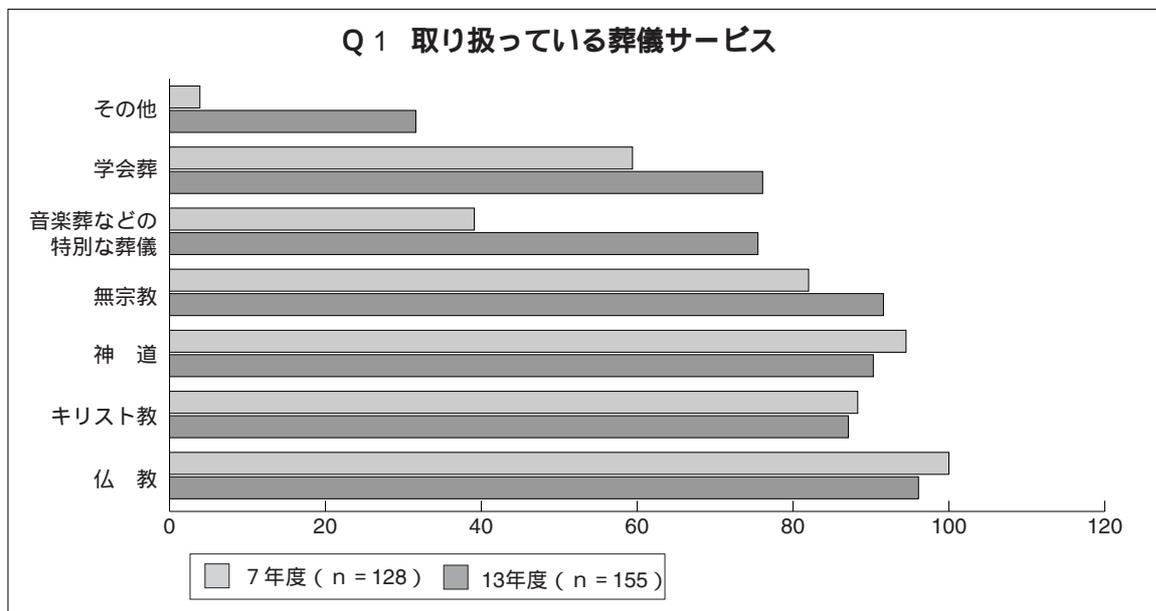


2 経営実態

(1) 取り扱っている葬儀サービス

問1 貴社では、どのような形態の葬儀サービスを取り扱っていますか。(複数回答)

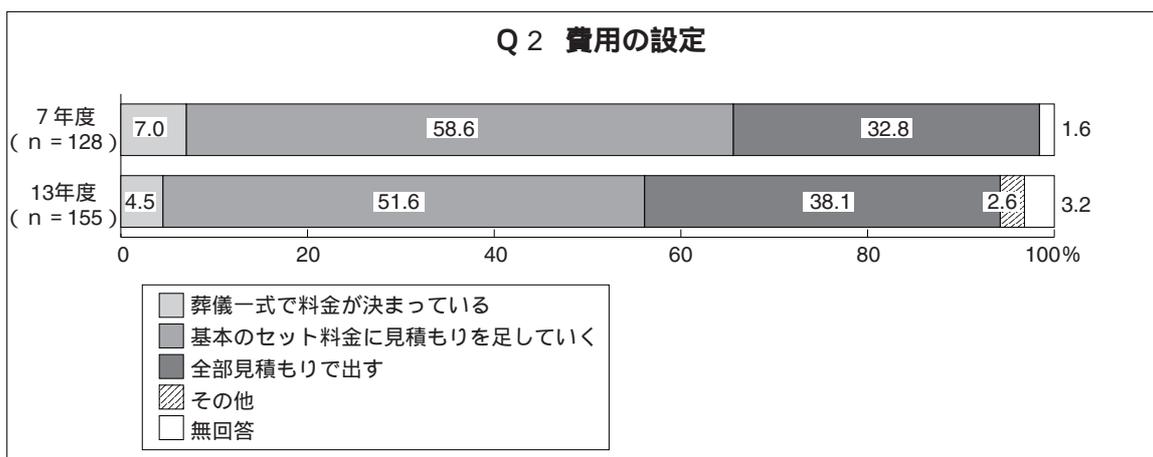
取り扱っている葬儀サービスの形態では、「仏教」(96.1%)はほぼすべての企業で取り扱っており、「神道」「無宗教」も90%以上、「キリスト教」は87.1%である。



(2) 費用の設定

問2 貴社ではどのようにして費用を決めていますか。

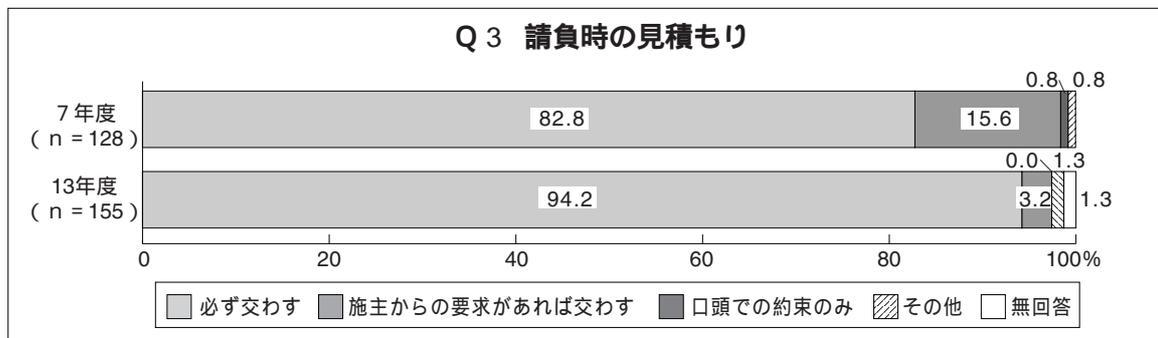
費用の決め方としては、「基本部分のセット料金に見積もりを足していく」が全体の半数を占め(51.6%)、「全部見積もりで出す」が4割近かった。(38.1%)



(3) 請負時の見積もり

問3 貴社では業務を請け負ったとき、文書で見積もりを交わし（見積書を作成）ますか。

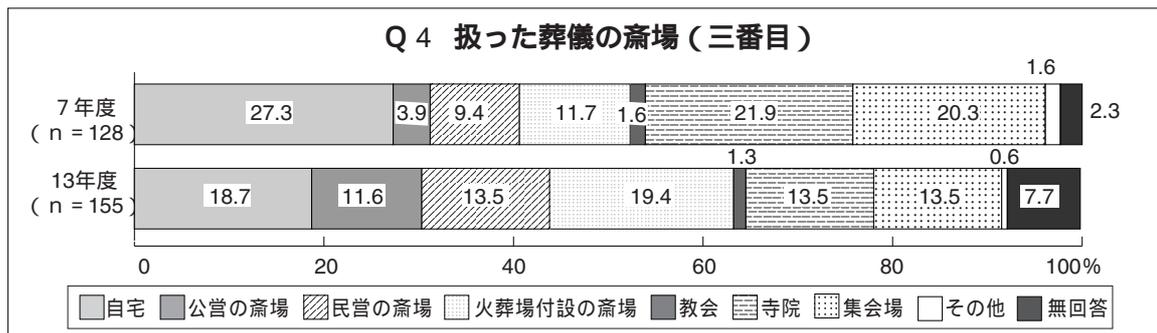
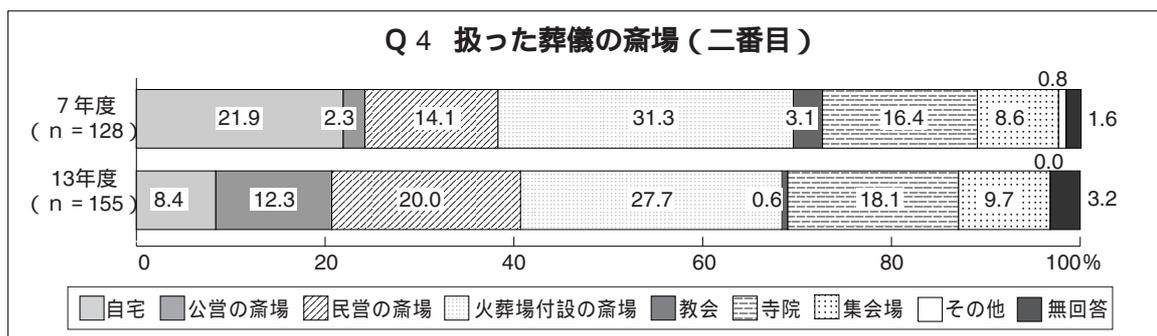
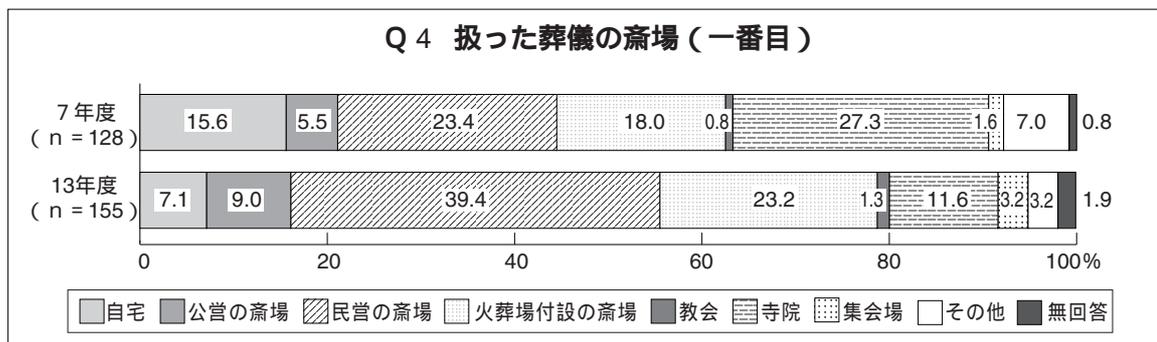
「文書で見積もりを必ず交わす」が94.2%で、「施主からの要求があれば交わす」は3.2%であった。



(4) 葬儀場所別取扱い状況

問4 貴社でこの1年間に扱った葬儀は、どのような斎場が多いですか。（多い順に3つまで）

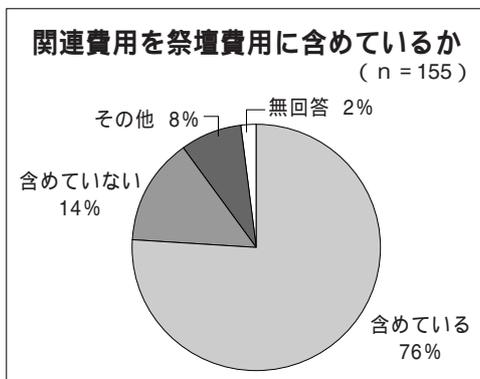
1番目としては、「民営の斎場」(39.4%)、次に「火葬場付近の斎場」(23.2%)、「寺院」(11.6%)の順である。2番目としては、「火葬場付近の斎場」(27.7%)、「民営の斎場」(20.0%)、「寺院」(18.1%)の順である。



(5) 関連費用の祭壇等費用への扱い

問5 貴社では、祭壇の運搬費や組み立て・解体費用、葬儀の進行管理、司会進行等に係わる費用（人件費等）は、祭壇等の費用に含めていますか。

「含めている」76.8%であり、「含めていない」が13.5%である。



(6) 葬儀費用

問6 貴社の葬儀にかかわる費用の内訳を最高クラス価格、最多クラス価格、最低クラス価格のそれぞれについてお書きください。また、それぞれの項目について、価格を何段階に分けているかお書きください。セット料金になっている場合は、おおよそで結構ですから回答用紙に次の1～18でお書きください。（社葬を除いてお答えください。）

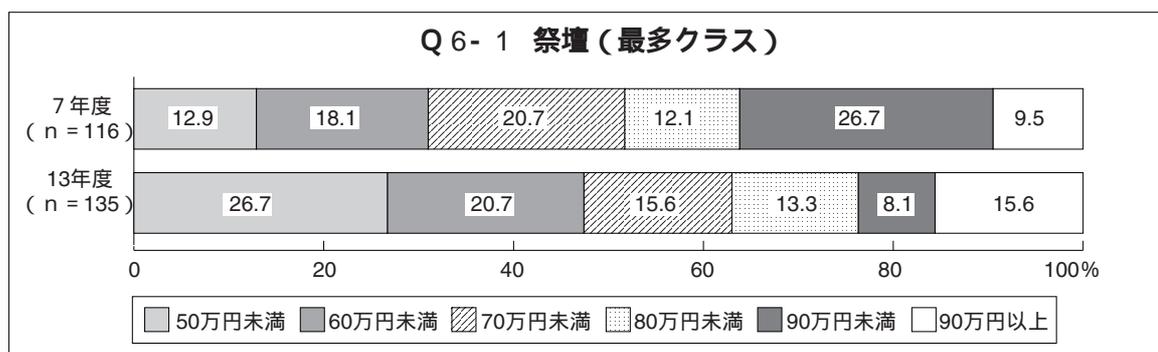
平均価格は、祭壇がもっとも高く、最高クラス約284万円、最多クラス約61万円、最低クラス約21万円であった。以下式場使用料は最高クラス約62万円、最多クラス約20万円、最低クラス約8万円である。

最高クラスと最低クラスの価格の差を見ると、最も大きいのは天幕等外装設備で16倍、次は祭壇とお棺（14倍）である。逆に小さいのはドライアイス（1.6倍）、貸衣装（1.8倍）である。

祭壇

最多クラスの平均は61万円で、価格帯分布では「50万円未満」が最も多く26.7%、次が「50万円以上60万円未満」で20.7%である。

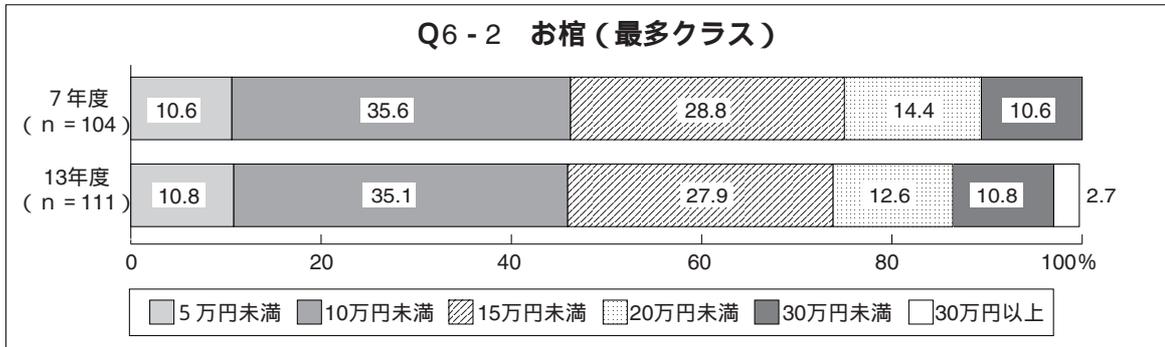
最高クラスの平均は約284万円で、最低クラス（21万円）の13.6倍である。



お 棺

最多クラスの平均は約13万円で、価格帯分布では最多クラスは「5万円以上10万円未満」が最も多く35.1%、次が「10万円以上15万円未満」で27.9%である。

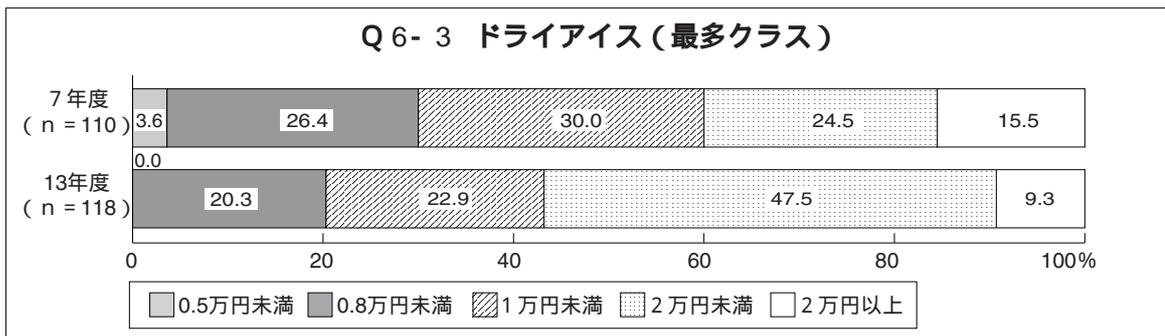
最高クラスの平均は約91万円で、最低クラス（6.3万円）の14.4倍である。



ドライアイス

最多クラスの平均は約1.2万円で、価格帯分布では「1万円以上2万円未満」が47.5%を占めている。

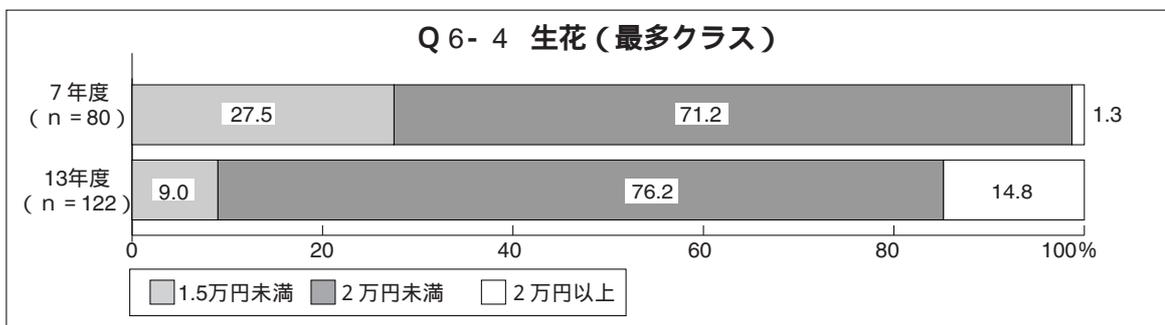
最高クラスの平均は約1.4万円で、最低クラス（0.9万円）の1.6倍である。



生け花・花輪・供物等

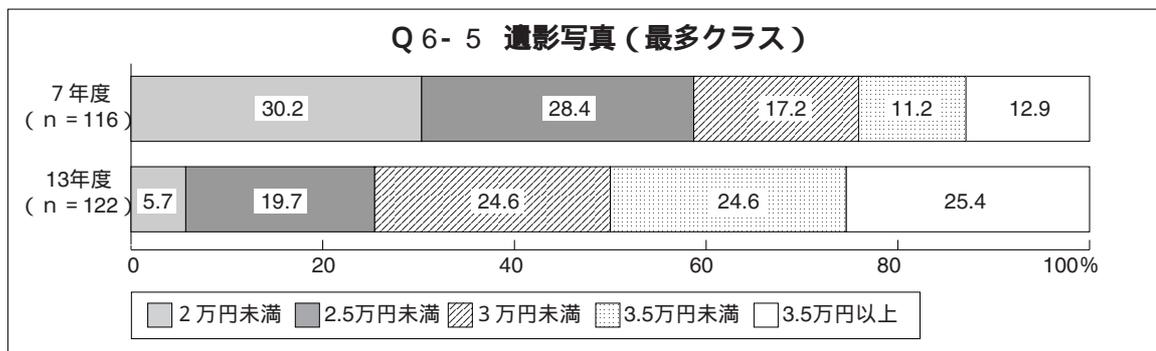
最多クラスの平均は約3.2万円で、価格帯分布では「1.5万円以上2万円未満」が76.2%を占めている。

最高クラスの平均は約11.5万円で、最低クラス（1.6万円）の7.3倍である。



遺影写真

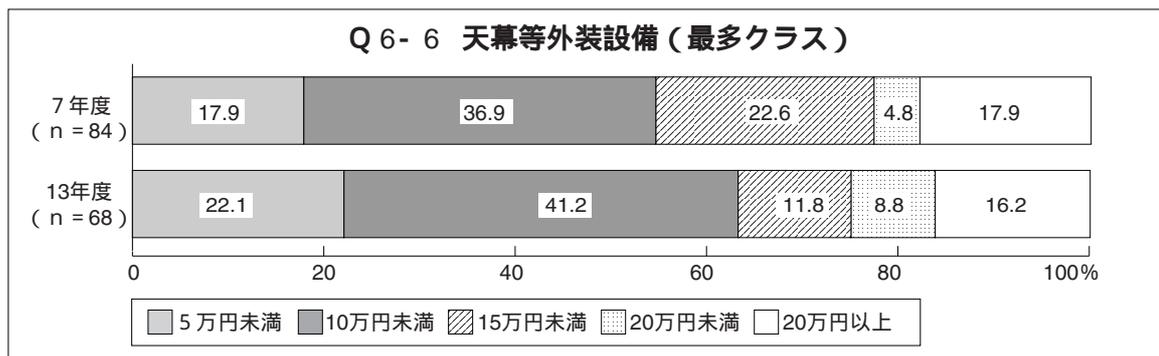
最多クラスの平均は約2.8万円で、価格帯分布では「3.5万円以上」が25.4%を占めている。
最高クラスの平均は約6.5万円で、最低クラス（2.0万円）の3.2倍である。



天幕等外装設備

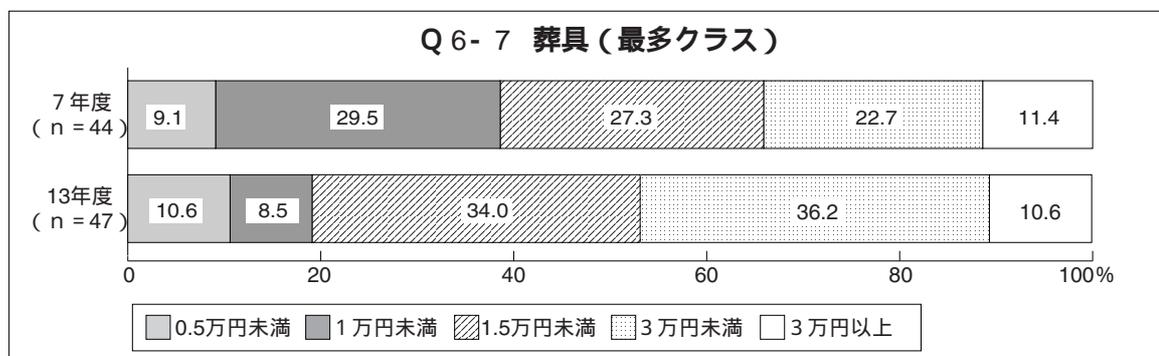
最多クラス平均は約10.3万円で、価格帯分布では「5万円以上10万円未満」が41.2%を占めている。

最高クラスの平均は約62万円で、最低クラス（3.8万円）の16.2倍である。



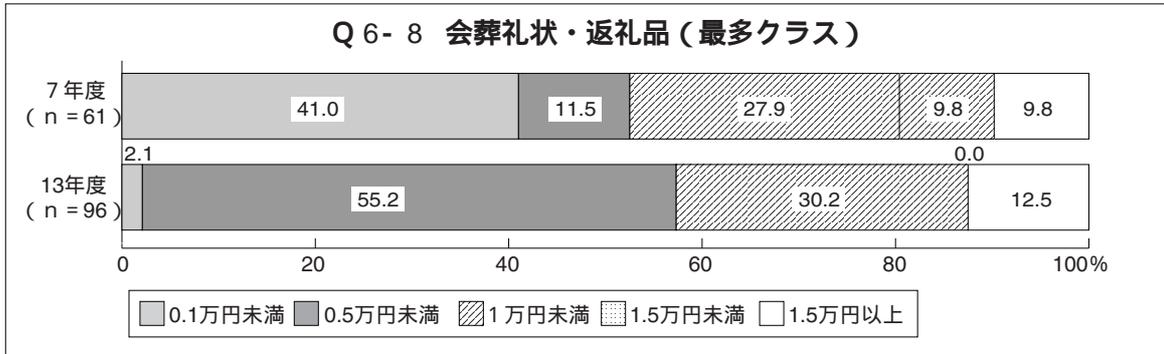
その他の装具

最多クラスの平均は約1.7万円で、価格帯分布では「1.5万円以上3万円未満」が36.2%を占めている。



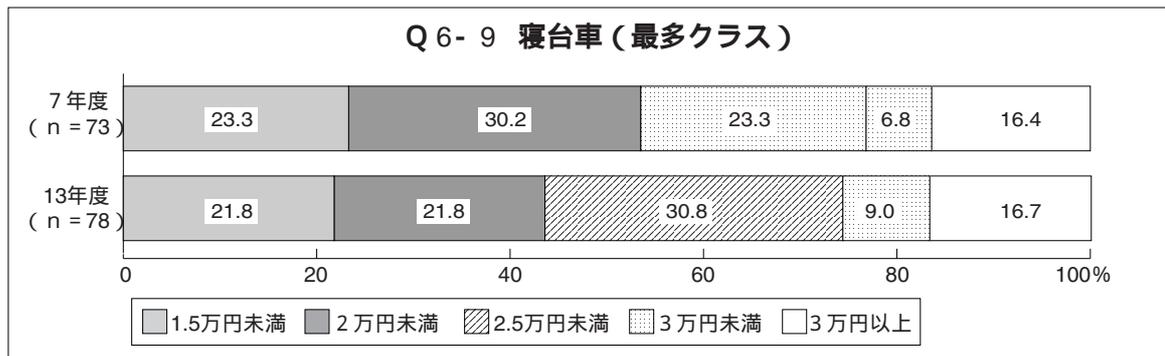
会葬礼状・返礼品

最多クラスの平均は約1.8万円で、価格帯分布では「0.1万円以上0.5万円未満」が55.2%を占めている。最高クラスの平均は約4.8万円で、最低クラス（0.8万円）の6.0倍である。



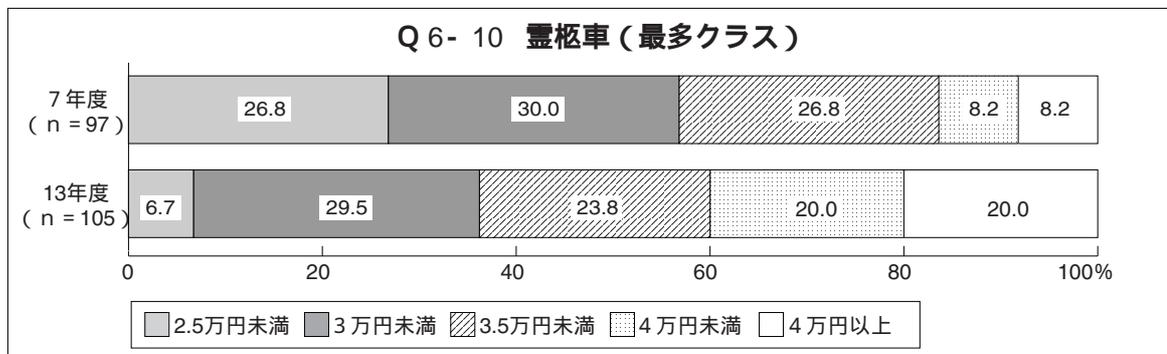
寝台車

最多クラスの平均は約2.0万円で、価格帯分布では「2万円以上2.5万円未満」が30.8%を占めている。最高クラスの平均は約4.0万円で、最低クラス（1.4万円）の2.8倍である。



霊柩車

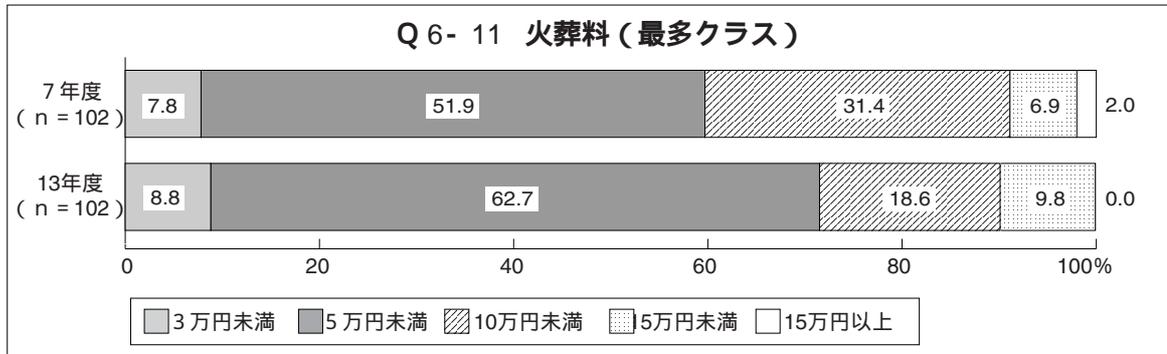
最多クラスの平均は約3.9万円で、価格帯分布では「2.5万円以上3万円未満」が29.5%を占めている。最高クラスの平均は約5.5万円で、最低クラス（2.1万円）の2.7倍である。



火葬料

最多クラスの平均は約5.2万円で、価格帯分布では「3万円以上5万円未満」が62.7%を占めている。

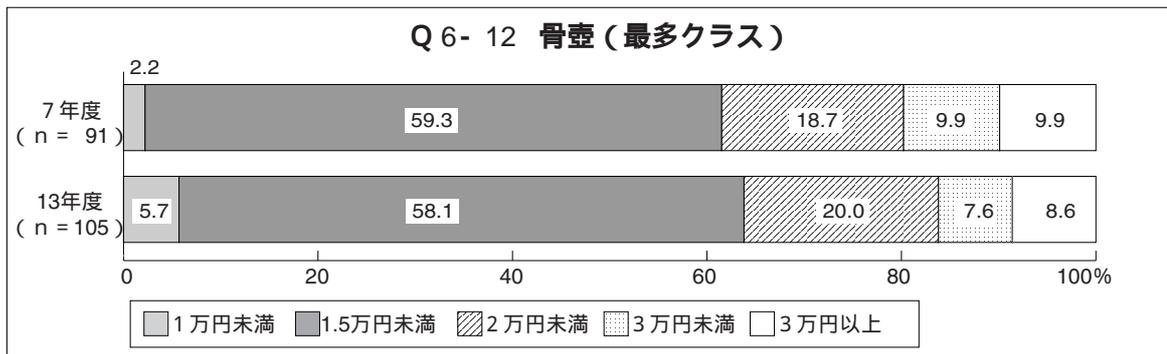
最高クラスの平均は約16.4万円で、最低クラス（4.2万円）の3.9倍である。



骨壺

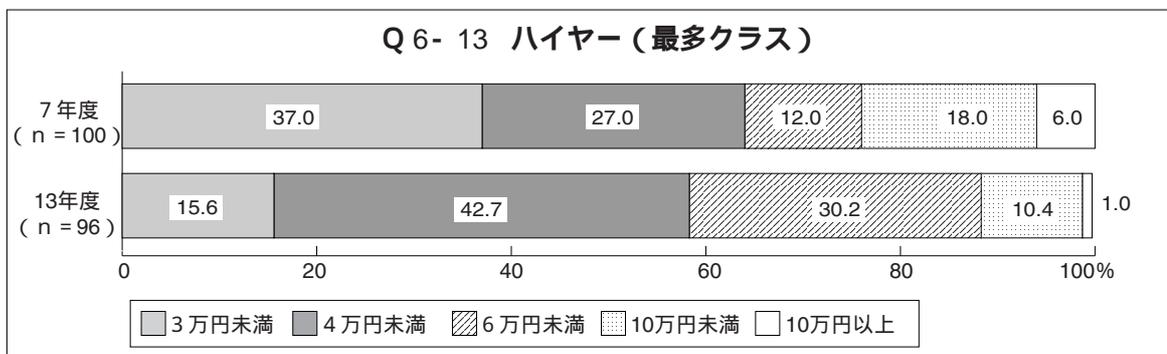
最多クラスの平均は約1.5万円で、価格帯分布では「1万円以上1.5万円未満」が58.1%を占めている。

最高クラスの平均は約4.7万円で、最低クラス（1.1万円）の4.1倍である。



ハイヤー・バス

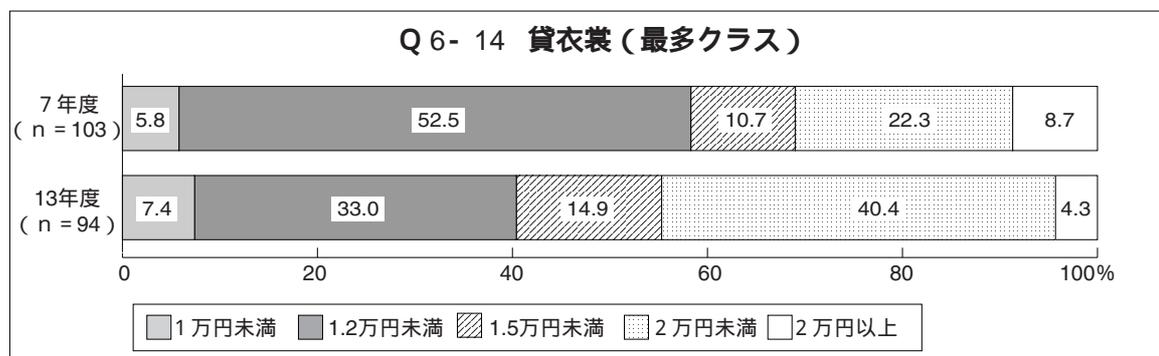
最多クラスの平均は約4.0万円で、価格帯分布では「3万円以上4万円未満」が42.7%を占めている。最高クラスの平均は約5.4万円で、最低クラス（3.4万円）の1.6倍である。



貸し衣装

最多クラスの平均は約1.3万円で、価格帯分布では「1.5万円以上2万円未満」が40.4%を占めている。

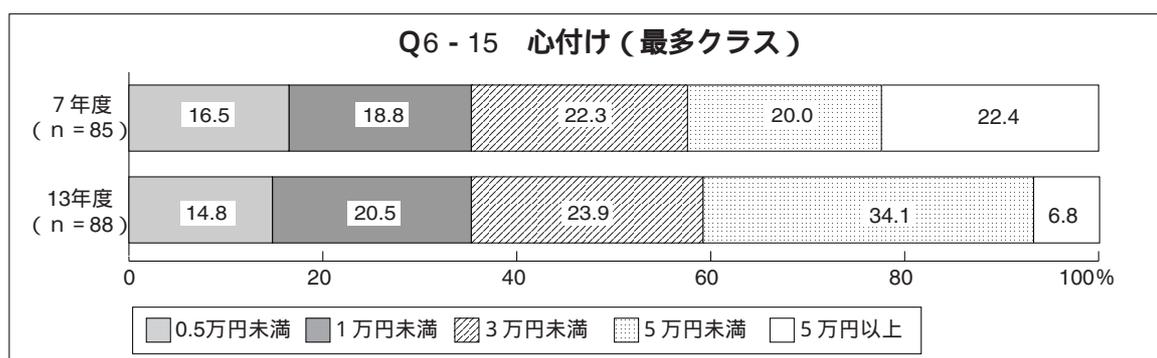
最高クラスの平均は約2.1万円で、最低クラス（1.1万円）の1.8倍である。



心付け

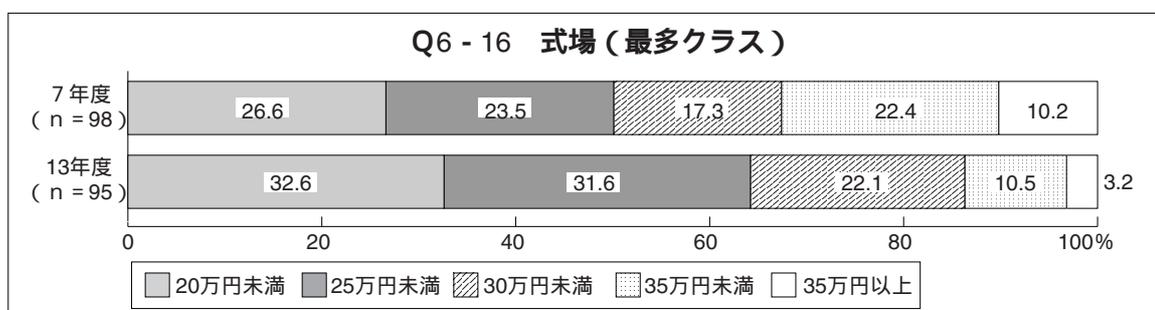
最多クラスの平均は約2.3万円で、価格帯分布では「3万円以上5万円未満」が34.1%を占めている。

最高クラスの平均は約4.0万円で、最低クラス（1.2万円）の3.2倍である。



式場使用料

最多クラスの平均は約19.8万円で、価格帯分布では「20万円未満」が32.6%を占めている。最高クラスの平均は約62.5万円で、最低クラス（8.1万円）の7.8倍である。

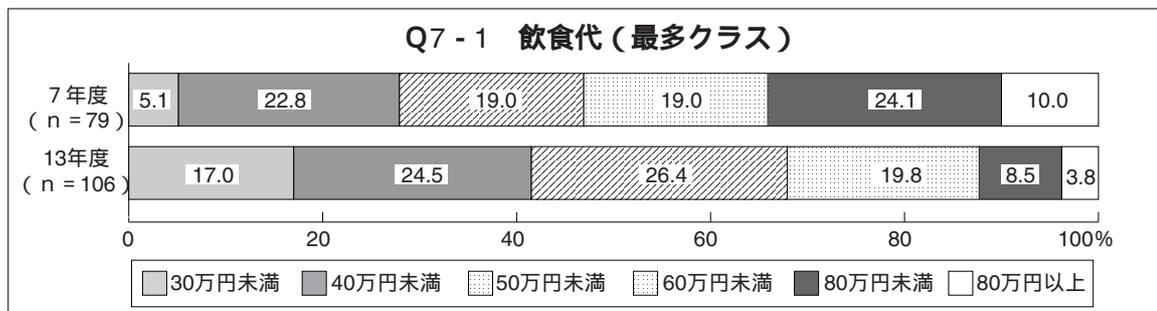


(7) 飲食代

問7 飲食代はいくらですか。また、その一人当たりの単価はいくらですか。

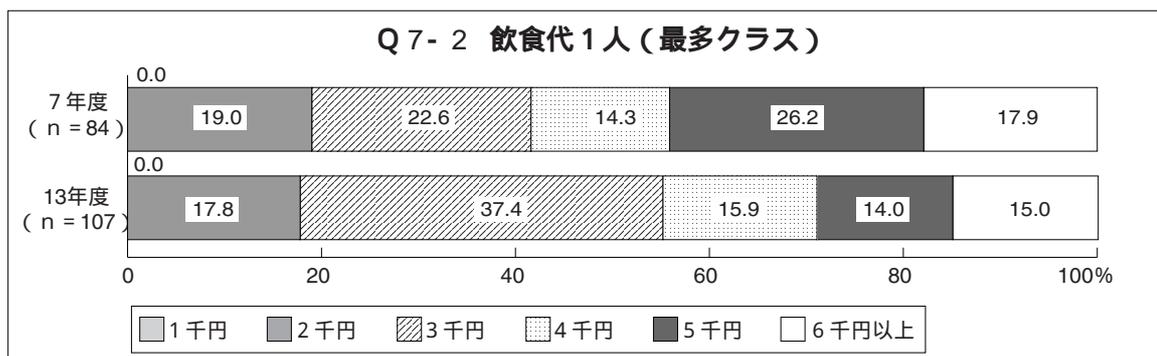
飲食代合計

最多クラスの平均は約40.2万円で、価格帯分布では「40万円以上50万円未満」が26.4%を占めている。最高クラスの平均は約137.1万円で、最低クラス（11.8万円）の11.7倍である。



一人当たり単価

最多クラスの平均は約0.46万円で、価格帯分布では「0.2万円以上0.3万円未満」が37.4%を占めている。最高クラスの平均は約0.64万円で、最低クラス（0.39万円）の1.6倍である。

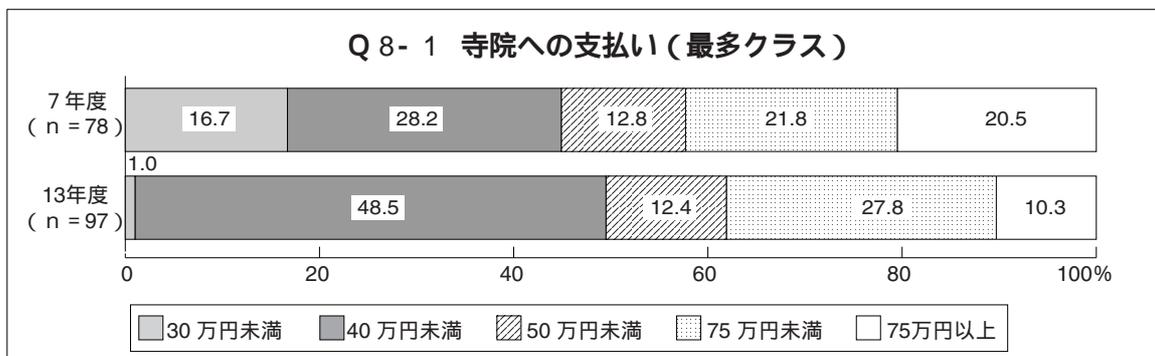


(8) 寺院への支払い

問8 寺院への支払いを取り扱った場合の金額はいくらですか。そのうち戒名料はいくらですか。

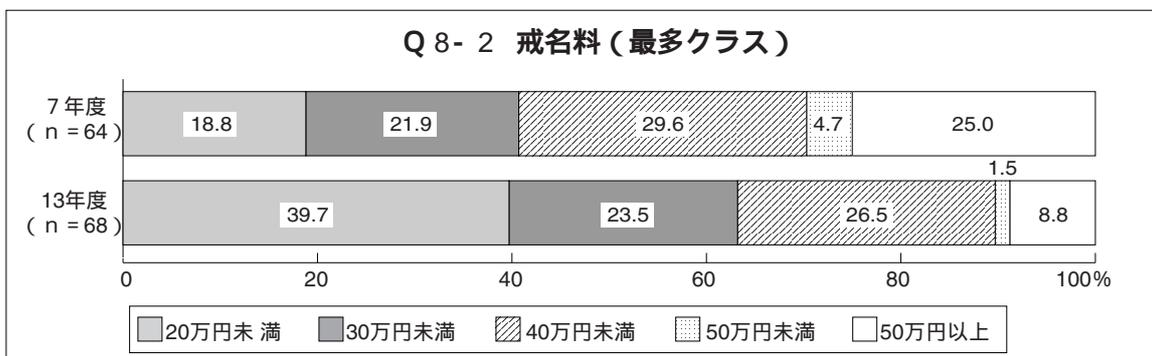
寺院への支払い

最多クラスの平均は約44.0万円で、価格帯分布では「30万円以上40万円未満」が48.5%を占めている。最高クラスの平均は約138.7万円で、最低クラス（20.2万円）の6.9倍である。



内戒名料

最多クラスの平均は約24.5万円で、価格帯分布では「20万円未満」が39.7%を占めている。最高クラスの平均は約90.9万円で、最低クラス（11.5万円）の7.9倍である。



(9) 葬儀場所別葬儀費用

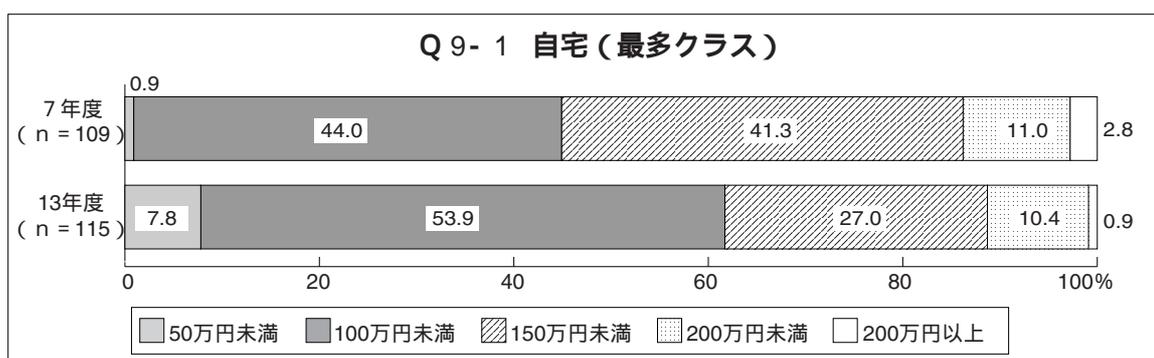
問9 貴社の葬儀価格を場所別に、最高クラス、最多クラス、最低クラスに分けて、問6の1～10の合計をお書きください。

場所別の葬儀費用の平均総額を最多クラスで見ると、寺院（約115万円）が最も高く、次に民営の斎場（約103万円）、自宅、教会、公営の斎場が約85万円ではほぼ同額、集会場が少し安く、81万円である。

最高と最低の差が最も大きかったのは、寺院の8.0倍である。

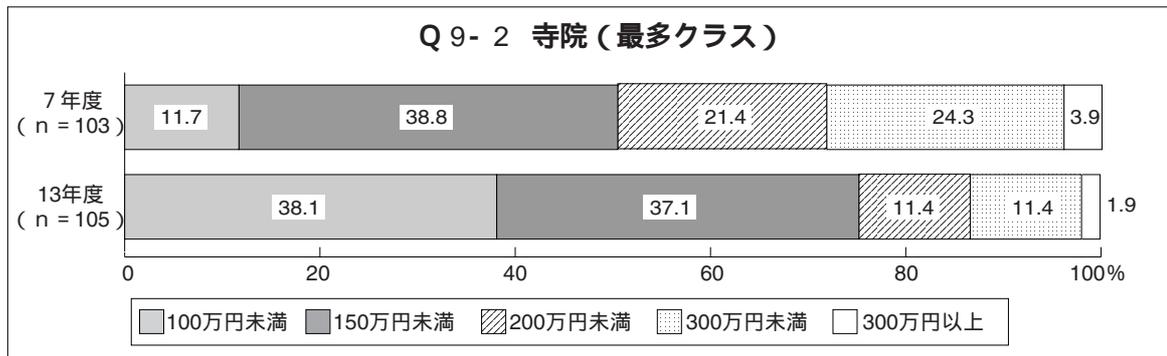
自宅

最多クラスの平均は約86.0万円で、価格帯分布では「50万円以上100万円未満」が53.9%を占めている。最高クラスの平均は約211.7万円で、最低クラス（31.9万円）の6.6倍である。



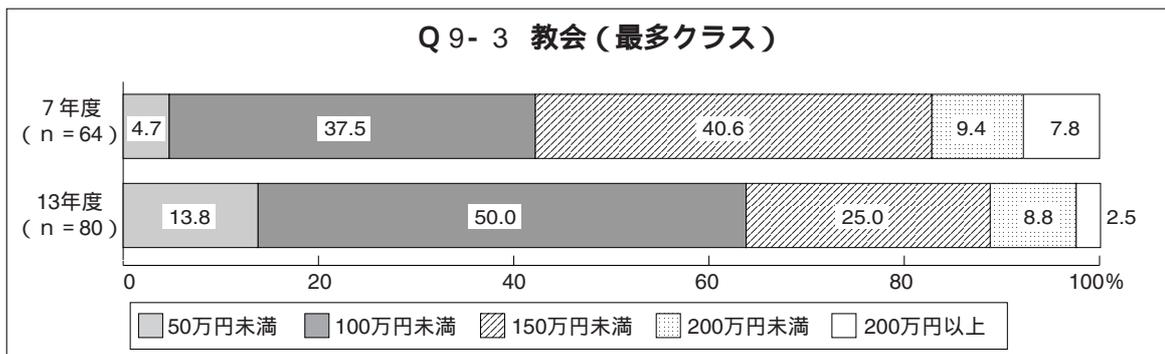
寺院

最多クラスの平均は約115.1万円で、価格帯分布では「100万円未満」が38.1%を占めている。最高クラスの平均は約386.3万円で、最低クラス（48.2万円）の8.0倍である。



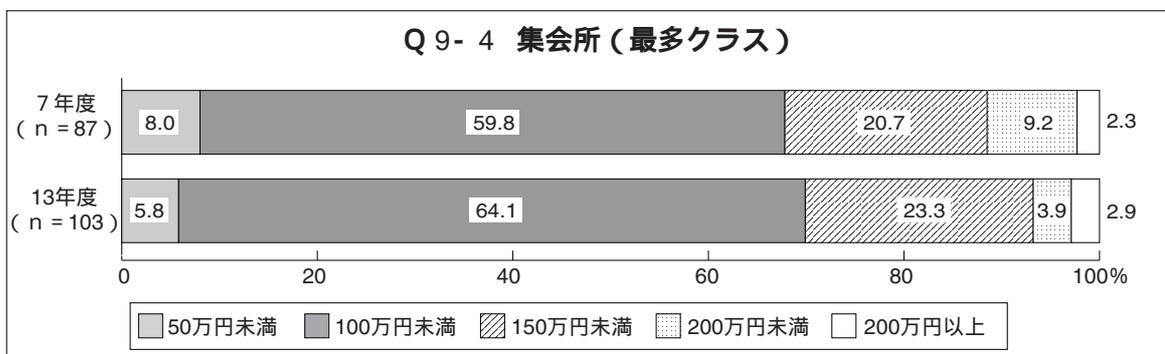
教会

最多クラスの平均は約85.5万円で、価格帯分布では「50万円以上100万円未満」が50.0%を占めている。最高クラスの平均は約223.8万円で、最低クラス（39.6万円）の5.7倍である。



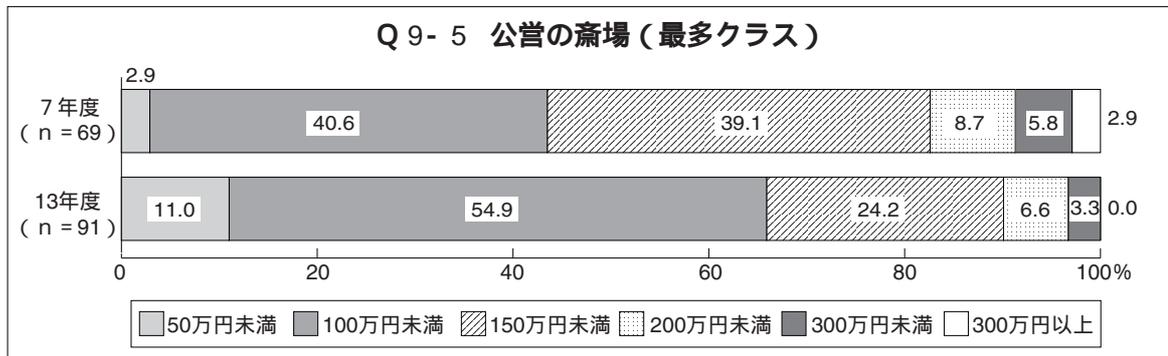
集会場

最多クラスの平均は約80.8万円で、価格帯分布では「50万円以上100万円未満」が64.1%を占めている。最高クラスの平均は約173.3万円で、最低クラス（35.9万円）の4.8倍である。



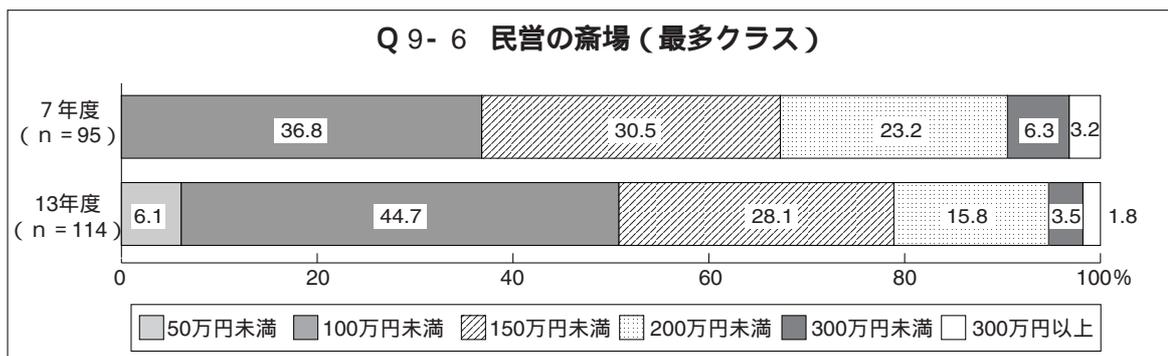
公営斎場

最多クラスの平均は約85.6万円で、価格帯分布では「50万円以上100万円未満」が54.9%を占めている。最高クラスの平均は約213.0万円で、最低クラス（38.5万円）の5.5倍である。



民営斎場

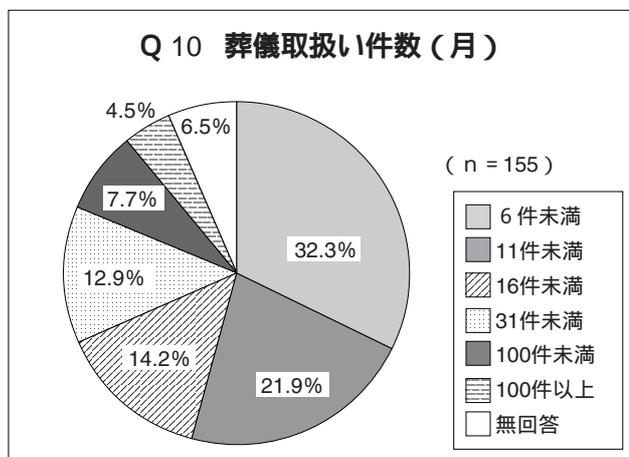
最多クラスの平均は約102.8万円で、価格帯分布では「50万円以上100万円未満」が44.7%を占めている。最高クラスの平均は約322.7万円で、最低クラス（44.1万円）の7.3倍である。



(10) 葬儀取り扱い件数

問10 貴社では、月におよそ何件くらいの葬儀を扱いますか。

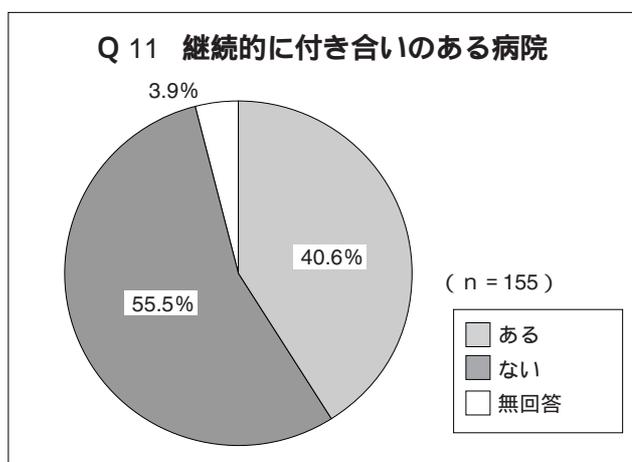
平均で26.0件、最高は450件である。「6件未満」が最も多く32.3%を占めている。



(11) 継続的に付き合いがある病院

問11 貴社には継続的に付き合いがある病院ありますか。

「ある」が40.6%、「ない」が55.5%である。



(12) 葬儀の際のトラブル

問12 葬儀の際、遺族との間に何かトラブルが生じたことがありますか。

- ・ 葬儀一式終了後の値引き要求、料金不払い
- ・ 料理の不足による追加が間に合わない
- ・ 施行担当者の振る舞いに対する不満
- ・ 会葬礼状などの印刷物の誤字
- ・ 返礼品を注文の品と取り違えた

(13) 遺族の要望

問13 葬儀の際、遺族から何か要望を受けたことがありますか。

- ・ 費用を安くしてほしい
- ・ 質素にしてほしい
- ・ 故人が好きだった花、音楽などを取り入れてほしい
- ・ 会葬者の案内を充実してほしい
- ・ 火葬場に行くときに、自宅の前を通過してほしい
- ・ 葬儀後の、墓地、仏壇、寺などについて相談にのってほしい

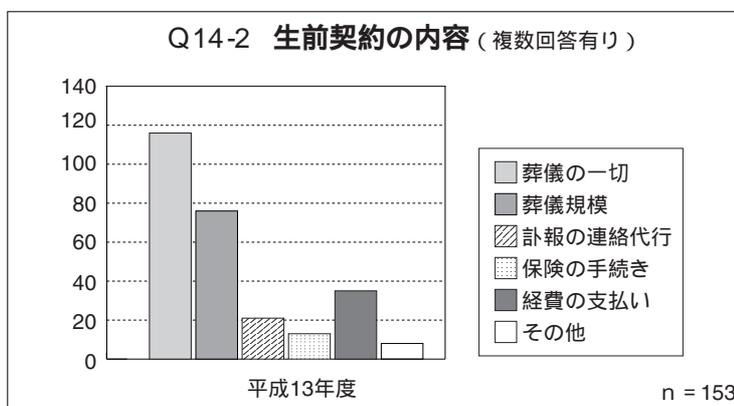
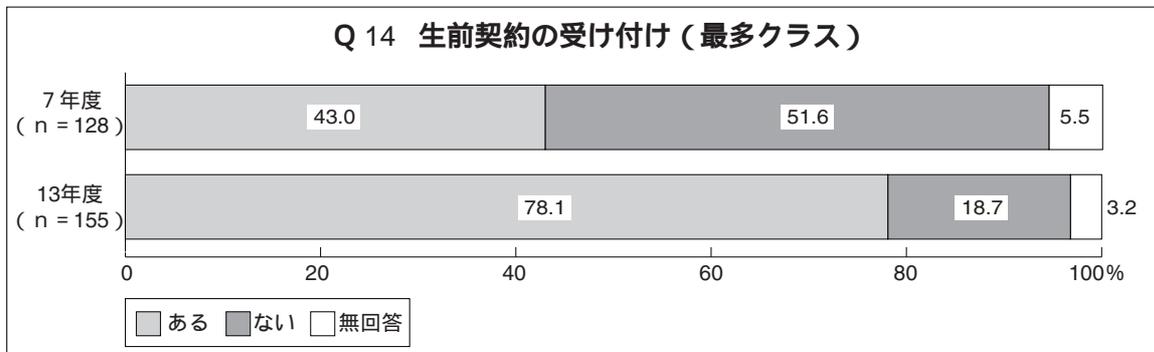
(14) 生前契約の受け付け

問14 貴社では、生前契約を受け付けていますか。

「ある」が78.1%、「ない」が18.7%である。

付問 その内容はどんなものですか。

「葬儀一切」が95.9%。「葬儀の規模」が62.8%である。



(15) 将来のサービス

問15 貴社では、将来的にどのようなサービスをお考えですか。

葬儀における多様化するニーズに応えられる体制をつくる

低価格化、料金の明確化に努める

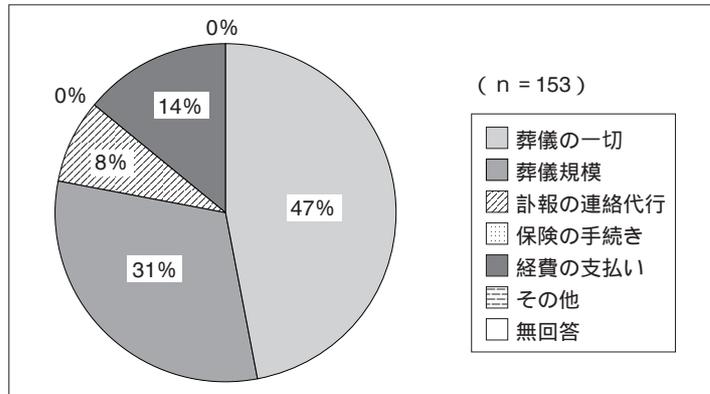
サービスの充実

インターネットによる情報提供の充実

(16) 今後の葬儀について

問16 葬儀は今後どのようなようになっていくと思いますか。

「規模・やり方がばらばらになる」が最も多く42.6%、「地味に営む人が増える」が34.2%である。



(17) 葬儀について心がけておくこと

問17 都民が日ごろから葬儀について心がけておくべきことがありましたら教えてください。

都民が日ごろから葬儀について心がけておくべきことを自由回答で尋ねたところ、123社から、回答が寄せられた。その主な内容は以下のとおりである。

どのような式にするのか本人・家族で話し合っておく。

人は必ず死ぬ。人生の最後をどのようにするかを、本人と家族が、話し合うことはおかしなことではない。

葬儀は誰のために、何のためにするのか本来の意味を考え、本人と家族にとってふさわしい葬儀を計画する。

葬儀の計画にあたっては、誰がリーダーシップをとるのか、どのような様式で行うのか、予算はどのくらいかなど、基本的なことは決めておく。

葬儀社の選定

死亡してからあわてて葬儀社を選ぶとトラブルにあいやすい。事前に信頼できる葬儀社に希望をはっきり言って相談する。合わせておおよその見積もりを取っておく。

死亡時は複数の葬儀社から見積もりを取り、よく比較してから選定する。その際、会葬者数・様式・規模などは予め調べておき、葬儀社に正確に伝える。

その他

葬儀以前の準備および調べておくこと

会葬者の名簿、写真、宗派・家紋

寺や墓地が決まっていない場合は、葬儀社に相談しておく。

財産管理

本人の財産・負債を明らかにしておく。それに係わる証書を整理保管しておく。

都民側調査結果

1. 意識調査

(1) 葬儀についての考え

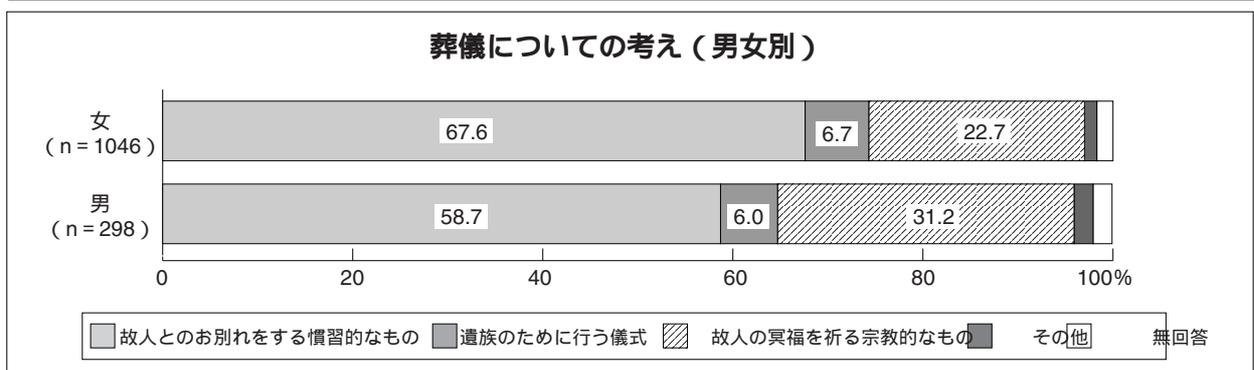
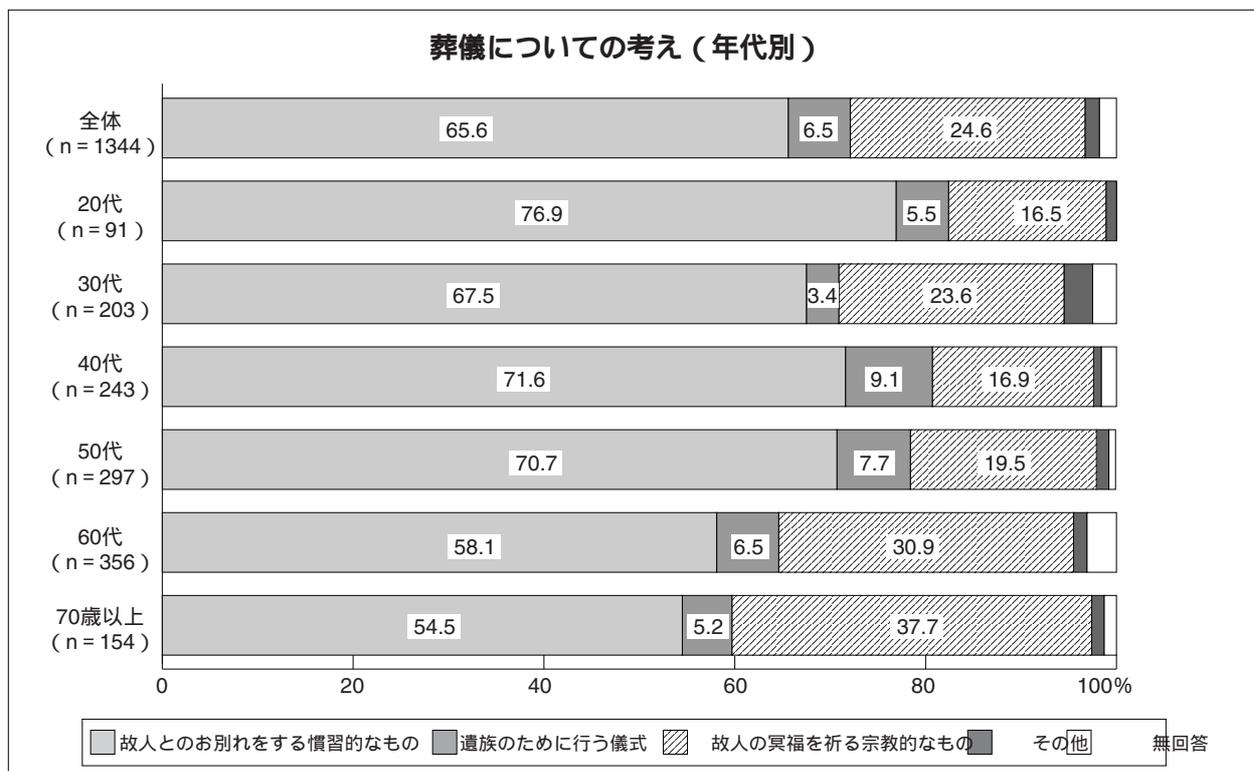
問1 あなたは、葬儀についてどのように考えていますか。次のなかから1つあげてください。

葬儀についての考え方をきいたところ、「葬儀は故人とのお別れをするための慣習的なものである」という人が65.6%を占めている。次いで、「葬儀は故人の冥福を祈る宗教的なものである」とした人が24.6%であった。「葬儀は家族のために行う儀式である」は6.5%であった。

性・年代別に見ると「故人とのお別れをするための慣習的なもの」は若年層に多い。30代を除けば、年代が上がるにつれ、このように考える人の割合が減少している。逆に「故人の冥福を祈る宗教的なものである」とした人の割合は、高年齢層の方が多くなっている。

若年層に「故人とのお別れをするための慣習的なもの」と考える人が多いため、今後このように考える人が全体的に増えてくることが予想される。

男女別では女性の方が「故人とのお別れをするための慣習的なものである」とした人の割合が9ポイント高い。

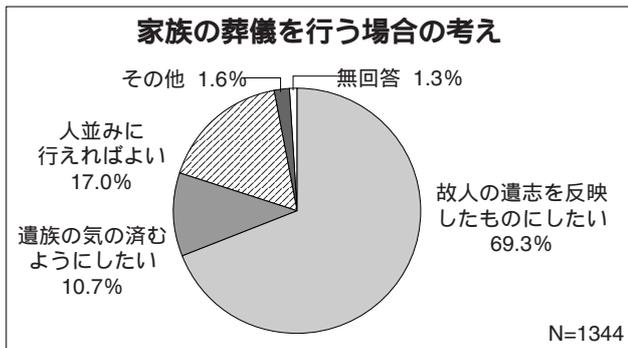


(2) 家族の葬儀について

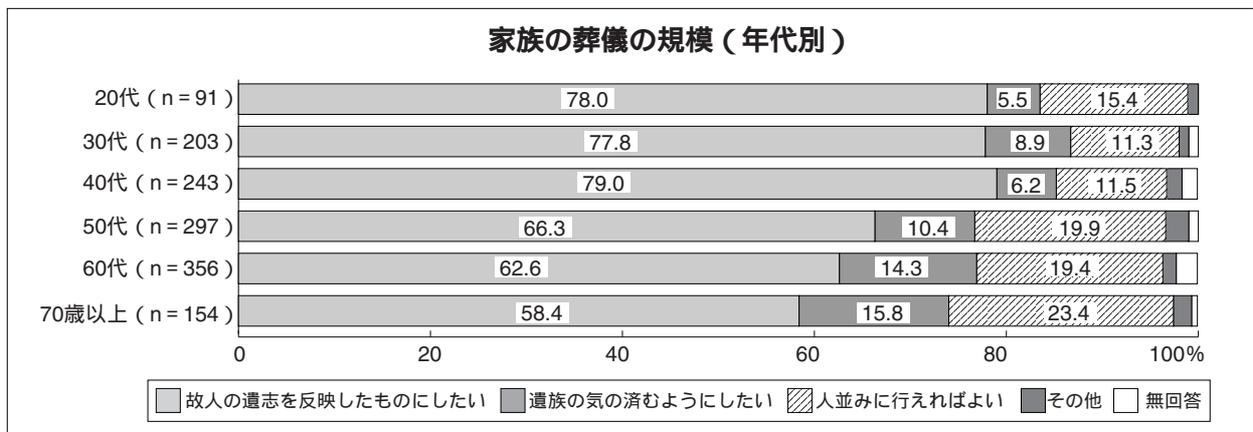
家族の葬儀についての考え

問2 あなたは、ご家族の葬儀を行う場合についてどのように考えていますか。次のなかから1つあげてください。

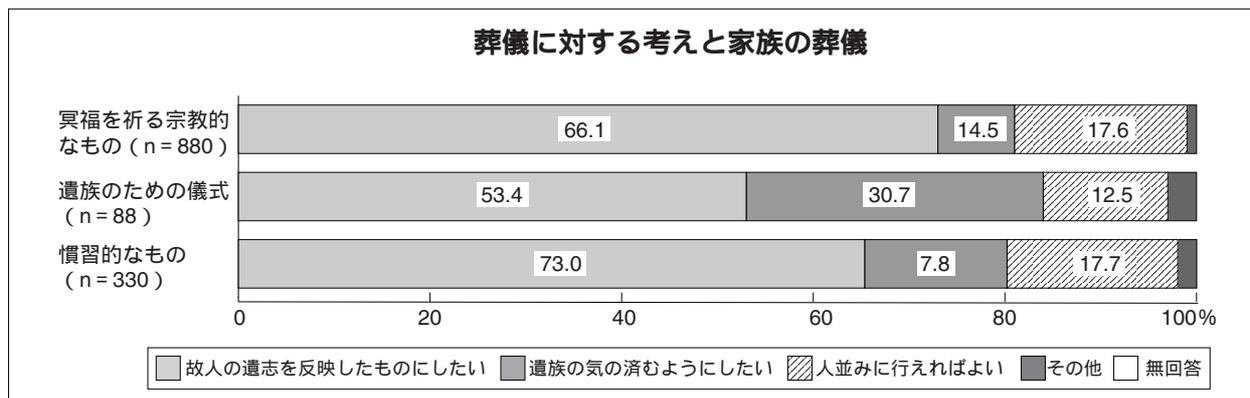
家族の葬儀を行なう場合の考えについてきいたところ、「故人の遺志を反映したものにしたい」が69%を占め、「人並みに行えればよい」の17.0%の4倍以上となった。



年代別に見ると、20代から40代の8割近くが「故人の遺志を尊重」と答えているのに対し、60代・70代では6割程度にとどまる。反対に「人並みに」と答えている人の割合は、60代・70代のほうが多くなっている。



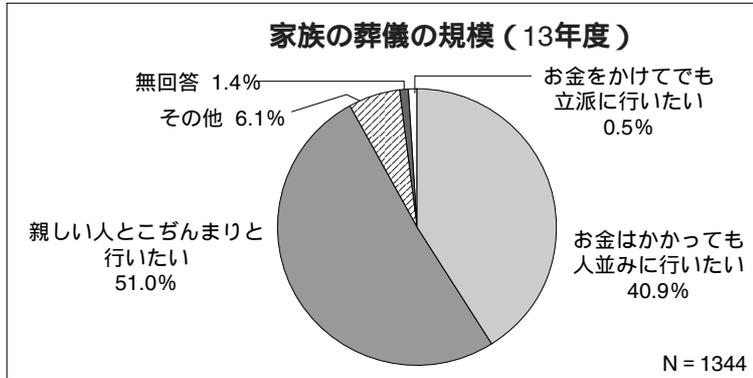
葬儀についての考えとの関連で見ると「遺族のための儀式」と答えた人の31%が「遺族の気の済むようにしたい」と回答しており、他の選択肢を選んだ人に比べ相対的に多い。



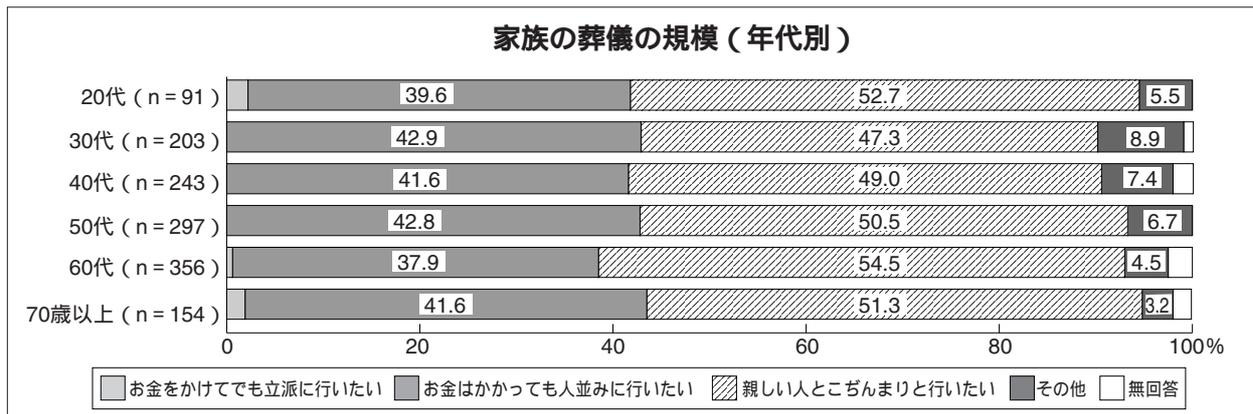
家族の葬儀の規模

問3 あなたは、ご家族の葬儀の規模についてどう思いますか。

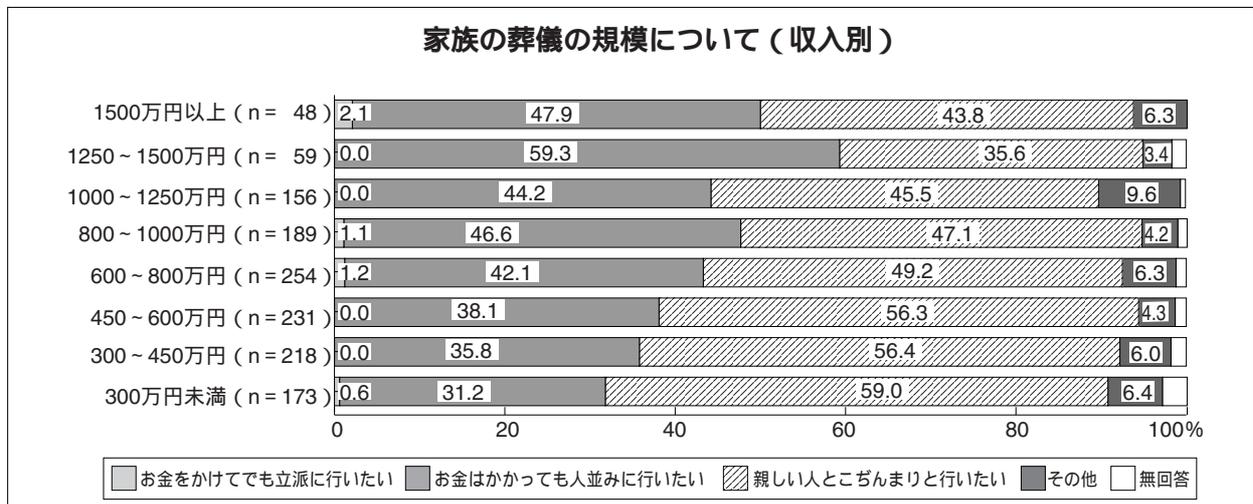
家族の葬儀の規模については、「多少のお金はかかっても人並みの事は行いたい」の割合が40.9%であり、「親しい人とこぢんまりと行いたい」が51.0%と過半数を超えた。



性別・年齢別でも、ほとんど差が見られず、全ての年代で「多少のお金はかかっても人並みのことは行いたい」が4割程度、「親しいひととこぢんまり行いたい」が5割強となっている。



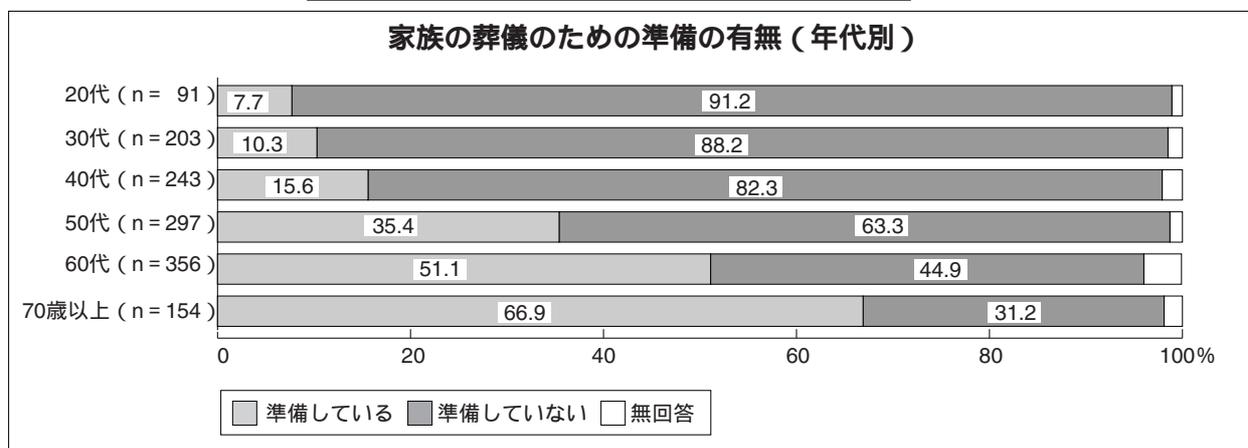
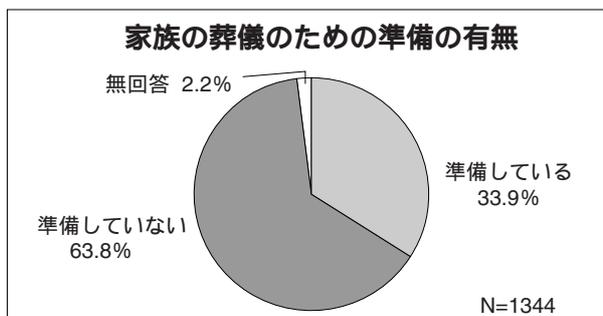
世帯年収別に見ると「1,250万円から1,500万円」と「1,500万円以上」のランクで逆転しているほかは「こぢんまり行いたい」は年収が低いほど多くなり、年収「600万円から800万円」でほぼ5割となる。



家族の葬儀のための準備の有無

問4 あなたはご家族の葬儀のためにふだんから何か準備をしていますか

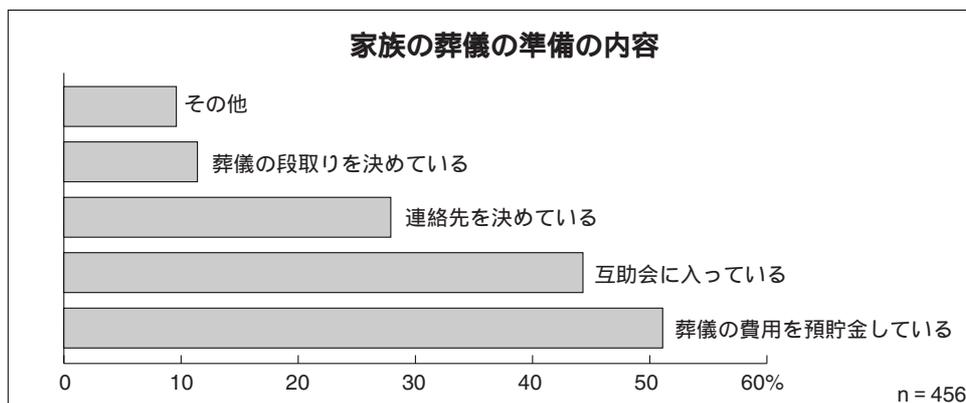
「家族の葬儀のために準備をしている」という人は約3分の1であり、3分の2の人は準備していなかった。年代別にみると、「準備をしている」という人は高年齢層になるほど多くなる。60代以上では半数以上が準備をしており、特に70代以上では66.9%の人が準備をしているのに対し、20代では91.2%が「準備をしていない」という結果になった。



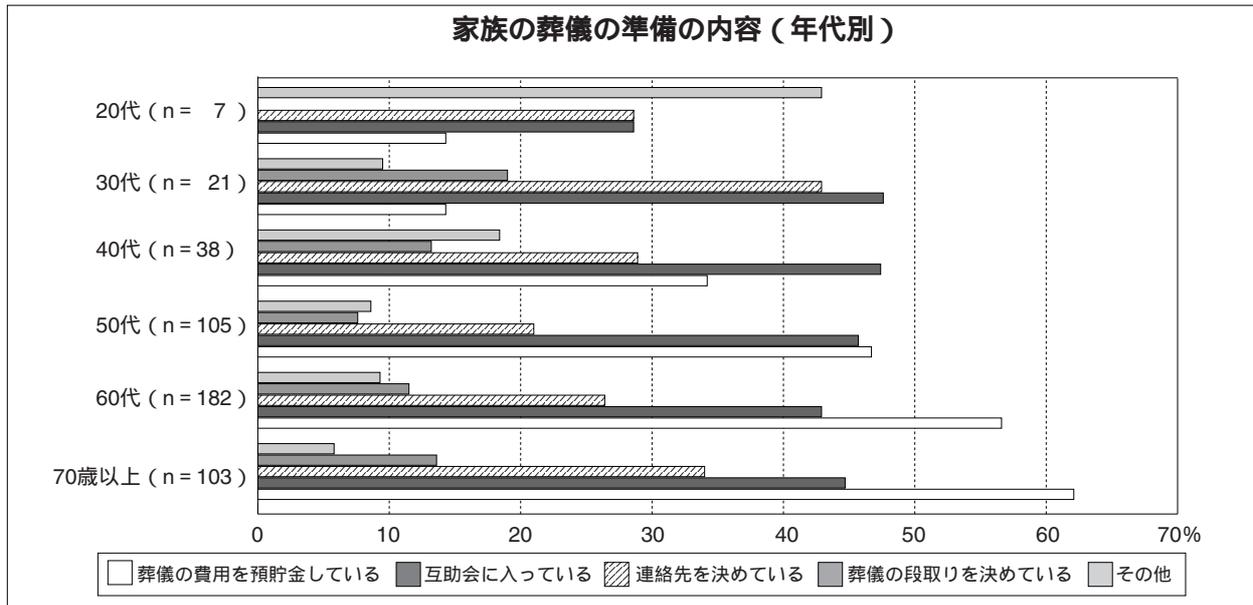
準備の内容

付問4-1 どのような準備ですか。次の中からいくつでも挙げてください。

準備の内容は、「葬儀の費用を預貯金している」が51.1%、ついで「互助会に入っている」が44.3%で、経済的な準備をしているひとが多い。



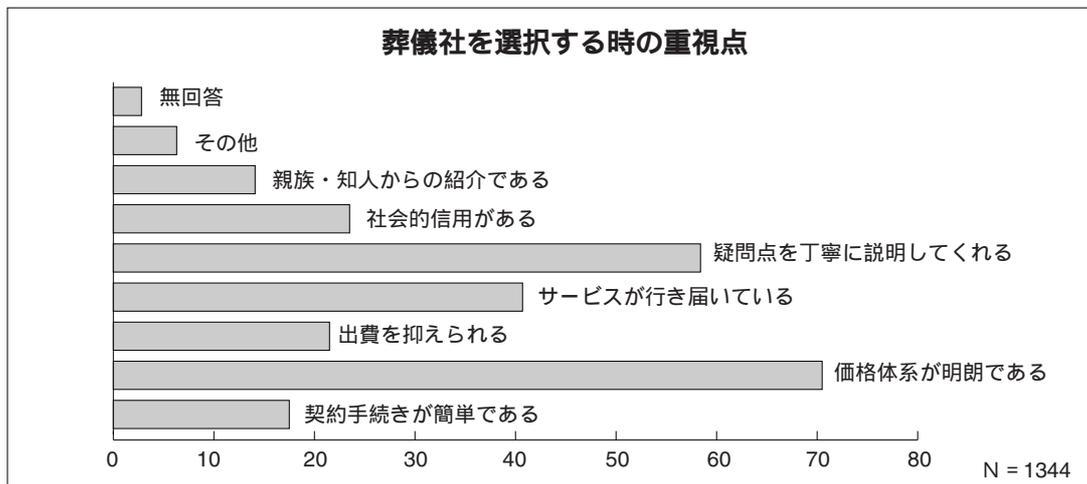
年代別にみると、「互助会に入っている」という人は、30代以上では全ての年代で4割台となっているが、「葬儀の費用を預貯金している」人は年代が高くなるにつれて増えている。



葬儀社を選択するときに何を重視するか

問5 あなたが葬儀社を選ぶとしたら、どの基準を最も重視しますか。（3つまで）

家族の葬儀を行なう際の葬儀社の選択基準をきいたところ、「価格体系が明朗である」は70.5%の人が選択している。次いで、「疑問点を丁寧に説明してくれる」が58.4%であり、「出費をおさえられる」は21.5%にとどまった。



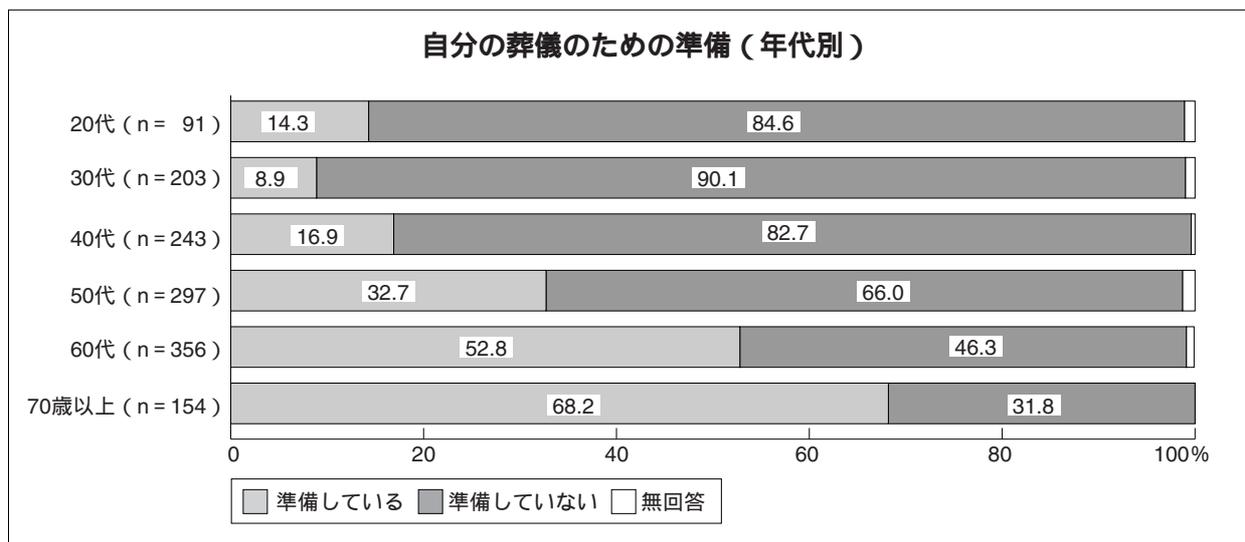
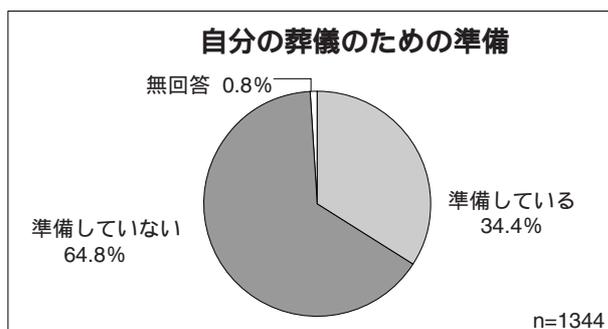
消費者は、単に安さだけを求めているのではなく、納得できるサービスと価格を求めているといえる。

(3) 自分の葬儀について

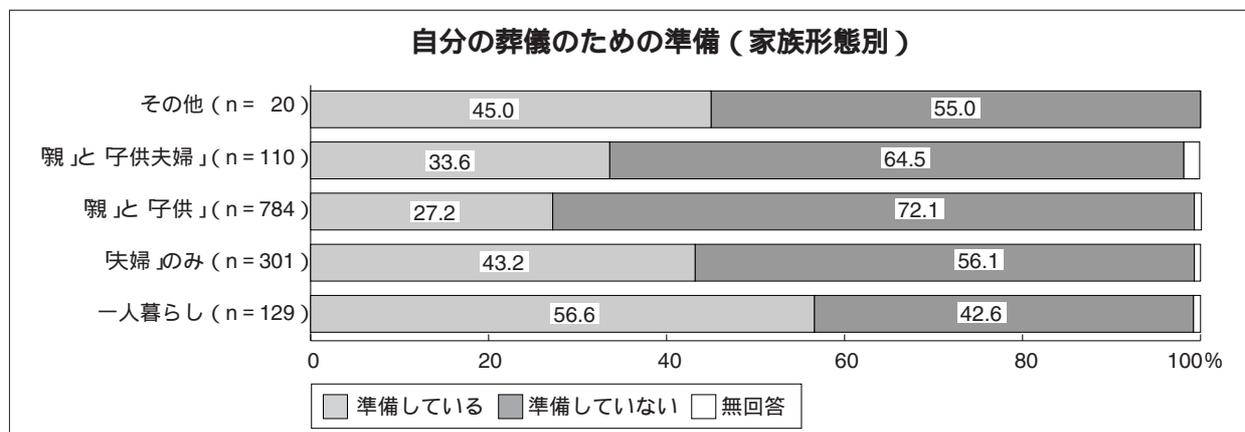
自分の葬儀についての準備の有無

問6 あなたは、ご自分の葬儀のために何か準備をしていますか。

自分の葬儀について「準備をしている」という人は34.4%である。年代別にみると、家族の葬儀と同じく、年代が高くなるにつれ準備をしている人の割合が増え、60代では52.8%、70代以上では68.2%が準備をしているが、20代では14.3%、30代では8.9%にすぎない。



住居形態別では、「一人暮らし」の人が準備をしている割合が高く、56.6%が準備をしている。

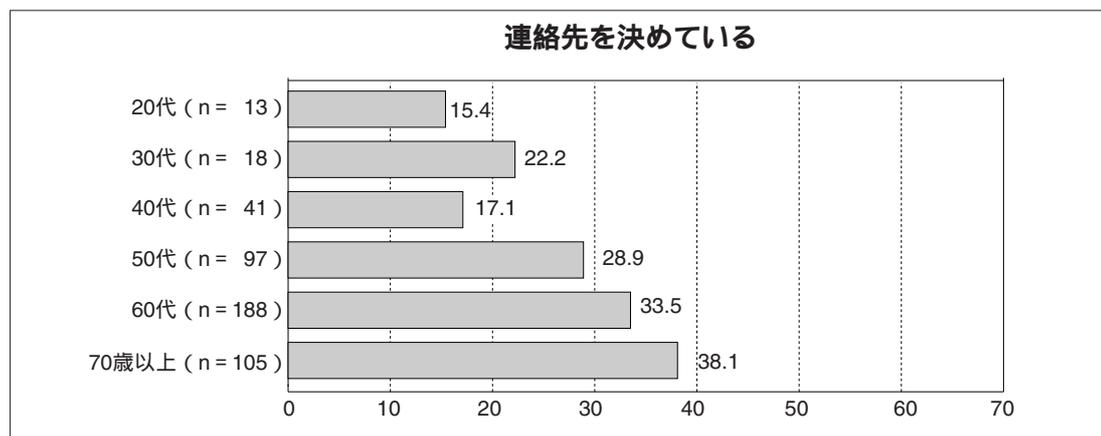
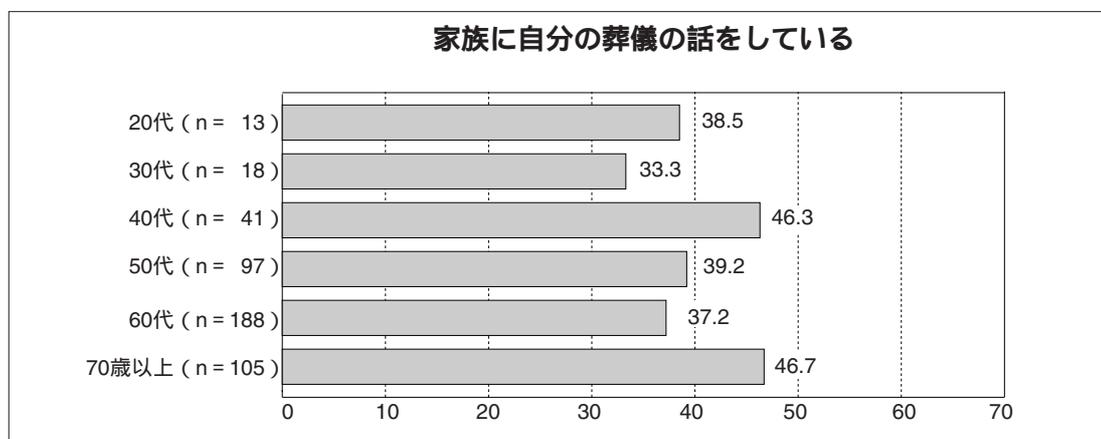
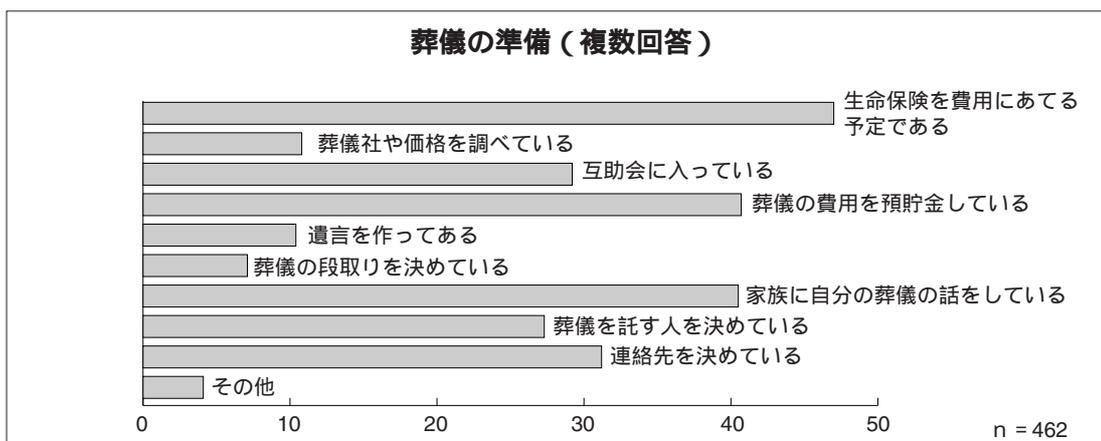


準備の内容

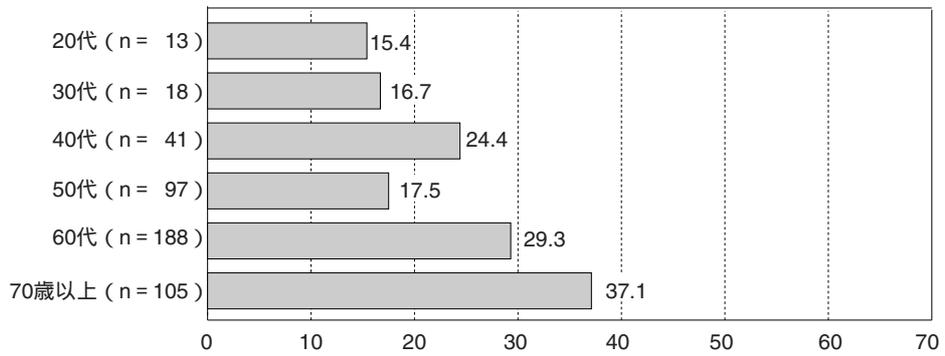
問6-1 どのような準備ですか。次の中からいくつでも挙げてください。

準備の内容は、「生命保険を費用に充てる予定である」とした人が約半数、次いで「葬儀の費用を預貯金している」が約4割、「互助会に入っている」人が約3割と金銭的に準備をしている人が多い。

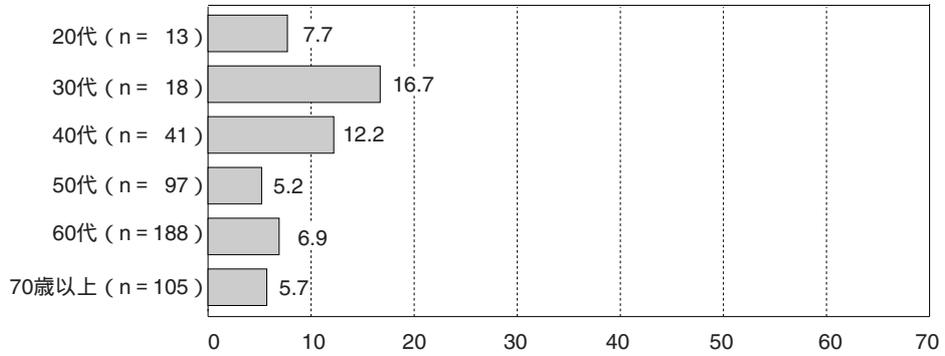
「葬儀社や価格を調べている」「葬儀の段取りを決めている」等、実際の葬儀について具体的に考えている人は少ないが、「家族に自分の葬儀の話をしている」とした人が40.5%と4割以上いることが注目される。また、「家族に自分の葬儀の話をしている」は、全ての年代で3割を超えており、40代と70代以上では5割に近づいている。



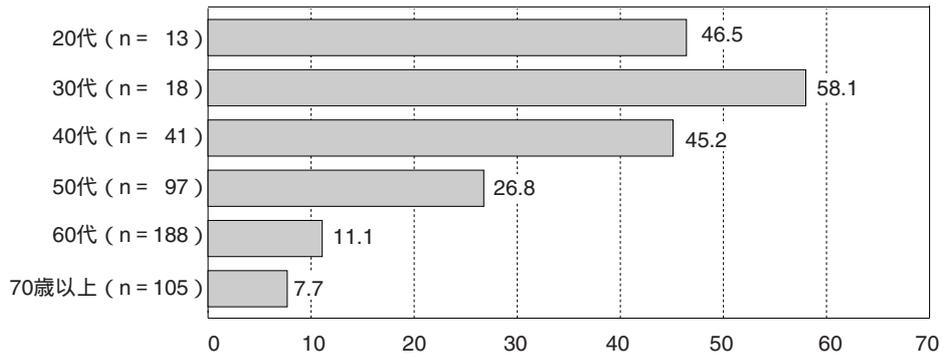
葬儀を託す人を決めている



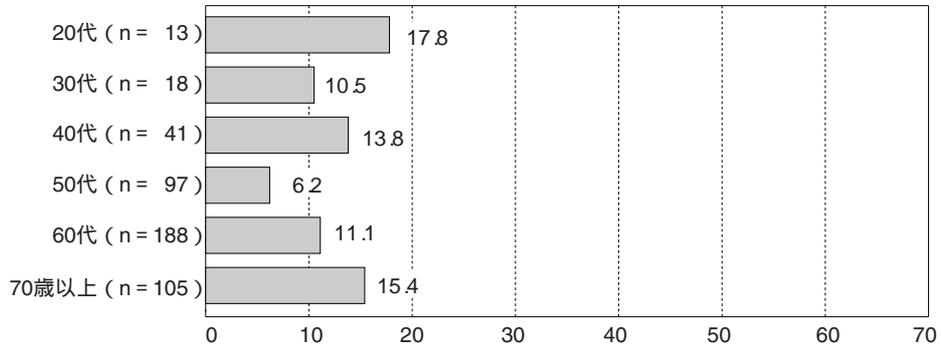
葬儀の段取りを決めている



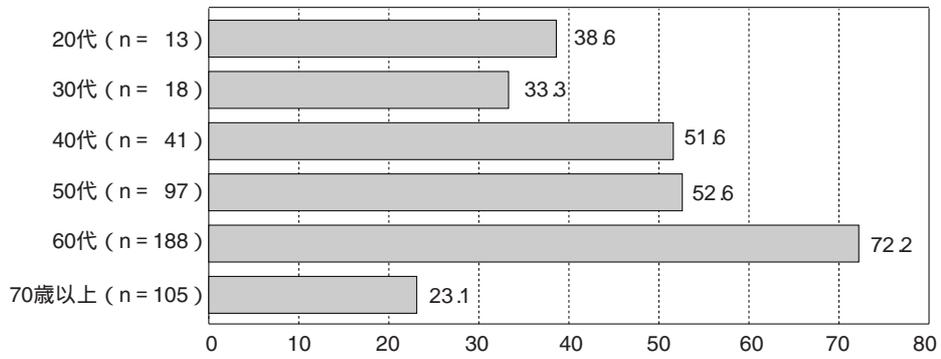
葬儀の費用を預貯金している



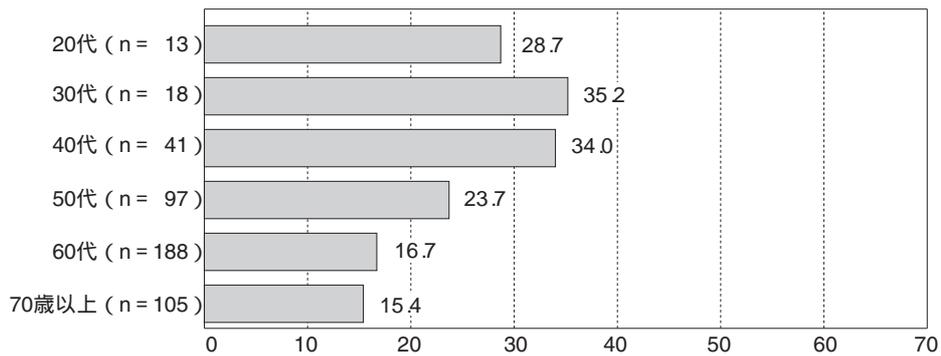
葬儀社や価格を調べている



生命保険を費用にあてる予定である



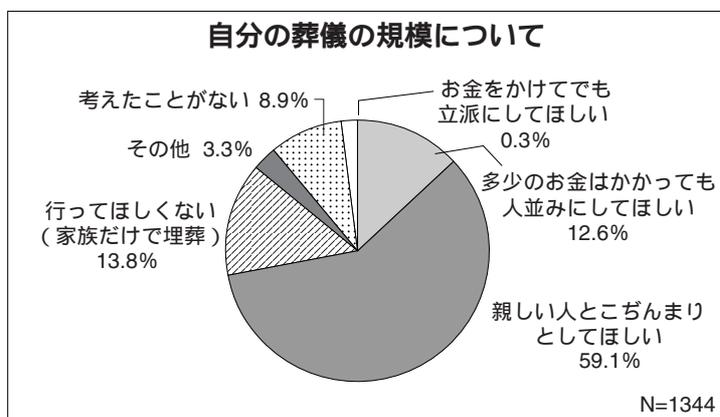
互助会に入っている



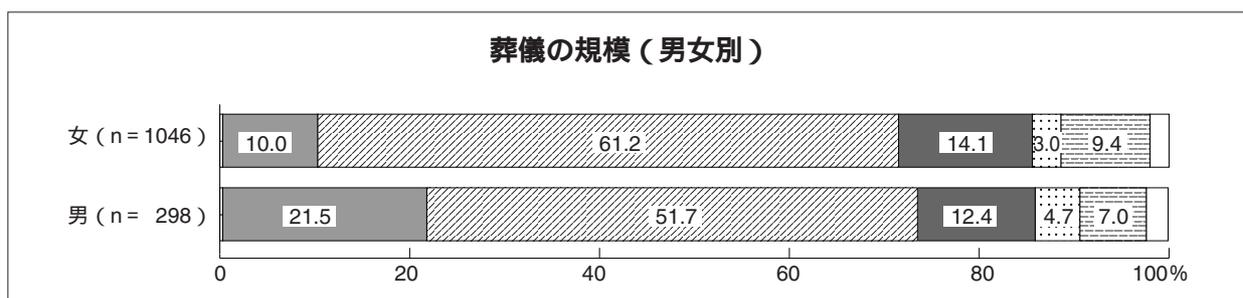
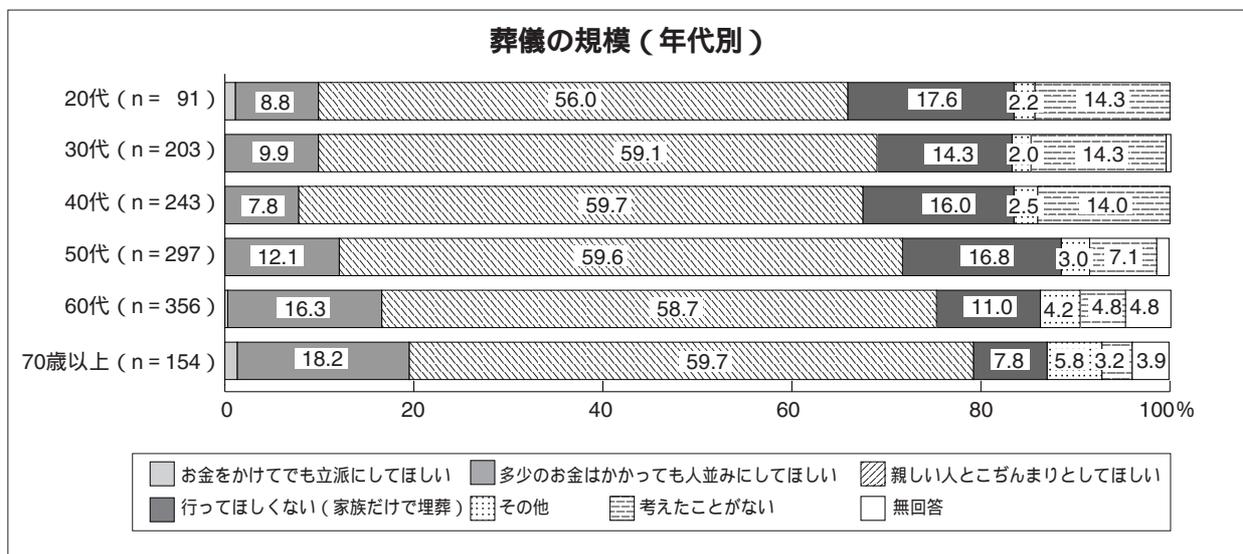
自分の葬儀の規模について

問7 あなたはご自分の葬儀の規模についてどのように思いますか。1つあげてください。

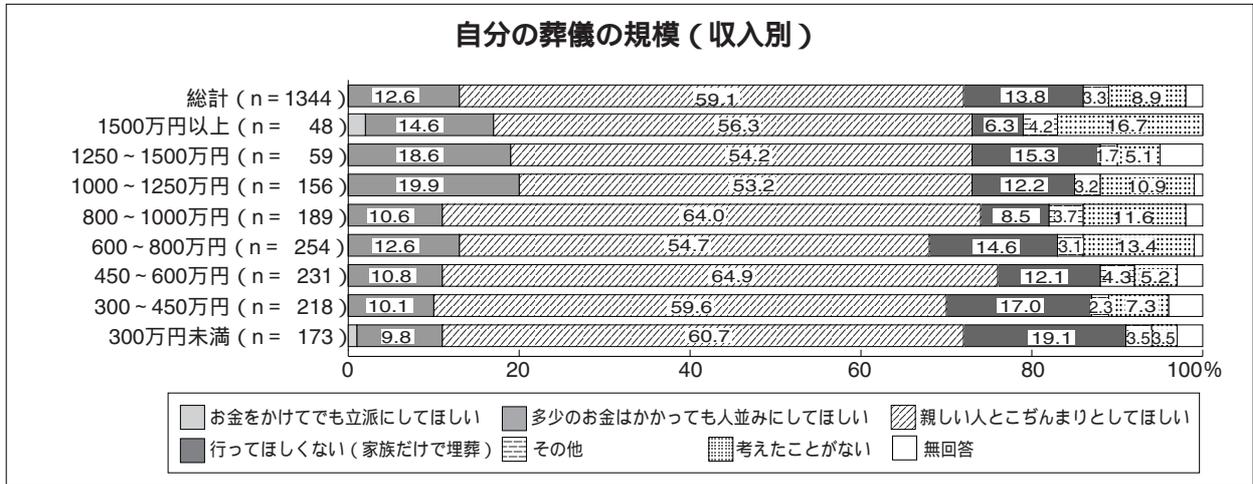
自分の葬儀の規模についてきいたところ、「親しい人とこぢんまりと行ってほしい」(59.1%)が約6割となり、次いで「行ってほしくない」(13.8%)、「多少のお金はかかっても人並みにしてほしい」(12.6%)、「考えたことがない」(8.9%)の順となっている。



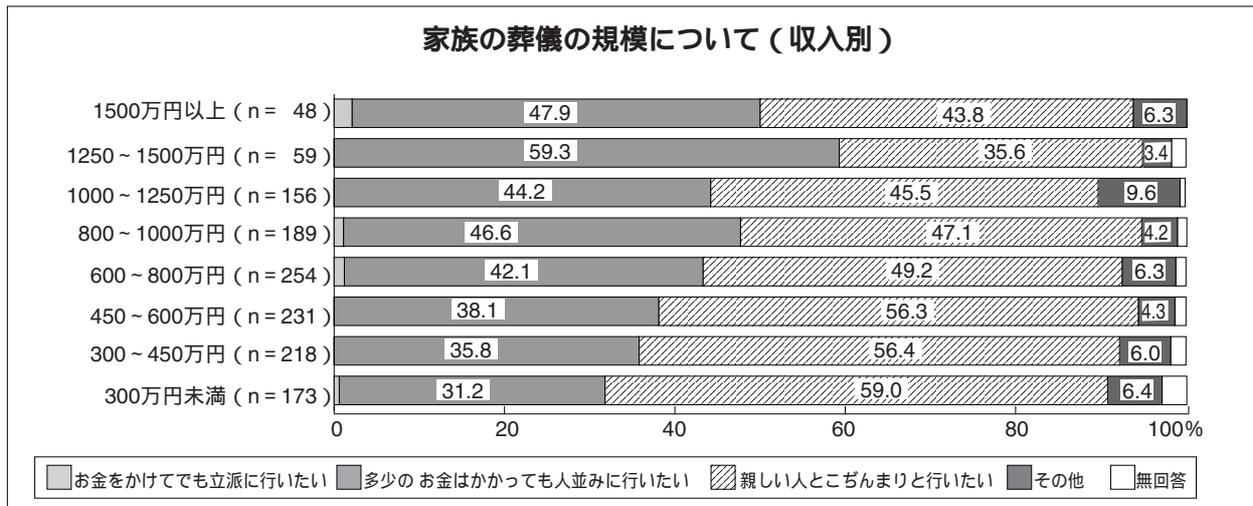
年代別に見ると、「親しい人とこぢんまりと行ってほしい」は全ての年代で6割近くを占めている。60代・70代以上の高年齢層では、「多少のお金はかかっても人並みにしてほしい」が他の年代よりも多いが、「葬儀は行ってほしくない」は他の年代よりも少なくなっている。また、女性よりも男性の方が「人並みに」行ってほしい人の割合が多い。



収入別にみると、家族の葬儀の規模については収入ランクが上がると「多少のお金はかかって
も人並みにしたい」と考える人が増え、年収800万円程度で半数に達していたのに対して、自分の
葬儀については、全ての収入ランクで、「多少のお金はかかっても人並みにしたい」とした人は2
割以下となり、「親しい人とこぢんまりと行って欲しい」と回答したひとが過半数を超えている。
「家族の葬儀は人並みにしても、自分は簡略なものでもよい」と考える人が全体の約2割存在する。



(参考・再掲)

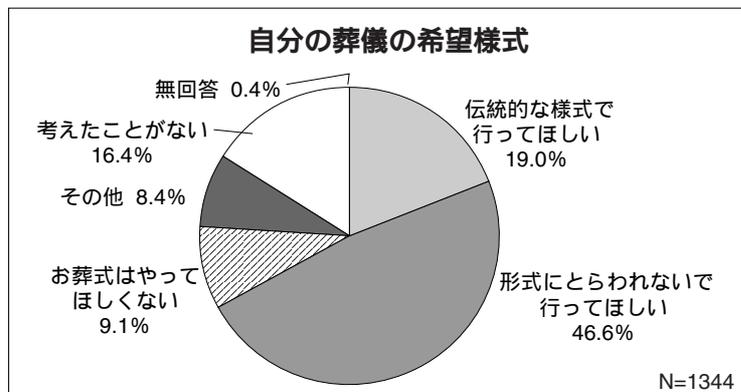


		自分の葬儀の規模							全 体
		お金をかけてでも立派にしてほしい	多少のお金はかかっても人並みにしてほしい	親しい人とこぢんまりとしてほしい	行ってほしくない(家族だけで埋葬)	その他	考えたことがない	無回答	
家族の葬儀の規模	お金をかけてでも立派に行きたい	3 0.2%	1 0.1%	2 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	7 0.5%
	多少のお金はかかっても人並みに行きたい	1 0.1%	161 12.0%	266 19.8%	25 1.9%	15 1.1%	68 5.1%	14 1.0%	550 40.9%
	親しい人とこぢんまりと行きたい	0 0.0%	5 0.4%	488 36.3%	129 9.6%	17 1.3%	36 2.7%	11 0.8%	686 51.0%
	その他	0 0.0%	1 0.1%	27 2.0%	27 2.0%	12 0.9%	14 1.0%	1 0.1%	82 6.1%
	無回答	0 0.0%	1 0.1%	11 0.8%	4 0.3%	1 0.1%	1 0.1%	1 0.1%	19 1.4%
	総 計	4 0.3%	169 12.6%	794 59.1%	185 13.8%	45 3.3%	119 8.9%	28 2.1%	1344 100.0%

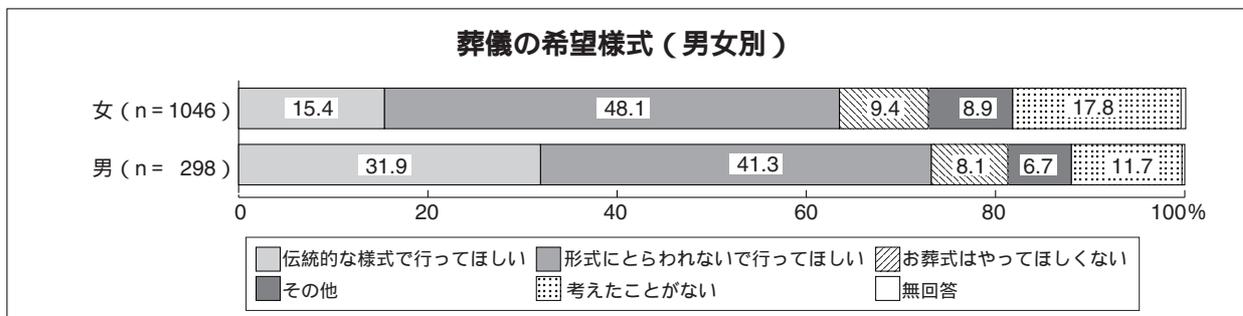
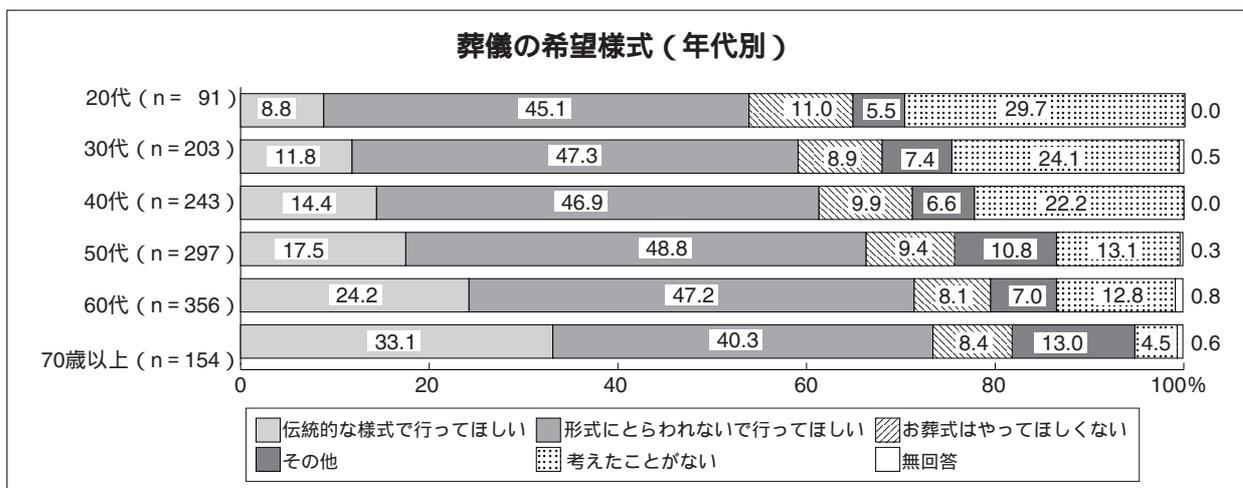
自分の葬儀の希望様式について

問8 あなたはご自分の葬儀をどのような様式で行ってほしいですか。

自分の葬儀をどのような形式で行いたいかについて聞いたところ、「伝統的な様式で行ってほしい」が19.0%、「形式にとらわれなくてほしい」が46.6%となった。



年代別にみると、「形式にとらわれなくてほしい」人は、70代以上で40.3%と若干少な目である他は、全ての年代で5割弱を占めている。一方「伝統的な様式で行ってほしい」は年代が高くなるほど増える傾向にある。また、女性よりも男性のほうが「伝統的な様式で行ってほしい」と回答した人の割合が多い。



自分の葬儀の規模との関連で見ると、「人並み」を希望した人の7割以上が「伝統的な様式」での葬儀を望んでおり、「こぢんまり」と希望する人の6割以上が「形式にとらわれなくてほしい」葬儀を望んでいる。

まとめ

「お金をかけて人並みに」「伝統的な様式で」葬儀を行おうと考える人よりも、「亡くなった人と親しかった人だけ」で、「あまりお金をかけずに」「形式にとらわれない」葬儀を行う、または「葬儀は行わない」とする人が若い年代ほど多くなっており、今後の傾向を示唆すると考えられる。

また、家族の葬儀についてよりも、自分の葬儀についての方が、より強く簡略化の意向を示している。

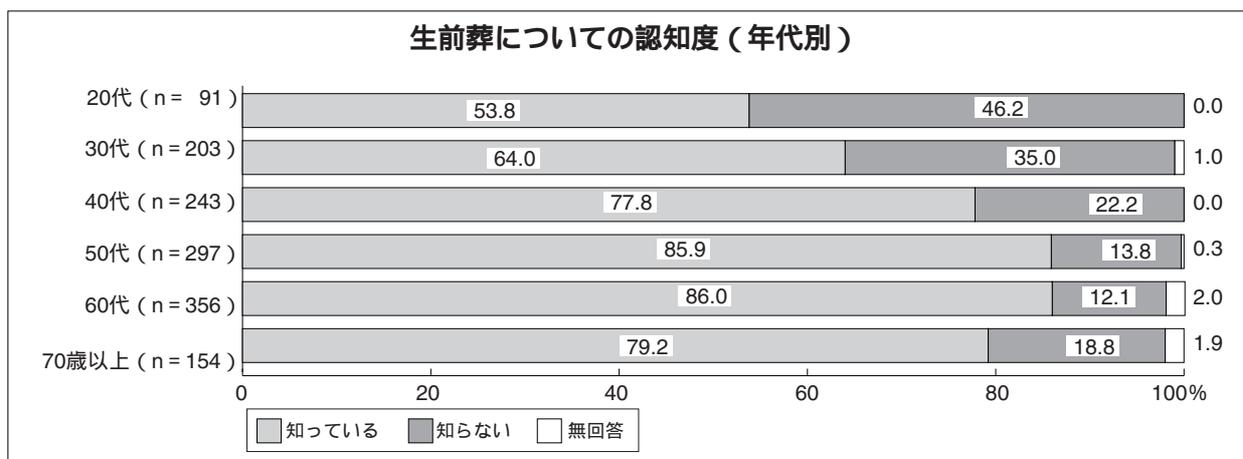
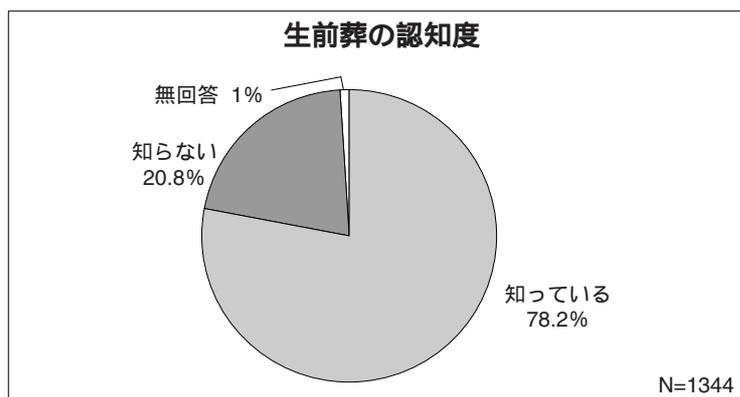
(4) 生前葬について

生前葬の認知度

問9 ご自分で生きているうちに関係者の方々とお別れをする生前葬が行われていますが、あなたはこのことをご存じですか。

自分が生きているうちに関係者とお別れする生前葬について「知っている」人が78%、「知らない」人が21%となっている。

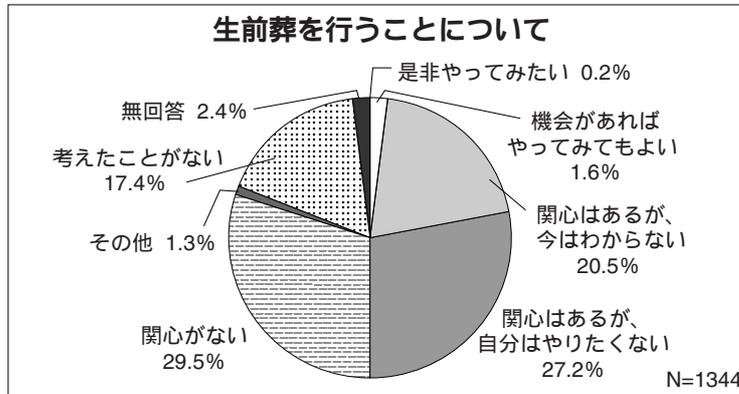
年代別では、高年齢層の方が認知度が高い。



生前葬への関心

問10 あなたは生前葬についてどう思いますか。

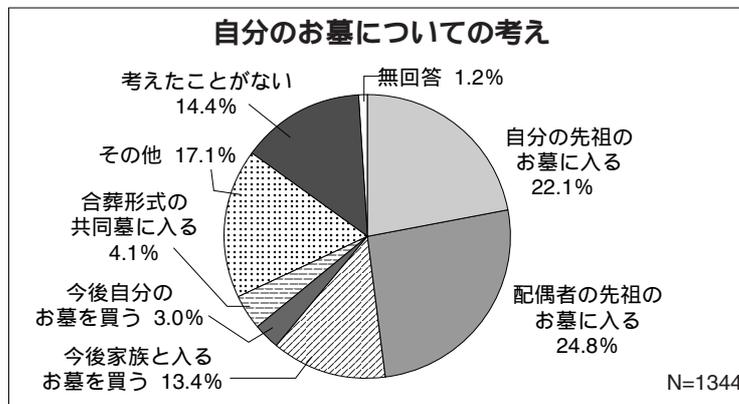
生前葬について「関心がない」(29.5%)「考えたことがない」(17.4%)で半数近くを占める一方、「関心はあるが、自分はやりたくない」(27.2%)「関心はあるが、今は分からない」(20.5%)「機会があればやってみたい」(1.6%)と関心のある人も約半数に達している。



(5) 自分のお墓について

問11 あなたは、ご自分のお墓についてどのようにお考えですか。次の中から1つあげてください。

自分のお墓については、「配偶者の先祖のお墓にはいる」(24.8%)が一番多く、ついで「自分の先祖のお墓に入る」(22.1%)となっている。「合葬形式の共同墓に入る」という人は4.1%と少数である。



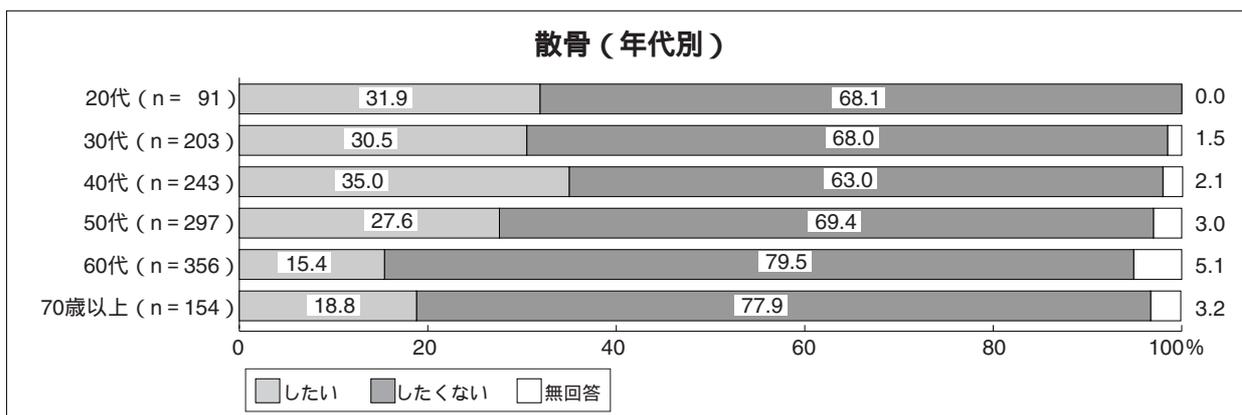
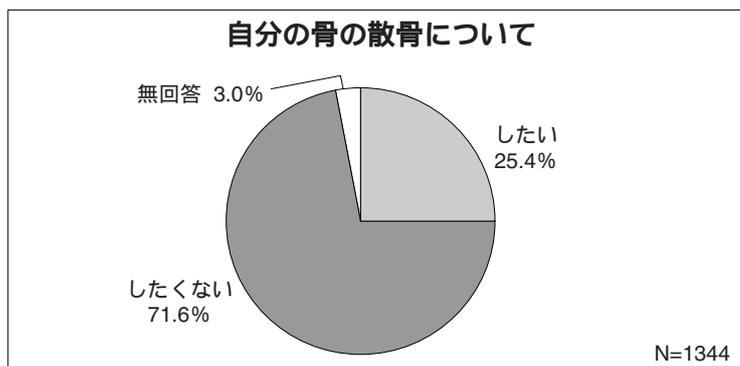
(6) 散骨について

散骨の意向

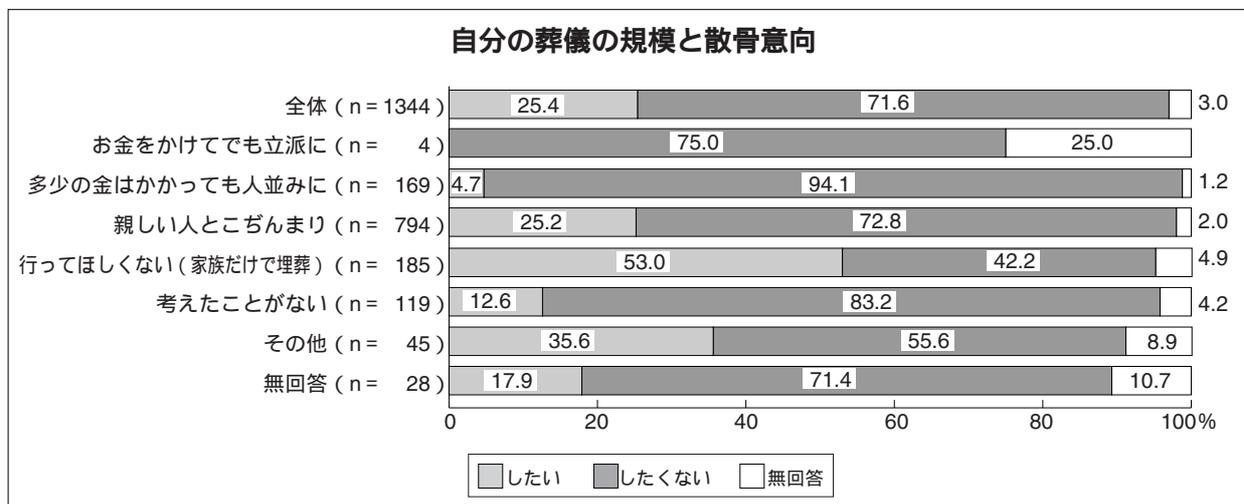
問12 あなたは、ご自分の骨を散骨したいと思いますか。

自分の骨の散骨を「したい」人が25.4%、「したくない」人が71.6%であった。

年代別にみると、40代以下では散骨「したい」が3割を超えるが、60代・70代以上の高年齢層では、「したい」ひとは2割を下回り、「したくない」人が約8割となる。



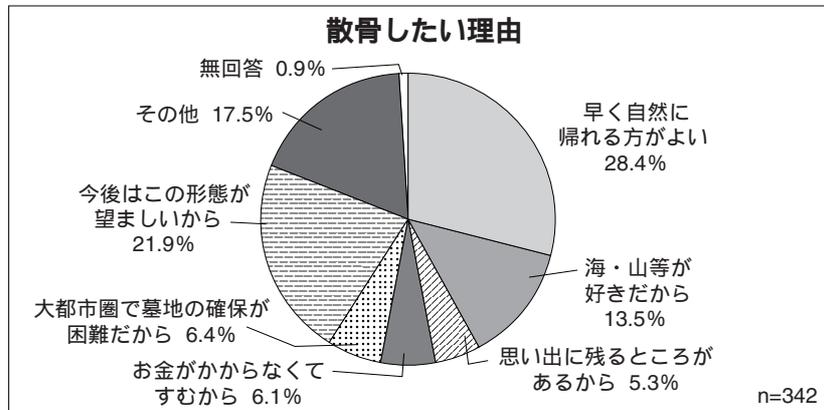
自分の葬儀の規模についての考え方との関係でみると、「立派な葬儀」「人並みの葬儀」を希望する人に散骨を希望する人がほとんどいないのに対して、「葬儀を行って欲しくない（家族だけで埋葬してほしい）」と回答したひとの53%が散骨を希望している。



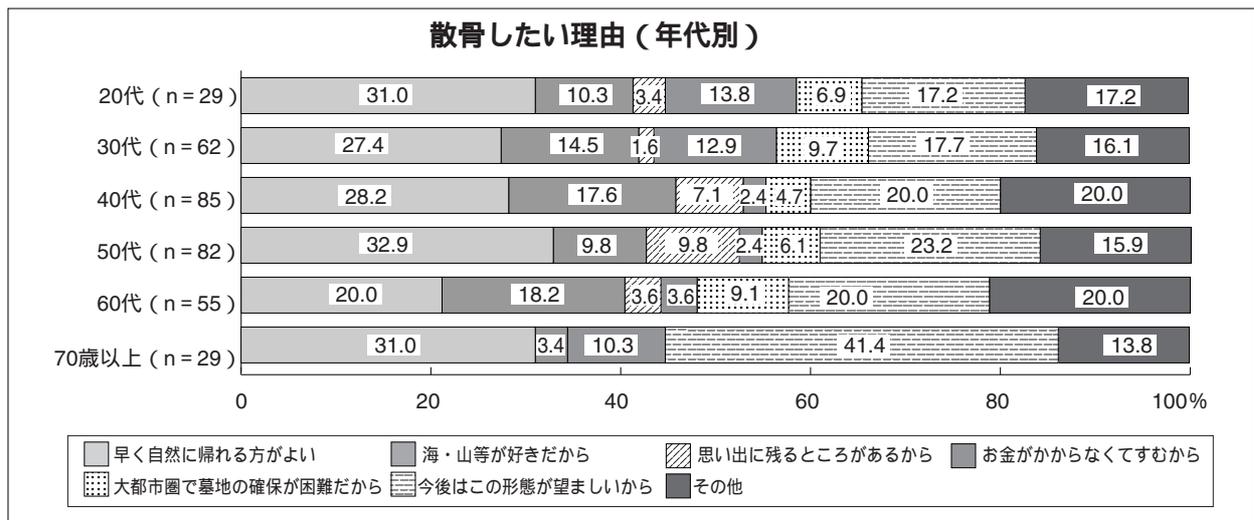
散骨したい理由

問12 - 1 散骨したい理由は何ですか。

散骨を「したい」と回答した人にその理由をきいたところ、「早く自然に帰れるから」(28.4%)「今後はこの形態が望ましいから」(21.9%)と回答した人が多かった。



年代別に見ると、70代以上の41.4%の人が「今後はこの形態が望ましい」と考えていることが注目される。



散骨についての自由意見 (抜粋)

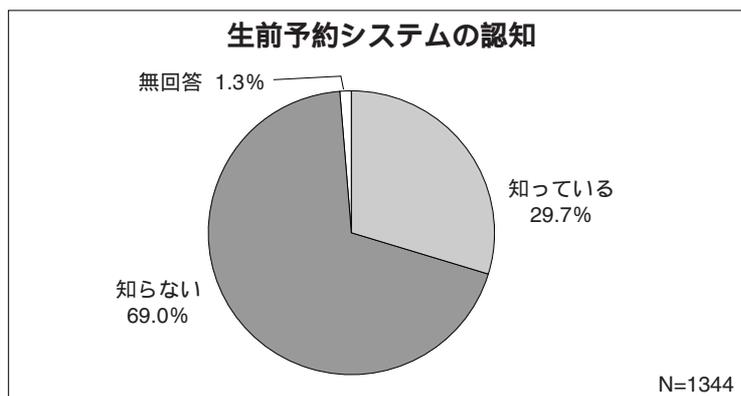
- ・ 子供がいないので、散骨でいい。
- ・ 墓とか先祖にしばられて、実家とか家名にしばられる遺族は大変だと思うし、暗い墓穴にひしめきあい閉じ込められるのはごめん。
- ・ 遺族が墓参りをしなくてすむ。
環境に悪いので、散骨はよくない。
- ・ 遺族に任せる。

(7) 生前予約システム

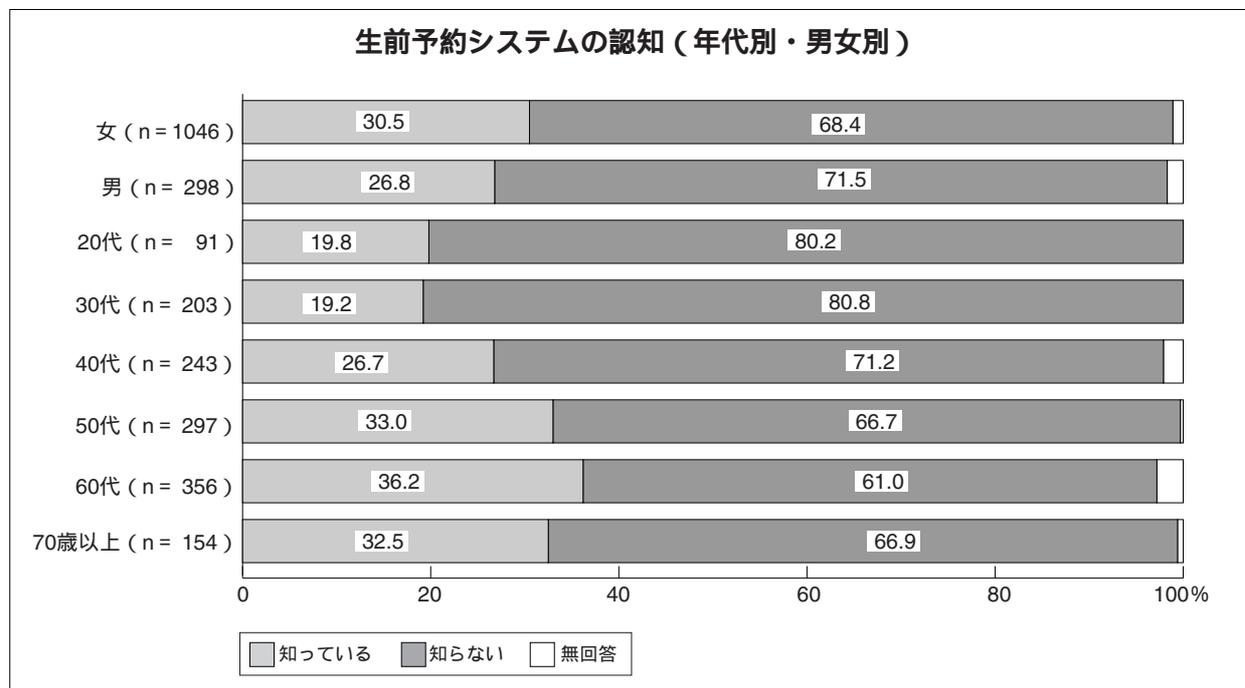
生前予約システムの認知

問13 生前に自分の葬儀を予約し、連絡先から葬儀の規模一切を保険会社などにまかせて経費の支払をすましてしまうという生前予約システムが最近話題になっていますが、あなたはお存じですか。

生前予約システムを「知っている」(29.7%)、「知らない」(69.0%)であった。



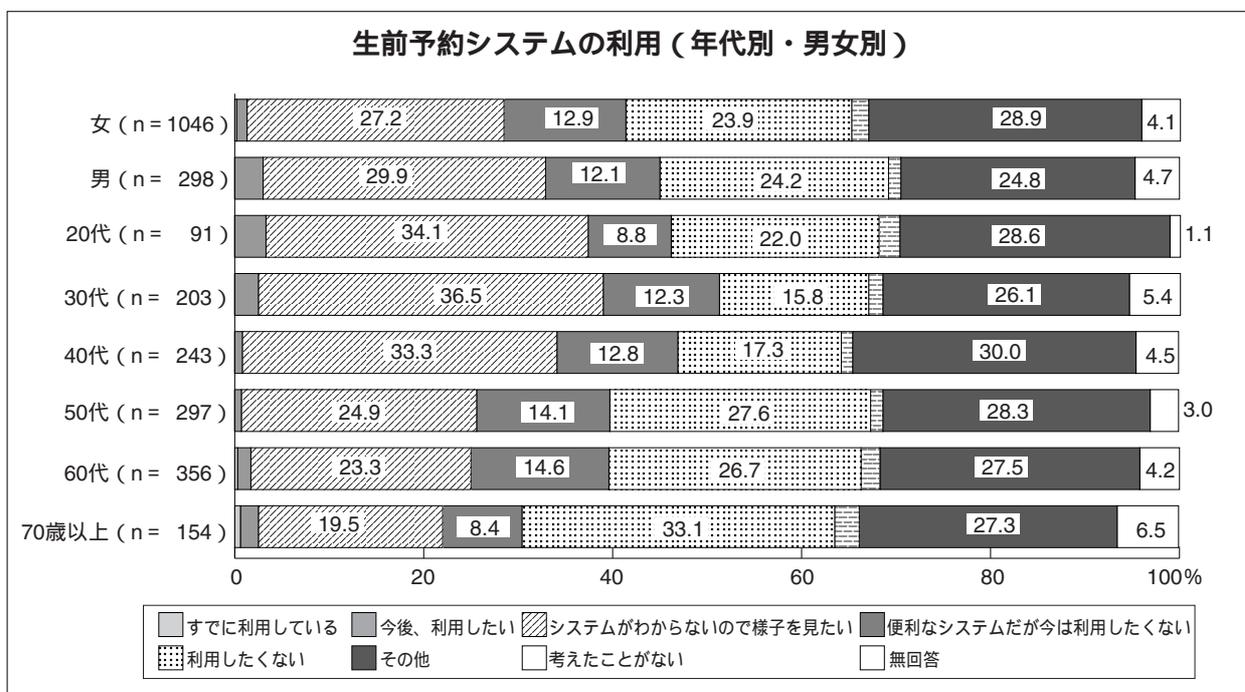
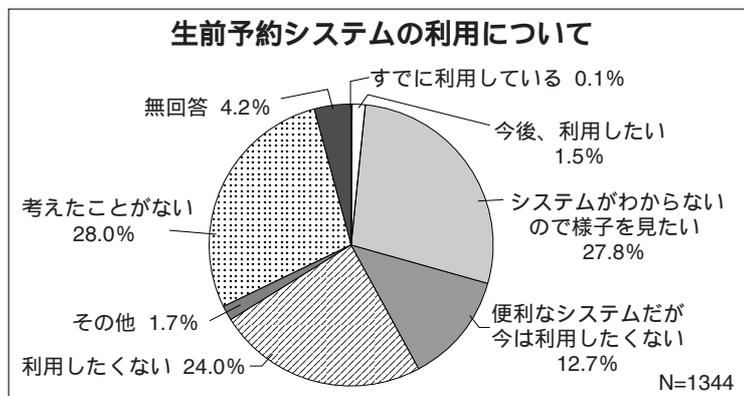
年代別にみると、一番周知されている60代で36.2%、一番周知がすすんでいない30代で19.2%の認知度である。



生前予約システムの利用意向

問14 その生前予約システムを利用したいと思いますか。

生前予約システムを利用したいかどうかでは、「すでに利用している」(0.1%)「今後利用したい」(1.5%)と利用に積極的な人は少ない。

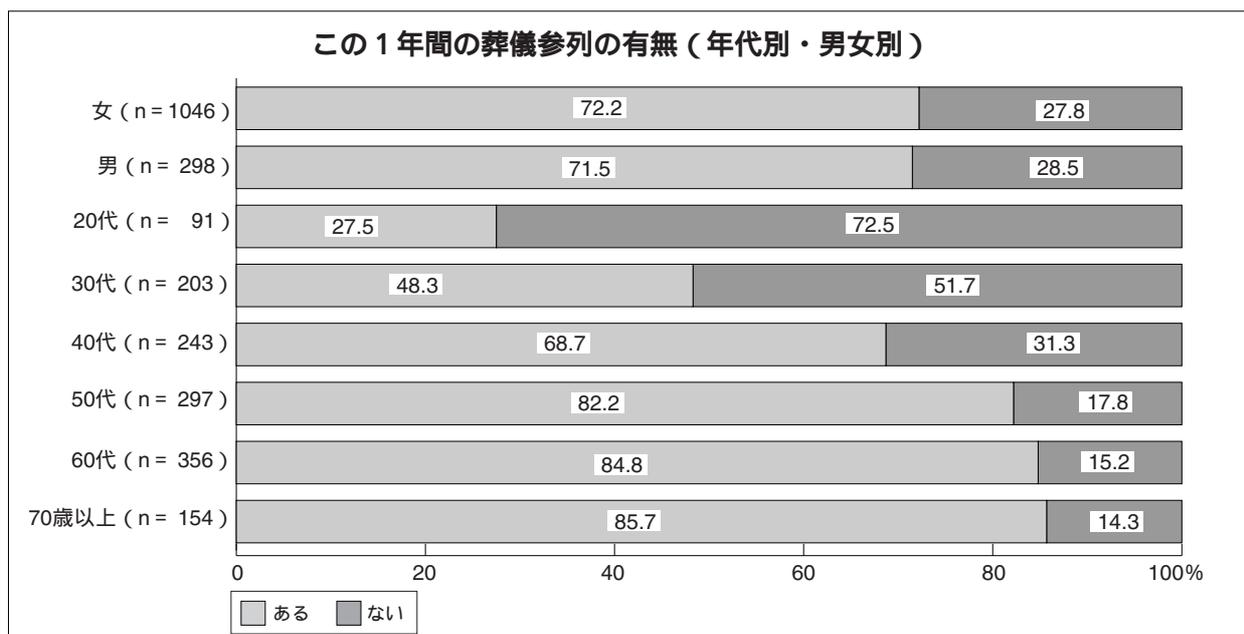
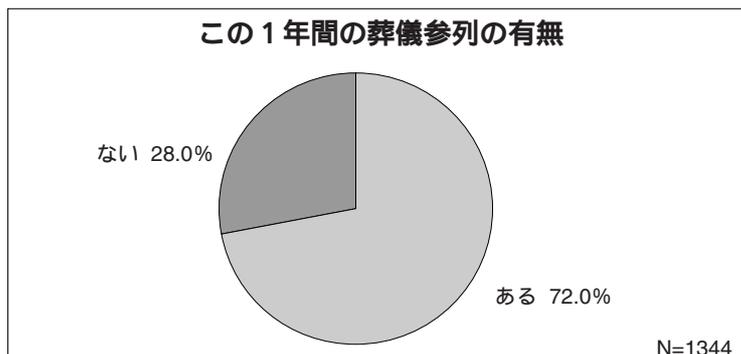


2. 香典調査

(1) この1年間の参列状況

問15 あなたは、この1年間にどなたかの葬儀に参列したことがありますか。

この1年間に自分の周りであった葬儀への参列状況をきいたところ、72.0%の人がお通夜や告別式に参列していた。年代別にみると、20代ではこの1年間に葬儀に参列したことがある人の割合は27.5%であるが、年代が高くなるほど増加し、70代以上では85.7%の人がこの1年間に葬儀に参列している。



(2) この1年間の参列回数

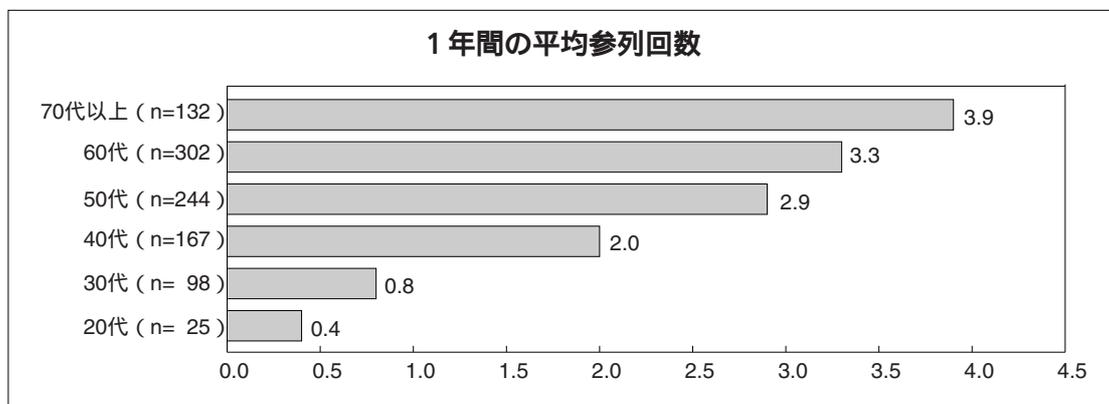
問16 あなたがこの1年間に参列したお通夜や告別式について、それぞれの回数とどなたのお葬式だったかをお答えください。

この1年間に自分の周りであった葬儀への参列回数は、平均で「お通夜のみ」2.5回、「告別式のみ」2.0回、「お通夜と告別式」2.0回となった。また、これらを合わせた平均では参列したことがある人のみの平均で3.5回となった。また、延べ人数で「お通夜のみ」641人、「告別式のみ」332人、「お通夜と告別式」585人であった。

		全 体	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回以上
お通夜のみ	件数	641	282	143	85	44	32	55
	割合(%)	100.0	44.0	22.3	13.3	6.9	5.0	8.6
告別式のみ	件数	332	215	80	22	6	1	8
	割合(%)	100.0	64.8	24.1	6.6	1.8	0.3	2.4
お通夜と告別式	件数	585	323	142	51	27	11	31
	割合(%)	100.0	55.2	24.3	8.7	4.6	1.9	5.3
合計	件数	961	270	225	159	107	54	146
	割合(%)	100.0	28.1	23.4	16.5	11.1	5.6	15.2

それぞれ参列した人をベースにした参列回数は、「友人・知人」が2.7回、「仕事関係」2.3回、「その他」2.2回、「親族」1.4回の順となっている。年代別にみると、20代は平均で1年間に0.4回の参列であるが、年代が高くなるほど1年間の参列回数も増え、70代以上では平均3.9回の参列となっている。

	回答者数	参列した相手				合 計
		親 族	仕事関係	友人・知人	そ の 他	
お通夜のみ	641	1.4回	2.0回	2.2回	1.8回	2.5回
告別式のみ	332	1.3回	1.5回	1.4回	2.0回	1.7回
お通夜と告別式	585	1.4回	1.8回	1.8回	2.1回	2.0回
回答者の総平均	961	1.6回	2.3回	2.7回	2.2回	3.5回

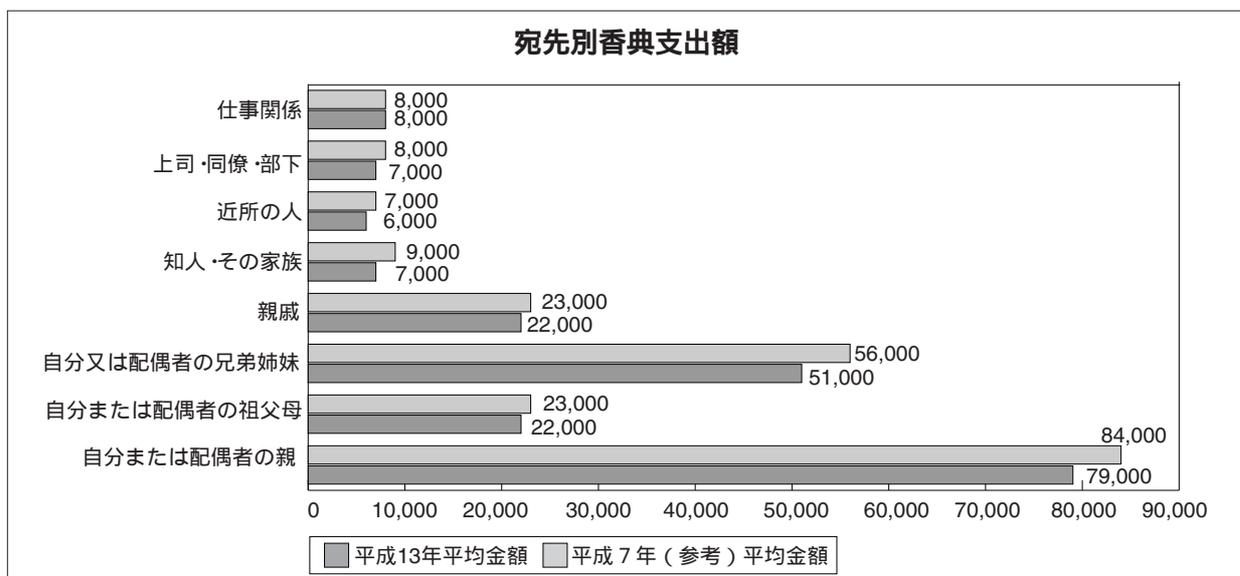


(3) 香典支出状況

問17 あなたはこの1年間、家族や親戚、親しい人が亡くなったときに、いくらぐらい香典を支出しましたか。それぞれ回数と、1年間の合計額をお答えください。

金額

一回当たりの香典額を宛先別に見ると、「自分または配偶者の親」79,000円、「自分または配偶者の兄弟姉妹」51,000円、「自分または配偶者の祖父母」22,000円、「親戚」22,000円などとなっている。



年代別にみると、年間の支出額が一番低いのは20代であり、1年間で平均14,000円である。また、一番多いのは50代で58,000円、次いで60代の56,000円となっている。宛先別年代別の支出金額は表のとおりである。

年代別・宛先別香典1回あたりの支払額

	宛先別香典1回あたりの支払額				年間平均支払額
	親族	親戚	友人・知人等	仕事関係	
全体	59,000	22,000	7,000	8,000	49,000
20代	22,000	9,000	8,000	6,000	14,000
30代	38,000	11,000	5,000	5,000	22,000
40代	57,000	19,000	6,000	6,000	35,000
50代	75,000	21,000	7,000	8,000	58,000
60代	60,000	24,000	8,000	9,000	56,000
70代以上	48,000	27,000	8,000	10,000	54,000

支出回数

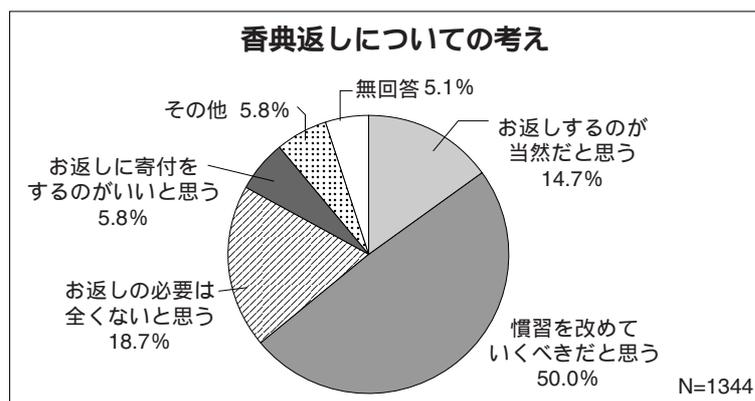
この1年間に香典の支出のあった人(1842人)の支出回数の平均は3.7回となっている。

(4) 香典返し

問18 あなたは、お香典返しをもらったことについてどう思いますか。

この1年間に葬儀に参列した人に、香典返しについてどう考えるか聞いたところ、「お返しするのが当然」は14.7%にとどまった。「慣習を改めていくべき」とした人は、50.0%、「お返しの必要は全くない」は18.7%となった。

慣習をあらため、香典返しも省略していこうと考えるひとが過半数を超えている。

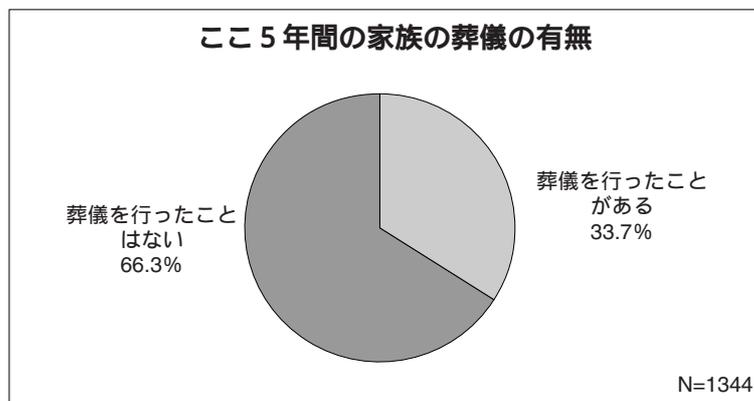


3. 葬儀を行った経験

(1) 家族の葬儀を行った経験

問19 この5年の間に、都内でご家族の葬儀を行ったことがありますか。

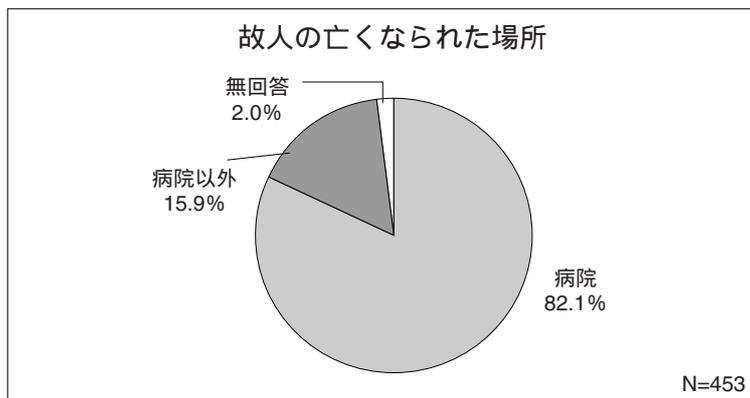
この5年間に家族の葬儀を行ったことの「ある」のは34%、「ない」は66%である。



(2) 故人の亡くなられた場所

問20 故人はどこでなくなられましたか。

病院で亡くなったと回答した人が82.1%、それ以外の場所と回答した人が15.9%であった。

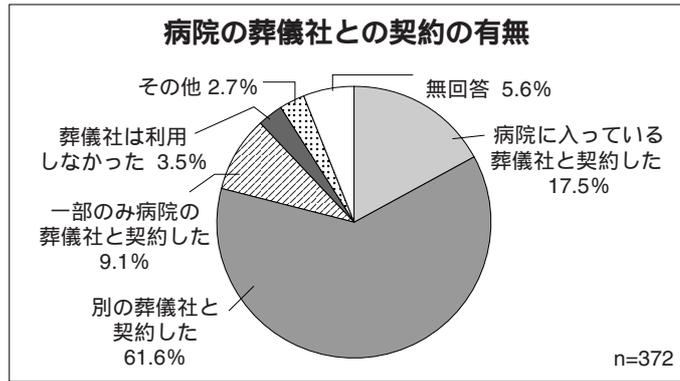


(3) 病院の葬儀社との契約の有無

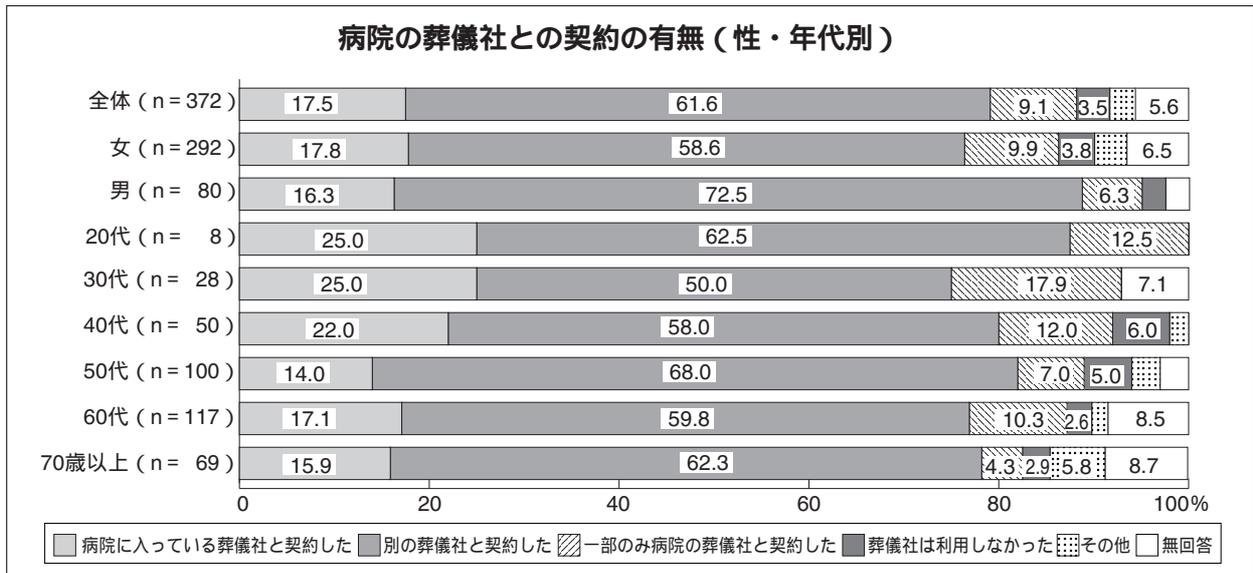
問21 あなたは、その病院に入っている（「その病院と契約している」または「その病院の紹介する」）葬儀社と契約しましたか。

病院で亡くなったと回答した人に病院の葬儀社と契約したかどうかを聞いたところ、「病院の葬儀社と契約した」が17.5%、「別の葬儀社と契約した」が61.6%、「一部のみ病院の葬儀社と契約した」が9.1%であった。一部病院の葬儀社を利用した人は、ほとんどが亡くなった人を病院から自宅等へ搬送することを病院の葬儀社に依頼していると見られる。

複数の葬祭事業者へのインタビューによると、事業者によって割合に差はあるが、病院の霊安室で契約をするケースは、3割から5割に達する葬儀社もあるという。事業の性質上、大々的な広告が出来にくい葬祭事業者にとって、病院との提携は新たな顧客開拓のチャンスとなっており、企業アンケートでも病院と提携関係にある葬儀社は全体の4割を占める結果となっている。



年代別に見ると、20代から40代では、約4分の1の人が病院の葬儀社と契約しているが、50代以上では、2割以下と少なくなっている。

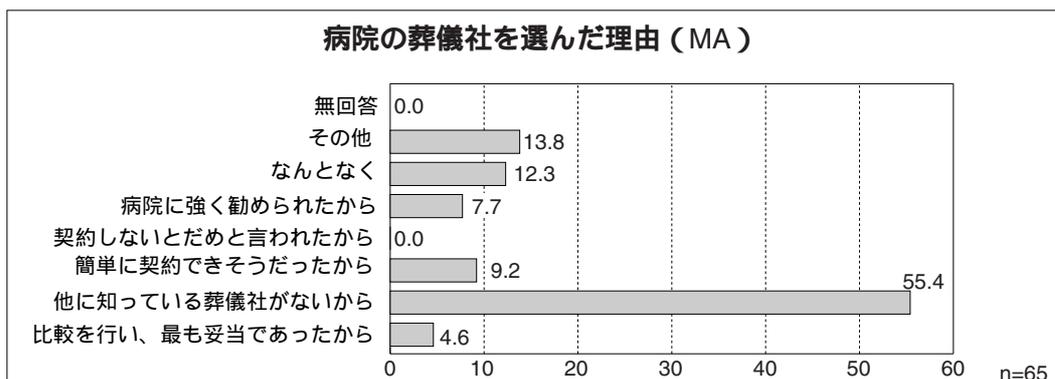


病院の葬儀社を選んだ理由

付問21-1 なぜ、その葬儀社を選びましたか。

病院の葬儀社を選んだ人にその理由をきいたところ、「最も妥当であった」という人は4.6%にすぎず、「他に知っている葬儀社がない」55.4%、「なんとなく」12.3%という結果になった。「病院に強く勧められた」という人も7.7%いた。

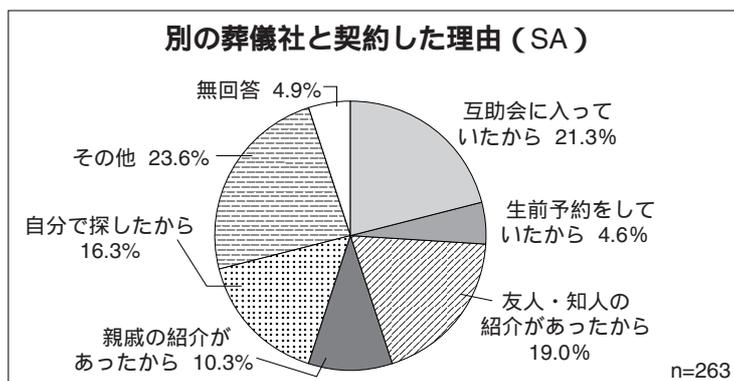
病院で強く勧められるケースは少ないと思われるが、特に知っている葬儀社がない人達がなんとなく選択していると考えられる。



病院の葬儀社を選ばなかった理由

付問21-2 なぜ、別の葬儀社と契約しましたか。

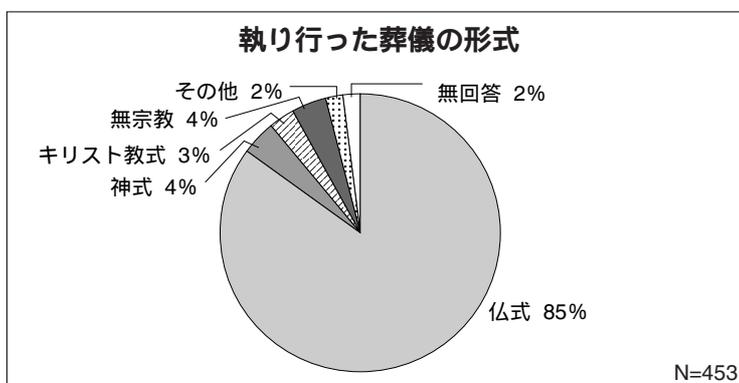
病院の葬儀社を選ばなかった人にその理由をきいたところ、「互助会に入っていた」(21%)「友人・知人の紹介」(19%)「自分で探した」(16%)などに分かれた。「その他」が24%と多いが、その理由では、「自宅に近い」「お寺(教会)の紹介」「前からの知り合いの葬儀社があった」等の理由が多い。



(4) 執り行なった葬儀の形式

問22 葬儀は何式で執り行いましたか。

葬儀の形式は85%が仏式であり、神式・キリスト教式・無宗教がそれぞれ3%から4%となった。



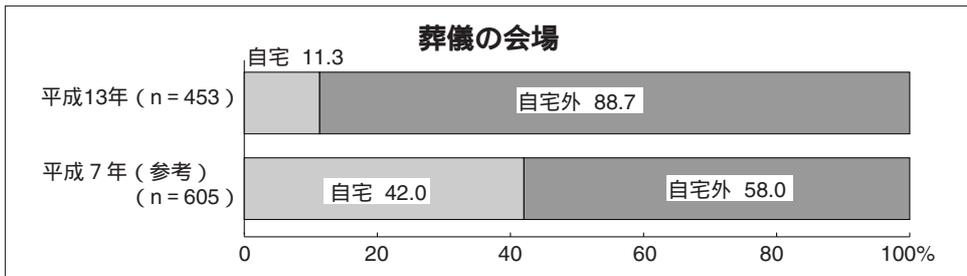
(5) 葬儀の会場

葬儀の実施会場

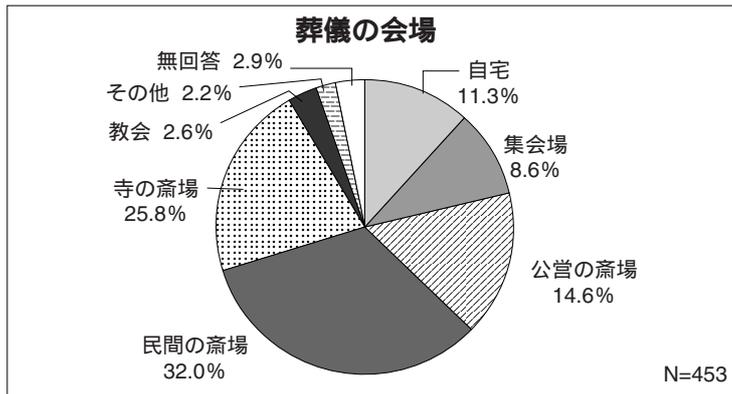
問23 葬儀の会場はどこでしたか。

葬儀の会場は、「自宅」が11.3%で、前回調査の42.0%を大きく下回った。今回の調査では、自宅以外で行った人の割合が88.7%を占めた。

複数の葬祭事業者へのインタビューでは、ここ5～6年、急激に自宅で葬儀を行う人が減少しているということである。その理由は、『斎場で行うと、遺族が楽である』『近所に迷惑をかけたくない』等、遺族の意識の変化と、葬祭事業者側にとっても自宅で行う葬儀に比べ、手間がかからないため、斎場をすすめることもあること等があげられた。

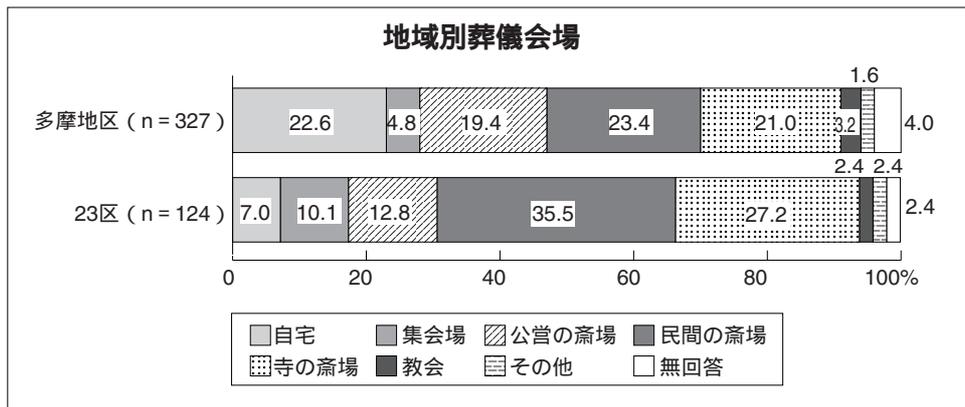


葬儀を行った場所のうちでは、「民間の斎場」で行った人が最も多く、葬儀を行った人全体の31%を占める。以下、「寺の斎場」(26%)「公営の斎場」(15%)が続いている。



葬祭事業者へのインタビューによると、民営の斎場については、新規に斎場を経営する葬祭事業者が増加しているようである。しかし、事業者間の競争のため、お互いに他の事業者には自社の斎場を使わせなかったり、葬儀組合でも斎場使用を自組合員に限定しているケースもある。このため、斎場数については全体像が明らかでない。

地域別では、多摩地区では葬儀会場を、「自宅」とした人が23%であるのに対し、23区では「自宅」で葬儀を行った人は7%にすぎない。23区では、「民間の斎場」「寺の斎場」で葬儀を行った人が6割を超える。



斎場選択の理由

付問23- 1 その斎場を選んだ理由は何ですか。(はいくつでも)

「公営の斎場」を選択した理由は、「斎場が広くて設備が整っている」(60.6%)、「交通の便がよい」(40.9%)「駐車場がある」(40.9%)「使用料が安い」(39.4%)などとなっている。

		葬儀の会場							
		合計		公営の斎場		民間の斎場		寺の斎場	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
その斎場を選んだ理由	全体	340	100.0	66	100.0	145	100.0	117	100.0
	参列者にとって交通の便がいいから	131	38.5	27	40.9	65	44.8	38	32.5
	斎場が広く、設備が整っているから	134	39.4	40	60.6	60	41.4	32	27.4
	駐車場があるから	92	27.1	27	40.9	42	29.0	22	18.8
	使用料が安かったから	34	10.0	26	39.4	7	4.8	0	0.0
	サービス・雰囲気が良いから	35	10.3	12	18.2	17	11.7	4	3.4
	檀家だから	57	16.8	1	1.5	1	0.7	55	47.0
	葬儀社の紹介で	84	24.7	15	22.7	43	29.7	26	22.2
	葬儀社の経営している斎場だから	39	11.5	0	0.0	38	26.2	1	0.9
	日程上その斎場にするしかなかった	29	8.5	2	3.0	13	9.0	14	12.0
	その他	57	16.8	14	21.2	17	11.7	19	16.2
	無回答	7	2.1	2	3.0	0	0.0	2	1.7

「民間の斎場」を選択した理由は、「交通の便がよい」(44.8%)「広くて設備が整っている」(41.4%)、「葬儀社の紹介」(29.7%)「葬儀社の経営している斎場」(26.2%)等となっている。「寺の斎場」を選択した理由は「檀家だから」が47%と一番多い。

4. 葬儀費用

(過去5年間に都内で葬儀を経験し、葬儀費用の支払額を知っている人に)

(1) 葬儀費用支払い状況

問24 あなたは、家族、親戚、友人の葬儀費用を支払う際にどのくらい支払いましたか。各項目についてお答えください(2回以上ある場合は最近の一回についてお答えください)

利用者から見た葬儀費用の負担状況

葬儀社への支払額(飲食費を含まない)は、最高で850万円、最低で3万8千円であった。前回調査が平均で159万3千円であったのに対して、今回は平均176万9千円で、前回よりも18万円多いという結果になった。

(単位：千円)

項目	回答額					一人当りの金額			
	件数 (件)	平均価格		最高価格	最低価格	件数 (件)	平均価格	最高価格	最低価格
		2001年	1995年 (参考)						
葬儀社への支払い	363	1768.8	1592.8	8,500	38				
そのうち飲食・接待費	276	293.2		3,000	0	273	2.3	100	0
寺院関係への支払い	313	642.7	637.9	2,500	0				
そのうち戒名料	231	381.7	402.4	2,000	0				
香典返し	329	911.2	906.6	6,000	0	326	5.6	94	0
飲食・接待費	223	362.3	451.8	2,500	0	222	2.4	26	0
その他	151	232.4	479.2	3,000	0				
費用の合計	364	3,458.6		16,500	350				

葬儀会場別の葬儀社への支払い金額は、自宅が一番安く132万円、寺の斎場が一番高く200万円となった。

(単位：千円)

	件数	葬儀社への支払		寺院関係への支払		香典返し	飲食・接待費	その他	費用の合計
		内飲食・接待費	内戒名料						
自宅	46	1316.1	178.2	518.2	351.9	925.5	399.9	202.1	2953.5
集会場	33	1346.6	192.4	529.3	288.4	747.7	402.8	231.8	3258.2
公営の斎場	51	1543.3	310.1	572.4	345.9	755.6	297.1	319.2	3487.5
民間の斎場	122	1992.6	360.2	593.3	357.0	949.9	345.1	193.8	3643.3
寺の斎場	89	2008.2	308.0	846.1	472.2	1025.4	370.0	245.4	4495.1
教会	6	1967.8	0.0	750.0	-	1362.5	404.0	60.0	4544.3
その他	7	1078.7	177.5	454.8	202.0	514.5	514.3	201.0	2763.3
無回答	10	1923.1	193.5	710.9	625.0	749.3	323.6	222.2	3428.8
全体	364	1768.8	293.2	642.7	381.7	911.2	362.3	232.4	3458.6

これを地域別にみると、23区平均で181万9千円、多摩地区平均で163万3千円、島嶼平均で130万円となった。23区では、山の手地区が一番高く(200万7千円)、東部地域(165万円)が一番安い。多摩地域では、北多摩北部地域が一番高く(273万3千円)、多摩西部地域が一番安い。(124万8千円)

(単位：千円)

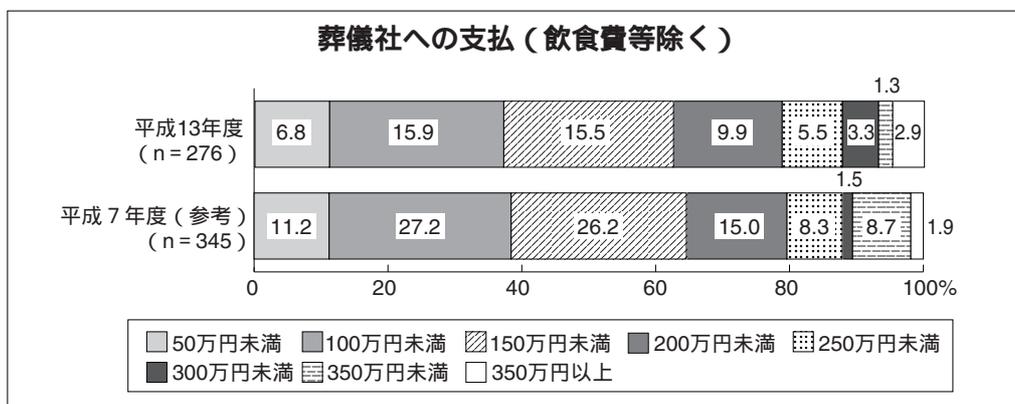
項 目		区 部							区部平均
		都心地域	山の手地域	下町地域	南部地域	西部地域	北部地域	東部地域	
葬儀社への支払い	件数(件)	17	31	53	30	64	30	45	270
	平均価格	1808.9	2007.0	1713.5	2001.4	1889.5	1738.2	1650.3	1819.1
そのうち飲食・接待費	件数(件)	14	28	36	24	47	20	32	201
	平均価格	331.1	421.6	367.1	269.5	269.1	253.7	253.2	308.2
	一人当り平均価格	2.2	2.4	1.9	5.7	1.9	1.6	2.0	2.4
寺院関係への支払い	件数(件)	15	29	46	25	51	25	37	228
	平成13年度	855.3	661.3	644.9	746.5	729.1	595.6	604.9	678.9
	平成7年度	910.0	719.0	617.0	651.0	814.0	514.0	514.0	677.0
そのうち戒名料	件数(件)	7	20	34	19	39	20	26	165
	平均価格	285.7	404.0	396.3	515.8	392.4	335.0	354.2	391.3
香典返し	件数(件)	14	29	49	28	59	27	38	243
	平均価格	1246.0	1016.6	801.7	870.5	790.4	1021.4	989.2	911.9
	一人当り平均価格	4.9	5.3	5.0	7.6	5.6	5.4	6.1	5.7
飲食・接待費	件数(件)	9	17	30	18	42	13	29	158
	平均価格	317.1	340.5	399.1	447.3	325.3	572.9	386.8	386.0
	一人当り平均価格	1.4	2.3	1.9	2.3	2.9	3.5	3.0	2.5
その他	件数(件)	8	11	21	14	21	14	21	110
	平均価格	211.5	114.7	274.8	226.5	149.4	284.4	265.3	223.5

項 目		市 町 村 部						その他 島 嶼
		南多摩地 域	北多摩 西部地域	北多摩 南部地域	北多摩 北部地域	多摩 西部地域	市町村郡 平均域	
葬儀社への支払い	件数(件)	31	15	19	10	15	90	3
	平均価格	1516.3	1471.4	1677.9	2733.4	1248.1	1633.5	1303.7
そのうち飲食・接待費	件数(件)	24	13	14	8	13	72	3
	平均価格	159.7	239.8	133.9	757.6	108.7	226.4	891.0
	一人当り平均価格	1.7	2.6	1.4	3.6	0.7	1.8	4.3
寺院関係への支払い	件数(件)	32	12	17	8	13	82	3
	平成13年度	477.5	620.8	635.9	580.0	551.6	553.1	343.3
	平成7年度	606.0	502.0	648.0	326.0	629.0	542.2	-
そのうち戒名料	件数(件)	24	13	12	6	10	65	1
	平均価格	323.8	396.2	440.0	450.0	240.0	358.5	300.0
香典返し	件数(件)	31	13	17	8	14	83	3
	平均価格	822.5	591.3	812.5	1381.3	1332.0	924.0	495.0
	一人当り平均価格	5.4	5.8	5.3	7.2	5.6	5.6	2.0
飲食・接待費	件数(件)	24	6	14	7	13	64	1
	平均価格	327.8	120.8	306.3	213.9	401.3	306.2	200.0
	一人当り平均価格	1.8	0.6	2.7	1.4	2.6	2.0	3.3
その他	件数(件)	12	8	5	6	9	40	1
	平均価格	115.3	165.5	910.2	168.2	205.4	252.9	390.0

金額の分布

1) 葬儀社への支払額

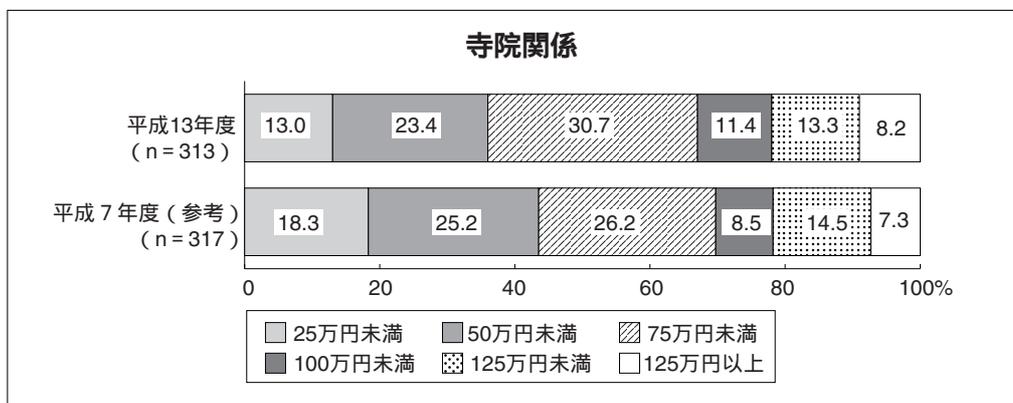
葬儀社への支払額は最高で850万円、最低で3万8千円であった。支払額の分布でみると「50万円以上100万円未満」が最も多く、26.0%、次いで「100万円以上150万円未満」が25.3%、「150万円以上200万円未満」が16.2%となっている。全体では「50万円以上200万円未満」で7割近くを占めている。



2) 寺院関係への支払額

寺院関係への支払額は、最高で250万円、最低で0円であった。支払額の分布でみると「50万円以上75万円未満」が最も多く、31.0%、次いで「25万円以上50万円未満」が23.0%、「100万円以上125万円未満」が13.3%となっている。全体では「25万円以上75万円未満」で5割を超えている。

前回調査が平均で63万8千円であったのに対して、今回は平均64万3千円という結果になった。

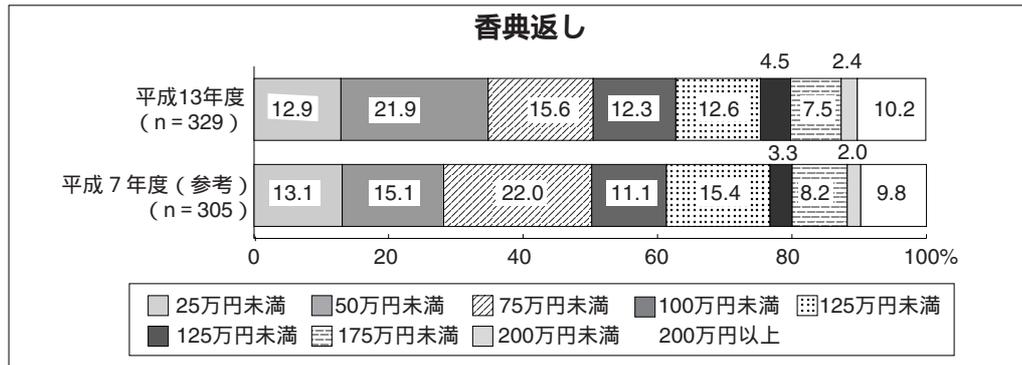


これを地域別にみると、23区の平均が一番高く（67万7千円）多摩市町村部55万3千円、島嶼で34万3千円であった。

3) 香典返し

香典返しは、最高で600万円、最低で0円であった。支払額の分布でみると「25万円以上50万円未満」が最も多く、21.9%「50万円以上75万円未満」が15.6%で続いている。また、一人当りへの香典返しの金額は平均5千6百円である。

前回調査が平均で90万6千円であったのに対して、今回は平均91万7千円という結果になった。



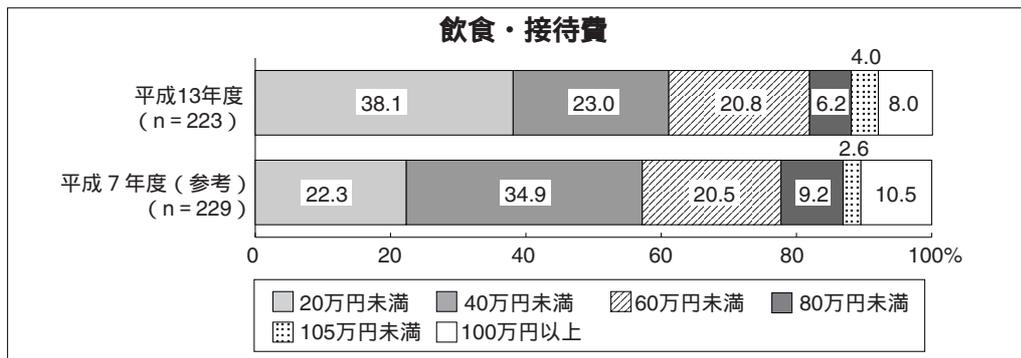
これを地域別にみると、多摩市町村部の平均が一番高く93万7千円、23区（91万6千円）島嶼で49万5千円であった。葬儀社への支払い金額が低かった多摩西部地域で、香典返しが133万2千円と高かったことが目を引く。

4) 飲食・接待費

飲食・接待費は、最高で250万円、最低で0円であった。支払額の分布でみると「20万円未満」が最も多く、38.1%、次いで「20万円以上40万円未満」が23.0%で続いている。また、一人当たりへの飲食・接待費の金額は平均2千4百円である。

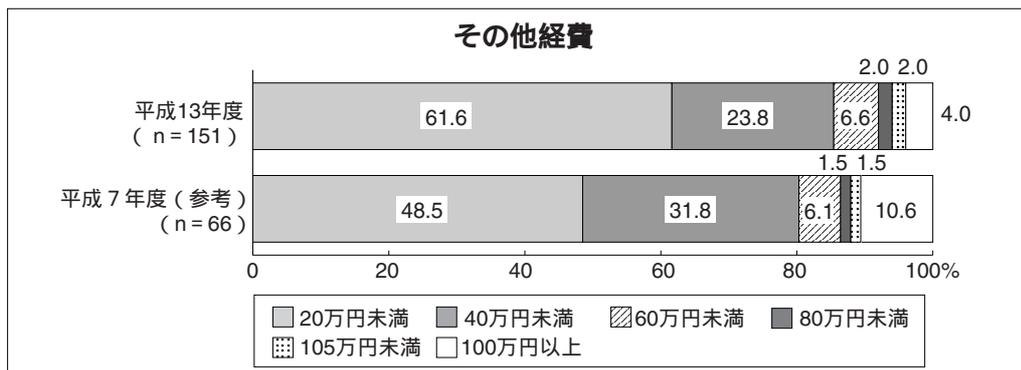
前回調査が平均で45万2千円であったのに対して、今回は平均36万3千円という結果になった。

これを地域別にみると、23区の平均が一番高く38万4千円、多摩市町村部（30万6千円）島嶼で20万円であった。



5) その他の支払額

その他の支出のあったのは、41.3%（151人）で、その主なものは「遠方からの親戚の交通費・宿泊費」「手伝いの人へのお礼」「会場費」「チップ」等である。金額は「20万円未満」が61.6%、「20万円以上40万円未満」が23.8%となっている。平均は23万2千円である。前回調査での平均は47万9千円であったのに比べ、半減している。

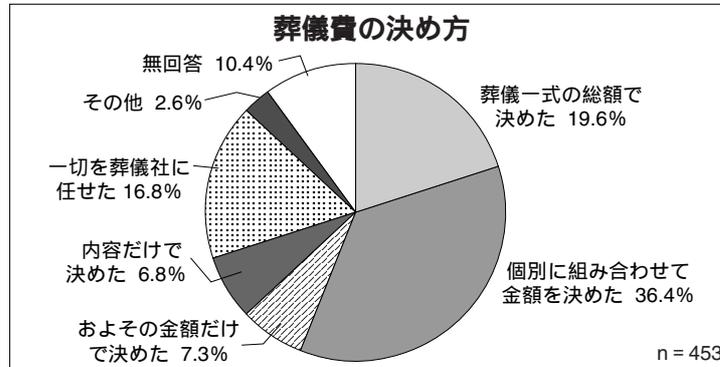


(2) 葬儀の費用の決め方

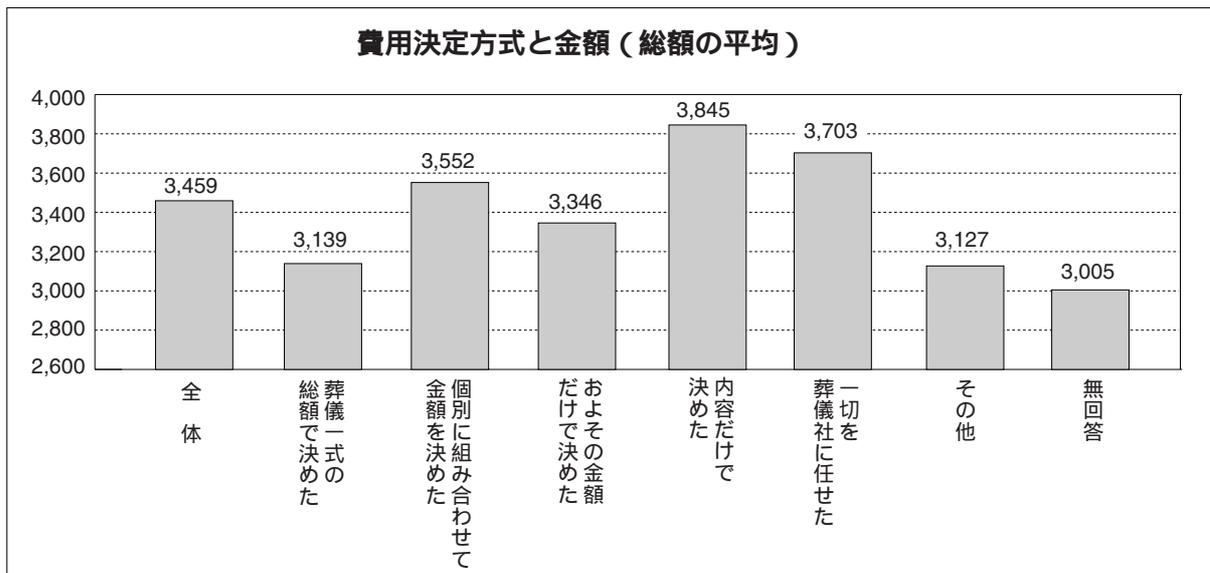
費用の決め方

問25 葬儀を依頼したとき、葬儀の費用についてはどんな決め方をしましたか。

葬儀の費用の決め方は、「個別に組み合わせて金額を決めた」が36.4%、「葬儀一式の総額で決めた」が19.6%、「一切を葬儀社に任せた」が16.8%となっている。



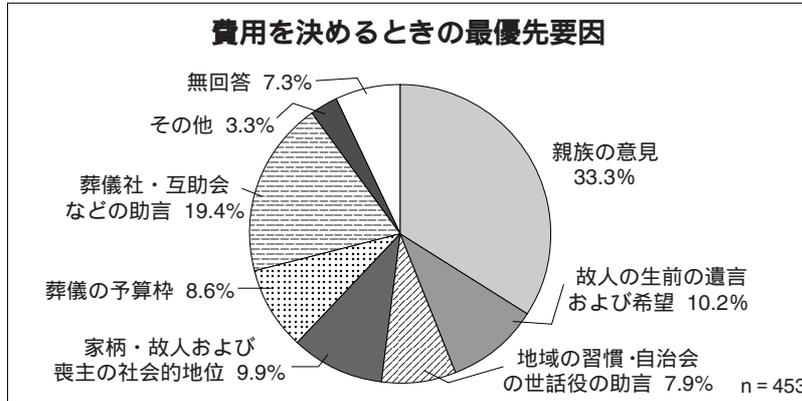
葬儀社への支払い金額別にみると、支払い額が100万円から200万円の間の人、「総額で決めた」という人の割合が、他の価格帯に比べて多い。なお、費用の決め方による金額の平均では、「その他」を除けば、「総額で決めた」ひとが、金額が一番低く、「一切を葬儀社に任せた」人が一番高くなっている。



費用の決定要因

問26 葬儀費用（または規模）を決めたとき、最優先した要因はなんですか。（1つ）

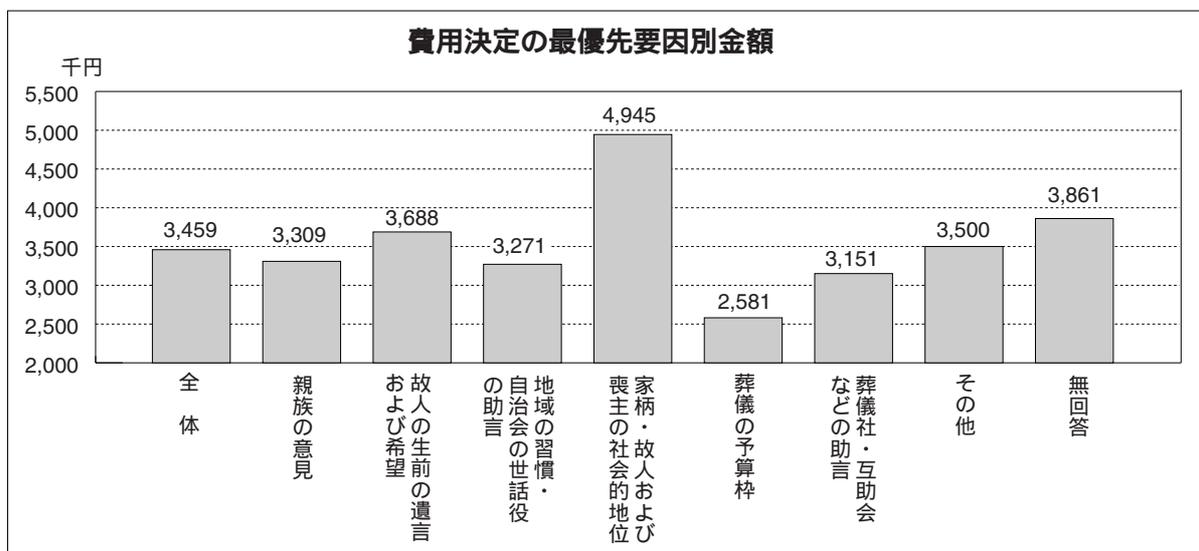
葬儀の費用を決めるに当たり、一番大きな要因がなんであったか聞いたところ、一番大きな要因となっているのは、「親族の意見」であり34%を占める。次いで「葬儀社・互助会の助言」（19%）となっている。「故人の生前の遺言および希望」は10%にとどまる。



問2の家族の葬儀に関する考えとの関係でみると、家族の葬儀について「故人の遺志を反映したものにしたい」と回答した人の中でさえも、33.9%は「親族の意見」、18.4%は「葬儀社・互助会の助言」によって決定しており、「故人の生前の遺言および希望」によって決定している人は13.8%にすぎない。現実の葬儀の際には、なかなか故人の生前の意志をとおすことが難しいようである。ちなみに、家族の葬儀について「人並みに行えればよい」と考える人では、「故人の生前の遺言および希望」によって費用を決定した人は、3.2%であった。

		実際の葬儀費用決定の最優先要因								小計
		遺族の意見	故人の生前の遺言及び希望	地域の習慣・自治会の世話役の意見	家柄・故人および喪主の社会的地位	葬儀の予算枠	葬儀社・互助会などの助言	その他	無回答	
家族の葬儀に対する考え	故人の遺志を反映したものにしたい	96 33.9%	39 13.8%	17 6.0%	26 9.2%	24 8.5%	52 18.4%	9 3.2%	20 7.1%	283 100.0%
	遺族の気の済むようにしたい	20 32.3%	4 6.5%	9 14.5%	8 12.9%	4 6.5%	13 21.0%	0 0.0%	4 6.5%	62 100.0%
	人並みに行えればよい	31 33.0%	3 3.2%	10 10.6%	8 8.5%	10 10.6%	22 23.4%	4 4.3%	6 6.4%	94 100.0%
	その他	1	0	0	2	1	0	2	0	6
	無回答	3	0	0	1	0	1	0	3	8
	全体	151 33.3%	46 10.2%	36 7.9%	45 9.9%	39 8.6%	88 19.4%	15 3.3%	66 7.3%	453 100.0%

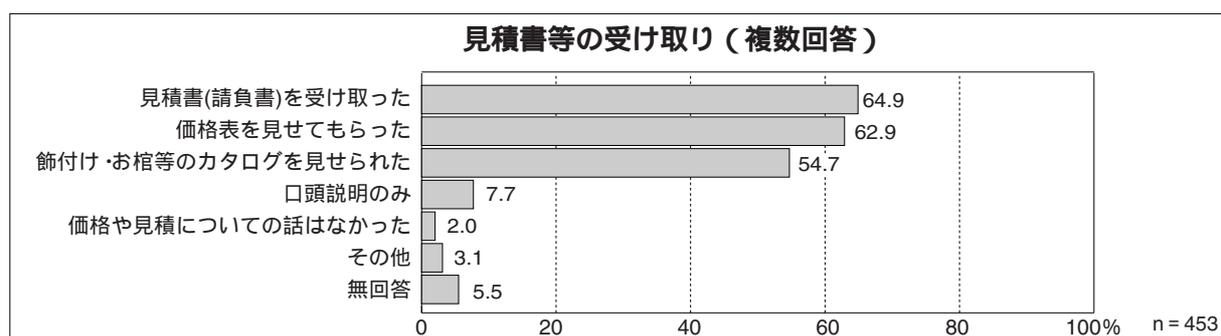
費用決定の最優先要因と支払った平均費用の関係を見ると、「家柄・地位」を優先した人の支払った費用が一番高く、「葬儀の予算枠」を優先した人の支払った費用が一番安い。また、「故人の生前の希望」を優先したケースは、二番目に高いという結果になった。



(3) 見積書の受け取り

問27 葬儀の費用を決めたとき、価格表や見積書を受け取りましたか。(該当するもの全て)

費用決定の際に見積書を受け取っている人が全体の64.9%、価格表を見せてもらった人が62.9%であるが、口頭説明のみで契約している人が7.7%、価格や見積もりについての話をせずに契約している人も2.0%いる。



(4) 支払った金額と見積もりとの差

問28 葬儀の以来咲きに支払った金額は、最初の見積書(約束)金額どおりでしたか。

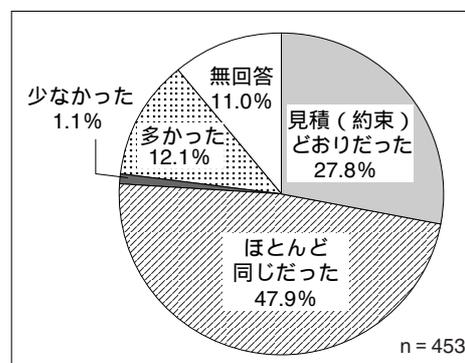
葬儀社に払った金額が見積もり通りであったかどうかを聞いたところ、「見積もりどおりだった」人は28%である。「ほとんど同じだった」人を合わせると、76%に達するが、逆にみると、見積もりでなかった人が過半数を超えるという結果になる。「見積もりよりも少なかった」はわずかであるが、「多かった」という人も12%いる。「多かった」という人にどの程度多かったか聞いたところ、約半数の人は2割以下であったが、「4割から5割」多かったとした人も3.6%いた。

少なかった理由

- ・割引があった。

多かった理由

- ・予想より参列者が多かったため、追加の費用がかかった。
- ・互助会の満期分より物価により値上がりしたと説明された。

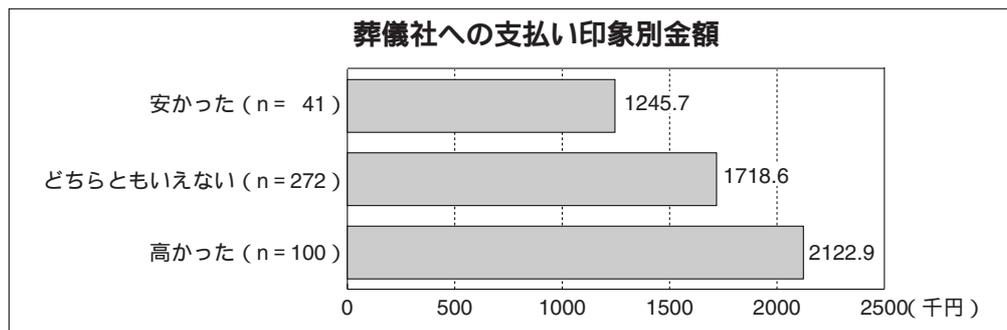


(5) 葬式の費用についての印象

問29 あなたは、お葬式の費用について（内容・サービスなどに比較して）どう感じましたか。それぞれの項目について1つに をつけてください。

葬儀社への支払い

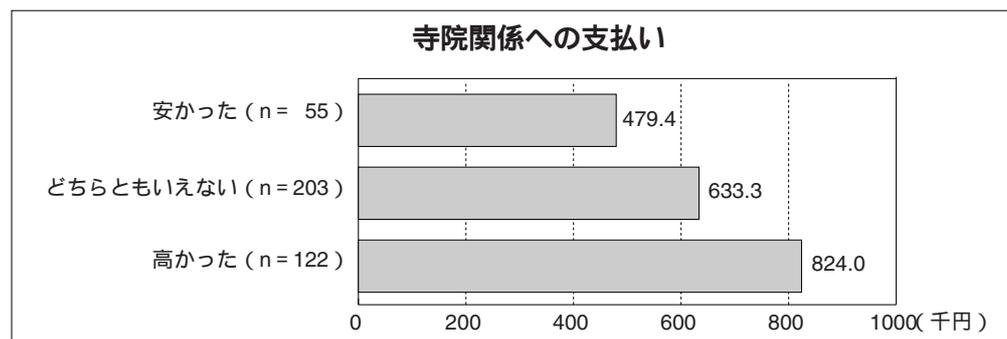
「高かった」と感じている人が22.1%であり、その支払額の平均は212万3千円である。「どちらとも言えない」と感じている人は60.0%で平均支払額は171万9千円、「安かった」と感じている人は9.1%で平均支払額は124万6千円である。



前回調査と比較すると「高かった」「どちらとも言えない」「安かった」の全てで、金額が高くなっており、前回「高かった」と感じた人の平均支払額である179万3千円は今回「どちらとも言えない」と感じた人の平均支払額である171万9千円に近い。

寺院関係への支払い

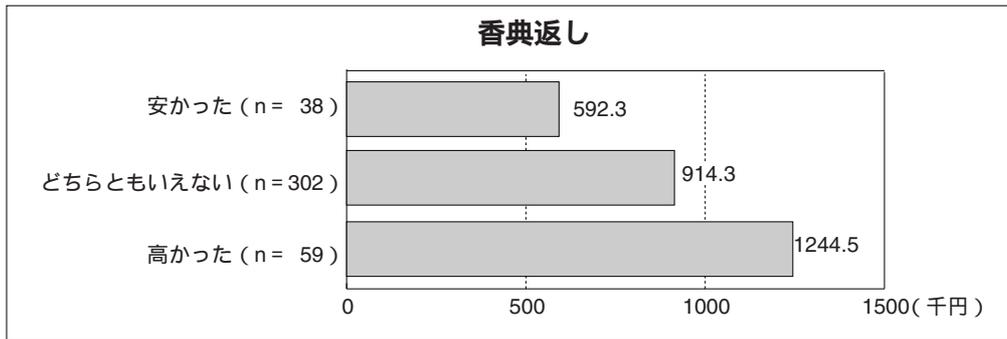
「高かった」と感じている人が26.9%であり、その支払額の平均は82万4千円である。「どちらとも言えない」と感じている人は44.8%で平均支払額は63万3千円、「安かった」と感じている人は12.1%で平均支払額は48万円である。



また、葬儀社への支払い金額と同様に、前回調査と比較すると「高かった」「どちらとも言えない」「安かった」の全てで、金額が高くなっている。

香典返し

「高かった」と感じている人が13.0%であり、その支払額の平均は124万5千円である。「どちらとも言えない」と感じている人は66.7%で平均支払額は91万4千円、「安かった」と感じている人は8.4%で平均支払額は59万2千円である。

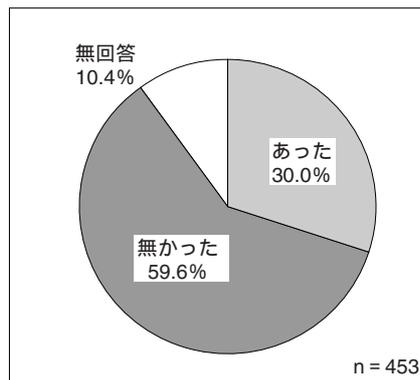


また、葬儀社への支払い、寺院関係への支払い金額と同様に、前回調査と比較すると「高かった」「どちらともいえない」「安かった」の全てで、金額が高くなっている。

(6) 予想外の出費の有無

問30 お葬式の際に予想外の出費はありましたか。ありましたらご自由にお書きください。

予想外の出費の有無についてきいたところ、「あった」と回答した人は30%（136人）であった。その主な内容は以下のとおりである。



付問30- 1 予想外の出費とは何でしたか。

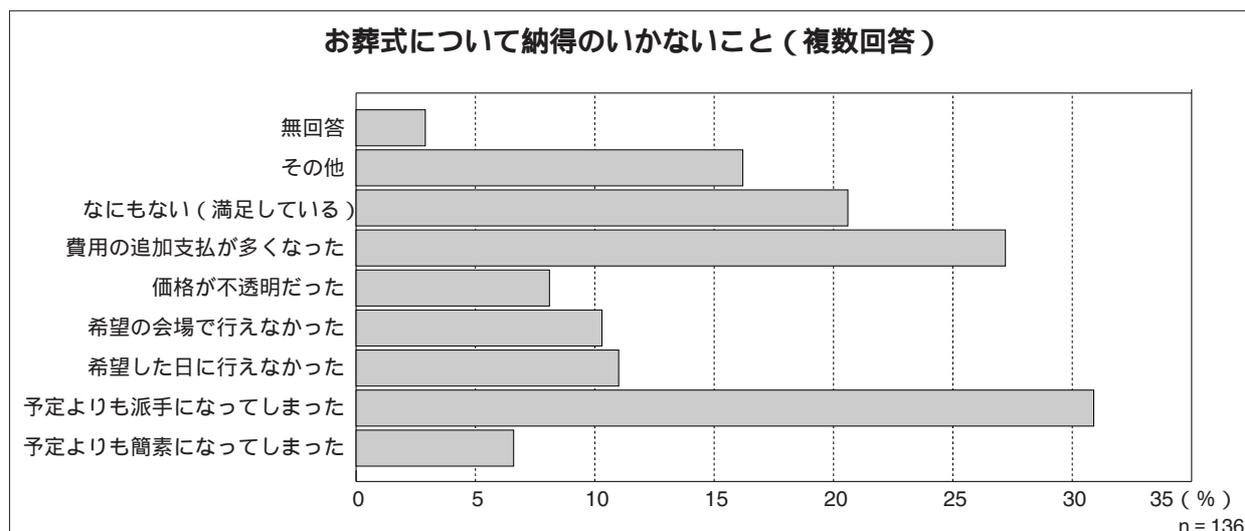
- ・手伝いの人へのお礼や火葬場の人への心づけ
- ・地方からの参列者の宿泊費、交通費
- ・料理・飲み物の追加
- ・大雪の当日で出席者が少なかったため、キャンセル料がかかった。
- ・花祭壇はすごく高い。斎場指定の骨壺がよくなかったので、後で買いなおした。
- ・いろいろなところでチップを請求され、10万近くかかった。
- ・僧侶の人数が多かったのと、位が高いということで寺院への支払いが高かった。

(7) お葬式で納得のいかなかったところ

問31 お葬式について、納得のいかないことはありましたか。あなたの考えに近いものにくとでも をつけてください。

葬儀を行なった際に納得のいかなかったことについて聞いたところ、「なにもない（満足している）」と回答した人の割合は20.6%に過ぎず、8割の人達は何らかの不満を持っているという結果になった。不満の多い項目について複数回答で聞いたところ、「予定よりも派手になってしまった」(30.9%)「費用の追加支払いが多くなった」(27.2%)が多く、それぞれ3割程度となっている。「その他」の主なものは以下のとおりである。

- ・火葬場がいっぱいということで、遺体を何日も家に置いておかなければならなかった。
- ・全体に費用が高い、低価格にしたいくても、選択肢がなかった
- ・病院に居た業者といつ遺体を運ぶ契約をしたのか不明
- ・故人が亡くなった瞬間に、葬儀の費用の相談をしなくてはならないのは、遺族の心情とかけ離れていた。
- ・初めてのことだったのであれこれと気づかないうちに、とんでもない出費になってしまった。
- ・納得のいかないというよりも、こういうものかと言ひ聞かせる事が多かった。



5 自由意見

(複数回答)

主な自由意見	年 代						
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
費用をなるべく抑える。							
家族・親族・親しい友人のみで簡素に行う	9	21	29	64	60	24	207
	16.4%	10.7%	12.9%	23.7%	29.9%	18.6%	19.3%
公的機関の施設を充実	0	1	2	5	9	8	25
	0.0%	0.5%	0.9%	1.9%	4.5%	6.2%	2.3%
お別れ会の形式で行いたい	3	11	12	7	41	11	85
	5.5%	5.6%	5.4%	2.6%	20.4%	8.5%	7.9%
その他	0	7	15	24	0	0	46
	0.0%	3.6%	6.7%	8.9%	0.0%	0.0%	4.3%
小 計	12	40	58	99	110	43	362
	21.8%	20.4%	25.9%	36.7%	54.7%	33.3%	33.7%
慣習にとらわれない。故人の遺志を尊重	5	16	35	38	55	36	185
	9.1%	8.2%	15.6%	14.1%	27.4%	27.9%	17.2%
世間の慣習に従った葬儀を行う	1	7	6	10	14	17	55
	1.8%	3.6%	2.7%	3.7%	7.0%	13.2%	5.1%
葬儀は不要。散骨を行う	1	8	7	6	6	7	35
	1.8%	4.1%	3.1%	2.2%	3.0%	5.4%	3.3%
香典返しの習慣をなくす	2	5	7	27	14	4	59
	3.6%	2.6%	3.1%	10.0%	7.0%	3.1%	5.5%
葬儀業者への不満	13	19	24	8	4	5	73
	23.6%	9.7%	10.7%	3.0%	2.0%	3.9%	6.8%
寺や僧侶への不満	3	4	5	8	9	1	30
	5.5%	2.0%	2.2%	3.0%	4.5%	0.8%	2.8%
日頃から家族で話し合う	0	7	6	3	2	3	21
	0.0%	3.6%	2.7%	1.1%	1.0%	2.3%	2.0%
生前葬や生前予約	0	17	6	0	0	0	23
	0.0%	8.7%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%
考えていない	4	9	8	8	13	6	48
	7.3%	4.6%	3.6%	3.0%	6.5%	4.7%	4.5%
その他	17	63	63	65	33	29	270
	30.9%	32.1%	28.1%	24.1%	16.4%	22.5%	25.1%
アンケート回答数	55	196	224	270	201	129	1075
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

自由意見から（抜粋）

形式にとらわれない、簡素な葬儀

- ・これからの葬儀は、あまり派手にしなくとも良いと思う。本当に家族と共にのお別れが出来ればよい。無駄を省いて、残された人が思い出をしっかりと作っていく事が大切だと思う。（50代 女）
- ・遺言と一緒に文章化して置く。近親者のみで密葬。その後、知人、友人宛、さよなら挨拶状（生前用意）を郵送してもらおう。（60代 女）
- ・見積もりは、はっきりしていた方が良い。親しい人だけで、やって欲しい。戒名など無くても良い。生前の名前で良いと思う。（70代 女）
- ・皆で区民葬を利用するようになると良いと思います。（70代 男）
- ・ここ数年おつきあいの無かった人でも、遠くから駆けつけて来るのは不思議でならない。自分の場合、ごく親しい友人と兄弟家族のみで行って欲しい。会社関係の人が大勢並ぶのは好まない。（20代 女）
- ・葬儀は恥かしくない程度に行なうものと考えていたが、おじの葬儀で密葬を行なって以来、考え方が変わった。近しい人達が心を込めて見送ってあげれば、祭壇などなくても充分すばらしい式となったからである。（30代 女）
- ・私自身が死亡の場合、散骨で済ませてくれれば良いと思いますが、自分の母親が亡くなった時、式を行わないのは、あまりにも呆気なく淋しいと思います。やはり、親しい人で集まって、故人を偲ぶ事は必要であると思います。（40代 女）
- ・自分の葬儀の時には花いっぱいのお別れ会が良いと思います。（70代 女）
- ・故人を偲ぶ気持ちが表れるような式にしたい。（70代 女）

葬儀は自由に

- ・必要な物だけ選択できる形で葬儀を行なえると良いと思います。予算を決めて組んでもらうのではなく、こちらで完全にビデオや写真などで見て金額を単品での合算で。価格が不透明でない業社が増え、故人が赤と白の花が好きなら、それを飾れるように自由であっていいと思います。（20代 女）
- ・盛大にしたい人は盛大に、簡素にしたい人は簡素にしたら良いと思う。今後は簡便化されて行くものと思っています。（60代 男）
- ・良い寺院、僧侶、お墓と偶然のチャンスに巡り合え求めることが出来て戒名もつけて頂いたので心安らかに暮らせることができる。葬儀も、おおよそのことは解っており安心している。健康で過ごせることに感謝し、少しでも、ご恩返しして行くことが、これからの課題と思っている。葬儀はこうあるべきというものではない。自由に。（60代 女）

葬儀は不要

- ・葬儀は不要。野生動物の様に静かに消え去り森に帰って土に戻りたい。（70代 男）
- ・お金のあまりない老人に葬儀は要らない。（70代 女）

葬儀は必要

- ・特別金をかける必要はないが、参列して下さる方に失礼のないような、又、故人の冥福を祈る常識的な葬儀は今後も続けてほしいと思う。（60代 女）
- ・葬儀は必ずやらなければならないし、知人であれば行くべきものと思っています。この先も絶対になくならないと信じてますが、いざ葬儀（親等）をしなければならなくなった際には、どこに何

を聞けばいいのか全く知らないで、もっと情報を（知っておくべきものは）得られる所の公開を願います。（どこが幾ら位で、サービスの質はどうか等の一覧表のようなものを得たいです。）

（20代 女）

- ・葬儀は故人との最後のお別れの儀式です。親しかった方なら、なおさら、この儀式を通して気持ちを吹っ切ることが出来るような気がします。実際は費用がかかるものというイメージがありますが、出来るだけ、その土地の風習等に合わせて行いたいと思う。（20代 女）
- ・あまりさびしい葬儀にしたくない。お骨を拾う人が多い方が良い。（30代 女）
- ・私としては葬儀は行わず、静かに消えて行きたいと思うのですが、残された者達にとっては一度で皆に知らしめ、お別れをするという型は、先人の知恵の様な気がします。遺族もやらなければならない事がある事で、気がまぎれる。静かに家族だけでいたら、いつまでも悲しみを引きずってしまおうと思う。（60代 女）
- ・葬儀は最後のお別れであるから必要な行事だと思う。（70代 女）
- ・自分だけなら散骨で、葬儀など無くて良いと思いますが、残された人の心のくぎりを見ると、お葬式を行い、別れをした方が良いのかと思います。それも遺族だけでなく、出席したい人が気軽に行ける（香典など無い）式が良いと思う。（50代 女）

葬儀は人並みに

- ・両家の父の葬儀を行なってみて、ごく普通に慣習通りに行なうのが、遺族にとっては一番楽で、それで良いと思いました。亡くなった方の遺志も大切だと思いますが、その通りにすることが、かえってとても大変なものになる場合もあると感じました。遺族にとっては、ごく普通が良いと思います。（50代 女）
- ・人並みの葬儀をして欲しい（旧家、伝統ある家柄のため）。（70代 女）
- ・私は葬儀というのは、故人との別れの儀式だと考えているので、もし自分の家族が亡くなった場合は、大多数の人が行っている、「普通」の葬儀をしたいと思うし、自分が死んだ時も、そうしてほしいと思っている。ただ、病院で亡くなった場合、その病院に出入りしている葬儀社と半強制的に契約させられる場合があると聞いた。けしからん話だと思う。（30代 女）

自分の体験から

- ・看護の疲れがピークの中、父は他界した。自分の気持ちが、どこにあるのか。ただただ疲れた体と張りつめた神経。本来なら、人前にさらす姿ではない。しかし、すぐに葬儀の手配。葬儀自体は、下町のせいか町内会の人が、とても手際よく運んでくれた。「これは、これでいいんですか」そう聞かれても、「普通は、どうするのでしょうか」と、答えにならない答えを繰り返し、通夜、葬式と二日間が、来てくださった人達へ頭を下げっぱなしの時間が流れた。時がすぎ、葬式の事を思い出すたび、父に対して、今ならこうしてやれたのに、こうしなければということが思われる。ゆっくり語る間もなかった。ただただ流れの中で終わった。私の時は、遺族に同じ思いをさせたくない。自分の葬儀の時はと、ことあるごとに口にはしている。やはり、きちんと書き残しておこう。やってくれる、くれないはかまわない。（40代 女）
- ・私は現在地元の町内会長です。（1991年から10年になりました。）その以前（18年位前）は生活学校の運営委員長を14年間務めていて港区内の4つの生活学校が一緒になって（生活学校連絡協議会として）「葬儀の簡素化運動」を展開（香典の出費を減らすために「お返し無しのお願ひ」のカードを作ったり、香典袋に印刷したり、「お清め」飲み食いの席を止めましょう等）一時は新

聞にも取り上げられて、地方からも「共感」のお便りをいただいたり活発な活動をしました。しかし、仲間の生活学校の委員長さん自身の御家族が亡くなった時、その委員長さんも（御主人が政治家の）立場もあって、大変悩まれた揚句、世間並み（香典も普通に戴き、お返しもする）の葬儀を執行され、慣習から抜け出る困難さを感じたのでした。その後、私主宰の生活学校はバブルで転出する幹部や高齢化のため解散、その前後から町内会に関わり出したので「簡素化」を取り入れようとはしましたが、役員達に共感を得られず、放棄せざるを得ませんでした。そして、10年前、父が亡くなった時には、私も「世間並み」の葬儀を執行してしまい、慣習に立ち向かう難しさが身に沁みています。「簡素化」等は、おくびにも出さず、町内の葬儀をお手伝いしている状態です。（70代 女）

- ・私事で、舅が亡くなった時（決まっているようになっている葬儀屋さんがあります）、当事者はもうおまかせするしかない状態でした。「お宅様の場合は旧家ですから、一番上の方が宜しいでしょう」との事で依頼した事は、落ち着いて考えたら随分無駄な費用がかかりました。葬儀屋の方で段階を進めて、町内会とかの習慣でいいなりになるようになった経験は、少しずつ改善すべきだと思っています。費用が不透明だと感じています。必ず経験する事なので良い案をとっています。（60代 女）
- ・主人を急に亡くし、何の用意もなく、バタバタとやってしまい、葬儀社に一般の下でとお願いしたのに、祭壇や骨壺、焼き場が特別になっていました。でも高い葬儀であったと思いますが、主人の為には良かったと満足しています。只、私の場合は、区民葬で良いと子供には話しております。立派な葬儀は私の満足だけで、その後が大変ですから。（50代 女）

その他

- ・必ず誰にでも起こることなのに、それをネガティブなことと考え、考えることを避けたいという考えから、今まで真剣に考えたことがありませんでした。多分、そういったことが起きてから考えるか、あわてると思うので、保険会社というのも一つ便利なサービスだと思いました。でも、やはり知っておいた方が良いので、情報を公開するのも良い考えだと思います。（20代 女）
- ・問12で散骨の事が書かれていたが、実際、遺族など残された方達が、散骨を行なうには、その手間（場所が遠くであったり、海山等に行かなければならない等）が、思った以上に大変であると聞いている（本等で）。遺言するのは簡単だが、残された方達に負担になるような葬儀は慎むべきだと思う。私は残された方達が気のすむように行なえば、それで十分ではないかと思うのです。結局は生きている人の気持の問題ではないでしょうか。（30代 女）
- ・葬儀は合理化されシステム化され、どこの葬儀社に頼んでも同じ様なサービスが同価格でパッケージされている様になるのがいい。（30代 男）

調査票及び単純集計表

(都民側調査)

葬儀に関わる費用等実態調査

毎日の生活の中で突然起こる葬儀について、日頃から心がけておられることや葬儀費用がどの程度必要なのか、葬儀にかかわる交際費はどの程度支出されているか、また、葬儀についてどのような意識や価値観をお持ちになっているかなどについてお伺いします。

1. この調査で「葬儀」とは、「お通夜」「告別式」等、人が亡くなった際に行われる儀式全体を指しています。
2. 回答は、選択するものは該当項目を で囲み、それ以外は、指定箇所に記入してください。
3. 回答していただいた中身は、本調査の目的以外には使用しません。また、調査結果は、統計的に処理して扱いますので、個々の回答者が特定されるようなことはありません。
4. 全て記入できましたら所定の欄にコード番号、氏名、住所、電話番号を記入のうえ、同封の封筒に入れて返送してください。

標本数 1,500

有効回答数 1,344

葬儀にかかわる費用等調査

フェースシート

F 1〔性別〕性別は

1. 女	77.8
2. 男	22.2

F 2〔年齢〕年齢は

1. 20代	6.8
2. 30代	15.1
3. 40代	18.1
4. 50代	22.1
5. 60代	26.5
6. 70歳以上	11.5

F 3〔家族形態〕あなたのご家族を、次のように分類した場合、どれにあたりますか。

1. 一人暮らし	9.6
2. 「夫婦」のみ	22.4
3. 「親」と「子供」	58.3
4. 「親」と「子供夫婦」と「孫」	8.2
5. その他（具体的に)	1.5

F 4〔住居形態〕お住まいは、次のように分けるとどれにあたりますか。

1. 一戸建住宅	57.4	
2. マンション・アパート等の集合住宅	41.8	
3. その他（具体的に)	0.6	無回答 0.1

F 5〔世帯年収〕お宅全体での昨年1年間の収入はおよそどのくらいでしたか。

1. 300万円未満	12.9	
2. 300～450万円	16.2	
3. 450～600万円	17.2	
4. 600～800万円	18.9	
5. 800～1000万円	14.1	
6. 1000～1250万円	11.6	
7. 1250～1500万円	4.4	
8. 1500万円以上	3.6	無回答 1.2

意識調査

問1 あなたは、葬儀についてどのように考えていますか。次のなかから1つあげてください。

- | | | |
|---------------------------|------|---------|
| 1. 葬儀は故人とのお別れをする慣習的なものである | 65.6 | |
| 2. 葬儀は遺族のために行う儀式である | 6.5 | |
| 3. 葬儀は故人の冥福を祈る宗教的なものである。 | 24.6 | |
| 4. その他 () | 1.5 | 無回答 1.8 |

ご家族の葬儀についてお伺いいたします

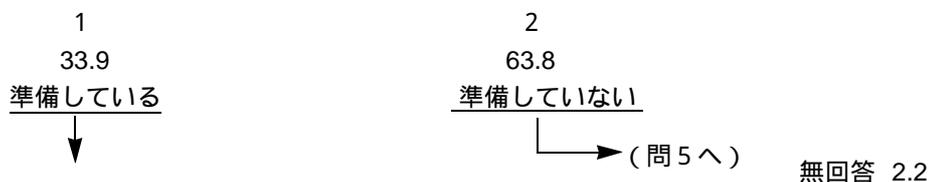
問2 あなたは、ご家族の葬儀を行う場合についてどのように考えていますか。次のなかから1つあげてください。

- | | | |
|------------------------|------|---------|
| 1. 葬儀は故人の遺志を反映したものにしたい | 69.3 | |
| 2. 葬儀は遺族の気の済むようにしたい | 10.7 | |
| 3. 葬儀は人並みに行えればよい | 17.0 | |
| 4. その他 () | 1.6 | 無回答 1.3 |

問3 あなたは、ご家族の葬儀の規模についてどのように思いますか。1つあげてください。

- | | | |
|-----------------------------|------|---------|
| 1. お金をかけてでも立派に行いたい | 0.5 | |
| 2. 多少のお金はかかっても、人並みのことは行いたい | 40.9 | |
| 3. あまりお金をかけずに親しい人とごんまりと行いたい | 51.0 | |
| 4. その他 () | 6.1 | 無回答 1.4 |

問4 あなたは、ご家族の葬儀のためにふだんから何か準備をしていますか。



付問4-1 どのような準備ですか。次のなかからいくつでも挙げてください。

ST = 456

- | | | |
|------------------|------|---------|
| 1. 葬儀の費用を預貯金している | 51.1 | |
| 2. 互助会に入っている | 44.3 | |
| 3. 連絡先を決めている | 27.9 | |
| 4. 葬儀の段取りを決めている | 11.4 | |
| 5. その他 () | 9.6 | 無回答 0.4 |

問5 あなたが葬儀社を選ぶとしたら、どの基準を最も重視しますか。(3つまで)

- | | | | |
|-----------------|------|-----------------------|---------|
| 1. 契約手続きが簡単である | 17.5 | 5. わからないことを丁寧に説明してくれる | 58.4 |
| 2. 価格体系が明朗である | 70.5 | 6. 社会的信用がある | 23.5 |
| 3. 出費を抑えられる | 21.5 | 7. 親族・知人からの紹介である | 14.1 |
| 4. サービスが行き届いている | 40.7 | 8. その他 () | 6.3 |
| | | | 無回答 2.8 |

あなたご自身の葬儀についてお伺いします。

問6 あなたは、ご自分の葬儀のために何か準備をしていますか。

1	2	
34.4	64.8	
準備している	準備していない	
↓	└─▶	(問7へ)
(付問6-1へ)		無回答 0.8

付問6-1 どのような準備ですか。次のなかからいくつでも挙げてください。

ST=462

1. 連絡先を決めている	31.2
2. もしもの時に葬儀を託す人を決めている	27.3
3. 家族に自分の葬儀について話している	40.5
4. 葬儀の段取りを決めている	7.1
5. 遺言を作っている	10.4
6. 葬儀の費用を預貯金している	40.7
7. 互助会に入っている	29.2
8. 葬儀社や価格を調べている	10.8
9. 生命保険を葬儀の費用にあてるようにしている	47.0
10. その他()	4.1

問7 あなたは、ご自分の葬儀の規模についてどのように思いますか。1つあげてください。

1. お金をかけてでも立派に行ってほしい	0.3
2. 多少のお金はかかっても人並みのことは行ってほしい	12.6
3. (あまりお金をかけずに) 親しい人とごんまりと行ってほしい	59.1
4. 行ってほしくない(家族だけで埋葬してほしい)	13.8
5. その他()	3.3
6. 考えたことがない	8.9
	無回答 2.1

問8 あなたは、ご自分の葬儀をどのような様式で行ってほしいですか(は1つ)

1. 伝統的な様式で行ってほしい	19.0
2. 形式にとられない形の「お別れ会」等を行ってほしい	46.6
3. お葬式はやってほしくない	9.1
4. その他()	8.4
5. 考えたことがない	16.4
	無回答 0.4

問9 ご自分で生きているうちに関係者の方々とお別れをする生前葬が行われていますが、あなたはこのことをご存じですか。

1	2	
78.2	20.8	
知っている	知らない	無回答 1.0

問10 あなたは生前葬についてどう思いますか。

1. 是非やってみたい	0.2
2. 関心があり、機会があればやってみてもよい	1.6
3. 関心はあるが、今はわからない	20.5
4. 関心はあるが、自分はやりたくない	27.2
5. 関心がない	29.5
6. その他()	1.3
7. 考えたことがない	17.4
	無回答 2.4

問11 あなたは、ご自分のお墓についてどのようにお考えですか。次のなかから1つあげてください。

- | | | |
|------------------|------|---------|
| 1. 自分の先祖のお墓に入る | 22.1 | |
| 2. 配偶者の先祖のお墓に入る | 24.8 | |
| 3. 今後家族とはいるお墓を買う | 13.4 | |
| 4. 今後自分のお墓を買う | 3.0 | |
| 5. 合葬形式の共同墓にはいる | 4.1 | |
| 6. その他() | 17.1 | |
| 7. 考えたことがない | 14.4 | 無回答 1.2 |

問12 あなたは、ご自分の骨を散骨したいと思いますか。散骨とは、遺骨を骨灰などにして、お墓以外のところにまくことです。

- | | | |
|------------------------------|---|---------|
| 1
25.4
<u>したい</u>
↓ | 2
71.6
<u>したくない</u>
└─→ (問13へ) | 無回答 3.0 |
|------------------------------|---|---------|

付問12-1 散骨したい理由は何ですか。(は1つ)

- ST=342
- | | | |
|----------------------|------|---------|
| 1. 早く自然に帰れる方がよい | 28.4 | |
| 2. 海・山等が好きだから | 13.5 | |
| 3. 思い出に残るところがあるから | 5.3 | |
| 4. お金がかからなくてすむから | 6.1 | |
| 5. 大都市圏では墓地の確保が困難だから | 6.4 | |
| 6. 今後はこの形態が望ましいから | 21.9 | |
| 7. その他() | 17.5 | 無回答 0.9 |

問13 生前に自分の葬儀を予約し、連絡先から葬儀の規模一切を保険会社などにまかせて経費の支払いをすませてしまうという生前予約のシステムが最近話題になっていますが、あなたはご存じですか。

- | | | |
|--------------------|-------------------|---------|
| 1
29.7
知っている | 2
69.0
知らない | 無回答 1.3 |
|--------------------|-------------------|---------|

問14 その生前予約のシステムを利用したいと思いますか。(は1つ)

- | | | |
|----------------------------|------|---------|
| 1. すでに利用している | 0.1 | |
| 2. 今後、利用したい | 1.5 | |
| 3. システムがよくわからないので様子を見て決めたい | 27.8 | |
| 4. 便利なシステムだが今は利用したくない | 12.7 | |
| 5. 利用したくない | 24.0 | |
| 6. その他() | 1.7 | |
| 7. 考えたことがない | 28.0 | 無回答 4.2 |

あなたが参列された葬儀についてお伺いいたします。

問15 あなたは、この1年間にどなたかの葬儀に参列したことがありますか。

1	2
72.0	28.0
ある	ない
↓	↓
(問16へ)	(問19へ)

問16 あなたがこの1年間に参列したお通夜や告別式についてそれぞれの回数とどなたのお葬式だったかをお答え下さい。

	親 族	仕事関係	友人・知人	そ の 他	平 均
お通夜のみ	1.4 回	2.0 回	2.2 回	1.8 回	2.5 回
告別式のみ	1.3 回	1.5 回	1.4 回	2.0 回	1.7 回
お通夜と告別式	1.4 回	1.8 回	1.8 回	2.1 回	2.0 回
回答者平均	1.6 回	2.3 回	2.7 回	2.2 回	2.5 回

問17 あなたはこの1年間、家族や親戚、親しい人が亡くなったときに、いくらぐらい香典を支出しましたか。それぞれ回数と1年間の合計額をお答え下さい。

亡くなった人	回 数	一回当たりの香典額	一年間の合計額	回答数
1 自分の親	1.0 回	75,164 円	80,167 円	81
2 配偶者の親	1.1 回	85,500 円	89,250 円	57
3 自分の祖父母	1.0 回	20,263 円	20,263 円	23
4 配偶者の祖父母	1.1 回	25,417 円	27,917 円	15
5 自分の兄弟姉妹	1.1 回	46,792 円	50,417 円	62
6 配偶者の兄弟姉妹	1.1 回	55,248 円	60,851 円	49
7 親戚	1.4 回	21,867 円	31,302 円	387
8 知人・友人・その家族	2.3 回	7,452 円	16,757 円	586
9 近所の人	2.2 回	6,311 円	13,931 円	299
10 上司・同僚・部下・その家族	1.7 回	7,100 円	11,327 円	110
11 仕事関係・その家族	2.5 回	7,916 円	19,326 円	173

無回答 390

問18 あなたはお香典返しをもらったことについてどう思いますか。

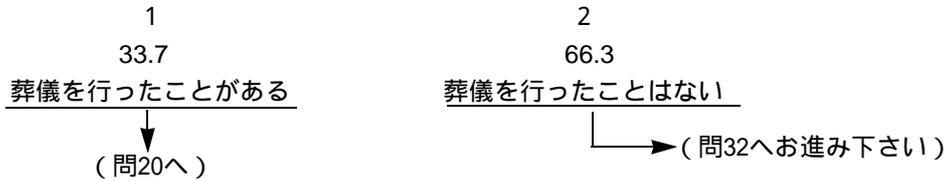
ST=968

1. お返しするのが当然だと思う	14.7	
2. 慣習を改めていくべきだと思う	50.0	
3. お返しの必要は全くないと思う	18.7	
4. お返しに代えて寄付をする形がいいと思う	5.8	
5. その他 ()	5.8	無回答 5.1

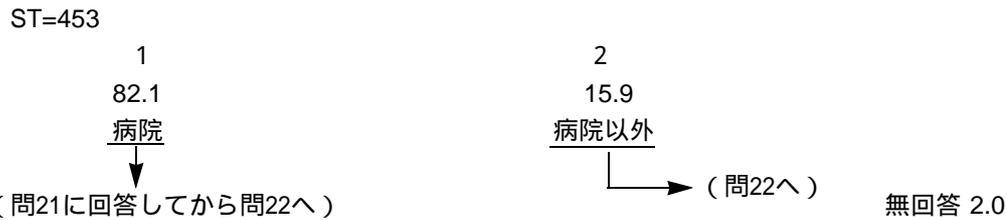
費用調査

ここから先は、あなたが実際に葬儀を行った経験についてお伺いいたします。

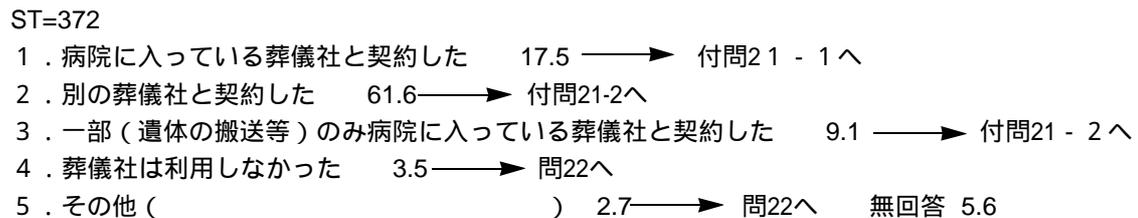
問19 この5年の間に、都内でご家族の葬儀を行ったことがありますか。



問20 故人はどこで亡くられましたか。

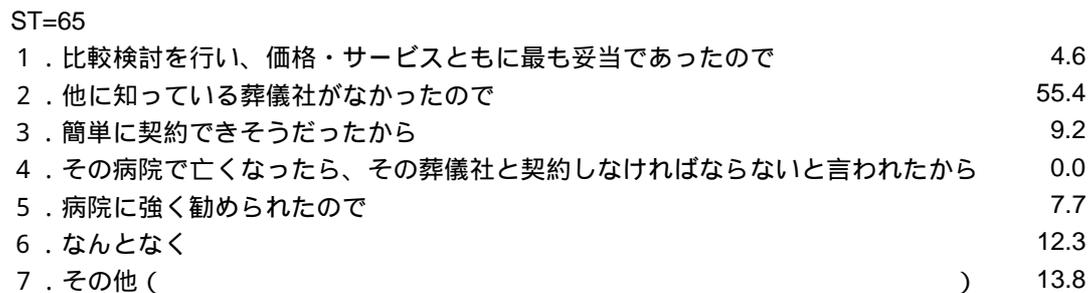


問21 あなたは、その病院に入っている(「その病院と契約している」又は「その病院の紹介する」)葬儀社と契約しましたか。



(病院に入っている葬儀社と契約した方に伺います。)

付問21-1 なぜ、その葬儀社を選びましたか。



(病院に入っている葬儀社と契約しなかった方、一部しか契約しなかった方に伺います。)

付問21-2 なぜ、別の葬儀社と契約しましたか。



問22 葬儀は何式で執り行いましたか。

ST=453

1. 仏式 (差し支えなければ宗派をご記入ください)	85.0	4. 無宗教	4.0
2. 神式	4.0	5. 他 ()	2.4
3. キリスト教式	2.9		無回答 1.8

問23 葬儀の会場はどこでしたか

ST=453

1. 自宅	11.3	→ 問24へ	
2. 集会場	8.6	→ 問24へ	
3. 公営の斎場 (火葬場付設のものを含む)	14.6	→	
4. 民間の斎場 (火葬場付設のものを含む)	32.0	→ 付問23-1へ	
5. 寺の斎場	25.8	→	
6. 教会	2.6	→	
7. その他 ()	2.2		無回答 2.9

付問23-1 その斎場を選んだ理由は何ですか。(はいくつでも)

ST=340

1. 参列者にとって交通の便がいいから	38.5	
2. 斎場が広く、設備が整っているから	39.4	
3. 駐車場があるから	27.1	
4. 使用料が安かったから	10.0	
5. サービス・雰囲気が良いから	10.3	
6. 檀家だから	16.8	
7. 葬儀社の紹介で	24.7	
8. 契約した葬儀社の経営している斎場だから	11.5	
9. 日程上、その斎場にせざるをえなかった	8.5	
10. その他 ()	16.8	無回答 2.1

以下、問24および問25は、あなたが過去5年間に都内でお葬式を経験し、費用をご存じの場合のみ回答してください。回答は、記憶にたよらず、なるべく領収書等の記録を参照の上記入してください。

問24 あなたは、家族、親戚、友人の葬儀費用を支払う際にどのくらい支払いましたか。各項目についてお答えください(2回以上ある場合は最近の一回についてお答えください)

項 目	金 額				集計数
	万			千円	
	百	十	一		
(1) 葬儀社への支払	1	7	6	9	363
そのうち飲食・接待費 (飲食・接待費が含まれていない方はゼロを記入してください)		2	9	3	276
(2) 寺院関係への支払		6	4	3	313
そのうち戒名料		3	8	2	231
(3) 香典返し		9	1	1	329
(4) 飲食・接待費((1)に含まれない飲食・接待費がある方のみお答えください)		3	6	3	223
(5) その他(具体的に)		2	3	2	151

付問24-1 その葬儀の参列者は何人ぐらいでしたか

約 201.7 人

問25 葬儀を依頼したとき、葬儀の費用についてはどんな決め方をしましたか。

ST=453

- | | | |
|--------------------|------|----------|
| 1. 葬儀一式の総額で決めた | 19.6 | |
| 2. 個別に組み合わせて金額を決めた | 36.4 | |
| 3. およその金額だけ決めた | 7.3 | |
| 4. 内容だけで決めた | 6.8 | |
| 5. 一切を葬儀社に任せた | 16.8 | |
| 6. その他 () | 2.6 | 無回答 10.4 |

問26 葬儀費用(または規模)を決めたとき、最優先した要因はなんですか。(1つ)

ST=453

- | | | |
|---------------------------|------|---------|
| 1. 親族の意見 | 33.3 | |
| 2. 故人の生前の遺言および希望 | 10.2 | |
| 3. 地域の習慣や町内会・自治会などの世話役の助言 | 7.9 | |
| 4. 家柄・故人および喪主の社会的地位 | 9.9 | |
| 5. 葬儀の予算枠 | 8.6 | |
| 6. 葬儀社・互助会等の助言 | 19.4 | |
| 7. その他 () | 3.3 | 無回答 7.3 |

問27 葬儀の費用を決めたとき、価格表や見積書を受け取りましたか。(該当するもの全て)

ST=453

- | | | |
|-------------------------|------|---------|
| 1. 見積書(請負書)を受け取った | 64.9 | |
| 2. 価格表を見せてもらった | 62.9 | |
| 3. 飾り付け・お棺などのカタログを見せられた | 54.7 | |
| 4. 口頭説明のみ | 7.7 | |
| 5. 価格や見積もりについての話は何もなかった | 2.0 | |
| 6. その他 () | 3.1 | 無回答 5.5 |

問28 葬儀の依頼先に支払った金額は、最初の見積書(約束)金額どおりでしたか。

ST=453

- | | | |
|--------------------|------|----------|
| 1. 見積(約束)どおりだった | 27.8 | |
| 2. ほとんど同じだった | 47.9 | |
| 3. 少なかった(割程度、理由) | 1.1 | |
| 4. 多かった(割程度、理由) | 12.1 | 無回答 11.0 |

問29 あなたは、お葬式の費用について(内容・サービスなどに比較して)どう感じましたか。それぞれの項目について1つに をつけてください

ST=453

	高かった	どちらともいえない	安かった	無回答
(1) 葬儀社への支払い	22.1	60.0	9.1	8.8
(2) 寺院関係への支払い	26.9	44.8	12.1	16.1
(3) 香典返し	13.0	66.7	8.4	11.9
(4) 飲食接待費	25.8	57.2	7.5	9.5

問30 お葬式の際に予想外の出費はありましたか。ありましたらご自由にお書きください。

ST=453

1

30.0

あった



(付問30 - 1へ)

2

59.6

無かった



(問32へ)

無回答 10.4

付問30-1 予想外の出費とは何でしたか

()

葬儀の満足度についておたずねします。

問31 お葬式について、納得のいかないことはありましたか。あなたの考えに近いものいくつかをつけてください。

ST=136

- | | |
|-----------------------------|------|
| 1. 自分が予定していたものよりも、簡素なものとなった | 6.6 |
| 2. 自分が予定していたものよりも、派手なものとなった | 30.9 |
| 3. 希望した日に行うことができなかった | 11.0 |
| 4. 希望した会場で行うことができなかった | 10.3 |
| 5. 価格が不透明だった | 8.1 |
| 6. 費用の追加支払が多くなってしまった | 27.2 |
| 7. なにもない(満足している) | 20.6 |
| 8. その他() | 16.2 |

付問31-1 葬儀社や互助会のサービス等に苦情を言ったことがありますか。

ST=136

1

21.3

ある



(付問31-2へ)

2

77.9

無い



(問32へ)

無回答 0.7

付問31-2 苦情を言ったときの対応はどうでしたか。

ST=29

- | | |
|-----------------|------|
| 1. 誠実に対応してくれた | 27.6 |
| 2. 出来ない理由を説明された | 31.0 |
| 3. なにもしてくれなかった | 17.2 |
| 4. その他() | 20.7 |
- 無回答 3.4

自由記述

全員の方にお聞きします

問32 あなたの葬儀についての日頃のお考えや、今後、葬儀はどのようになっていくのがいいと思っておられるか等について自由にお書き下さい。

()

ありがとうございました

(企業側調査)

葬儀に関わる費用等実態調査(企業アンケート)

平成13年8月

毎日の生活の中で突然起こる葬儀について、日ごろから何を心がけておいたらよいか、また、費用はどの程度必要なのか等をお伺いしたいと思います。社葬を除いて、個人葬についてのみお答えください。

1. この調査で「葬儀」とは、「お通夜」「告別式」等、人が亡くなった際に行われる儀式全体を指しています。
2. 回答はすべて回答用紙に記入してください。
3. 選択肢で答える問は、回答用紙の選択肢の番号に を付けてください。
4. すべて記入できましたら、同封の封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。

(実態調査)

問1 貴社では、どのような形態の葬儀サービスを取り扱っていますか。次の中からいくつでもお答えください。

1. 仏教	96.1	5. 音楽葬など特別な葬儀	75.5
2. キリスト教	87.1	6. 学会葬(友人葬)	76.1
3. 神道	90.3	7. その他()	31.6
4. 無宗教	91.6		無回答 1.3

問2 貴社では、主にどのようにして費用を決めていますか。1つお選びください。

1. 葬儀一式で料金が決まっている	4.5	
2. 基本部分のセット料金に見積をたしていく	51.6	
3. 全部見積でだす	38.1	
4. その他()	2.6	無回答 3.2

問3 貴社では業務を請け負ったとき、文書で見積を交わし(見積書を作成し)ますか。1つお選びください。

1. 必ず交わす	94.2	
2. 施主からの要求があれば交わす	3.2	
3. 口頭での約束のみ	0.0	
4. その他()	1.3	無回答 1.3

問4 貴社でこの1年間に扱った葬儀は、どのような斎場が多いですか。次の中から多い順に3つまで番号を記入して下さい。

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 自宅 | 5. 教会 |
| 2. 公営の斎場 | 6. 寺院 |
| 3. 民営の斎場 | 7. 集会場 |
| 4. 火葬場付設の斎場 | 8. その他() |

問5 貴社では、祭壇の運搬費や組立・解体費用、葬儀の進行管理、司会進行等に係る費用(人件費等)は、祭壇等の費用に含めていますか。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 含めている | 76.8 |
| 2. 含めていない | 13.5 |
| 3. その他() | 7.7 無回答 1.9 |

問6 貴社の葬儀に係る費用の内訳を最高クラス価格、最多クラス価格、最低クラス価格のそれぞれについてお書き下さい。また、それぞれの項目について、価格を何段階に分けているかお書き下さい。セット料金になっている場合は、おおよそで結構ですから回答用紙に次の1～18でお書き下さい。(社葬を除いてお答え下さい。)

	最高クラス				最多クラス				最低クラス				設置クラス (価格帯数)
	万			千円	万			千円	万			千円	
	百	十	一		百	十	一		百	十	一		
1. 祭壇	2	8	3	8		6	1	4		2	0	8	
2. お棺		9	0	7		1	2	6			6	3	
3. 位牌			4	2				7				3	
4. 霊柩車			5	4			3	8			2	0	
5. 会葬礼状・返礼品			4	7			1	7				8	
6. 遺影写真			6	4			2	8			2	0	
7. 天幕等外装設備		6	1	7		1	0	2			3	8	
8. 寝台車			3	9			1	9			1	4	
9. ドライアイス			1	3			1	1				8	
10. 生花・花環・供物等		1	1	5			3	2			1	5	
11. 後飾り祭壇			2	2			2	2			1	2	
12. その他の葬具 (線香、枕飾り等)			2	6			1	7			1	3	
13. 火葬料		1	6	3			5	2			4	2	
14. 骨壺			4	6			1	5			1	1	
15. ハイヤー・バス			5	4			3	9			3	3	
16. 式場使用料		6	2	4			1	9			8	0	
17. 貸衣装			2	0			1	2			1	1	
18. 心付け			3	9			2	2			1	2	

問7 貴社の葬儀価格を場所別に最高クラス、最多クラス、最低クラスに分けて問6の1～12の合計で回答用紙にお書き下さい。(社葬を除いてお書き下さい。)

	最高クラス				最多クラス				最低クラス			
	万			千円	万			千円	万			千円
	百	十	一		百	十	一		百	十	一	
1. 自宅	2	1	1	6		8	6	0		3	1	8
2. 寺院	3	8	6	3	1	1	5	0		4	8	1
3. 教会	2	2	3	7		8	5	5		3	9	5
4. 集会所	1	7	4	1		8	0	8		3	5	9
5. 公営の斎場	2	1	3	9		8	5	5		3	8	5
6. 民間の斎場	3	2	2	6	1	0	2	8		4	4	0

問8 寺院への支払を取り扱った場合の金額はいくらぐらいですか。その内戒名料はいくらぐらいですか。回答用紙の表にお書きください

	最高クラス				最多クラス				最低クラス			
	万			千円	万			千円	万			千円
	百	十	一		百	十	一		百	十	一	
寺院への支払	1	4	2	3		4	4	4		2	0	1
内戒名料		9	0	9		2	4	3		1	1	4

問9 飲食代はいくらぐらいですか。また、その一人当たり単価はいくらぐらいですか。回答用紙の表にお書きください

	最高クラス				最多クラス				最低クラス			
	万			千円	万			千円	万			千円
	百	十	一		百	十	一		百	十	一	
飲食代合計	1	3	7	1		4	0	2		1	1	0
一人当たり単価				6				4				3

問10 葬儀に関してかかる費用について最多クラス価格を回答用紙にお書き下さい。

1. 初七日の費用 13 万 0 千円
 2. その他(具体的に) 2 万 千円

問11 貴社では、月におよそ何件くらい葬儀を扱いますか。

26 件

問12 貴社には、継続的につきあいのある病院がありますか。

1 2
 40.6 55.5
 ある ない

無回答 3.9

問13 葬儀の際に、遺族との間に何かトラブルを生じたことがありますか。ありましたら、お教え下さい。

問14 葬儀の際に遺族からなにか要望をうけたことがありますか。ありましたら、お教え下さい。

問15 貴社では、生前契約を受け付けていますか。

1 . 78.1 <u>ある</u> ↓ (付問へ)	2 18.7 <u>ない</u> └─▶ (問16へ)	無回答 3.2
--	--------------------------------------	---------

付問 その内容はどのようなものですか。いくつでもお答え下さい。

ST = 121

1 . 葬儀の一切	95.9	4 . 保険の手続き	10.7
2 . 葬儀規模	62.8	5 . 経費の支払	28.9
3 . 訃報の連絡代行	17.4	6 . その他 ()	6.6

問16 貴社では将来的にどのようなサービスをお考えですか。具体的に御記入下さい。

問17 葬儀は今後どのように変わっていくと思いますか。1つだけお答え下さい。

1 . 今とあまり変わらない	0.6	
2 . 大規模に営む人が増える	0.0	
3 . 地味に営む人が増える	34.2	
4 . 無宗教の葬儀が増える	5.8	
5 . それぞれの考え方により、規模・やり方がバラバラになる	42.6	
6 . その他 ()	3.2	
7 . わからない	1.9	無回答 11.6

問18 都民が日頃から葬儀について心がけておくべきことがありましたらお教え下さい。

(フェースシート)

貴社の概要についておたずねします。

F 1 貴社(特定された事業所)は本社ですか、支社ですか。

1 . 単一事業所	58.7		
2 . 複数事業所の本社	32.9	▶付問 本社を含めた事業所数	4.8
3 . 複数事業所の支社	5.8		無回答 2.6

F 2 貴社の組織形態は次のどれにあたりますか。

1 . 個人経営	11.0	4 . 株式会社	49.7
2 . 有限会社	36.8	5 . その他 ()	
3 . 合名・合資会社	0.6		無回答 0.6

F 3 貴社の資本金は、次のどれにあたりますか。

1 . 500万円未満	31.0	5 . 5000万～1億円未満	1.3	
2 . 500万～1000万円未満	16.8	6 . 1億～5億円未満	1.9	
3 . 1000万～3000万円未満	39.4	7 . 5億円以上	1.3	
4 . 3000万～5000万円未満	2.6			無回答 5.8

F 4 貴社（特定された事業所）の従業員数（常勤・パート・アルバイトを含む）は何人ですか。

1 . 4人以下	25.2	4 . 30～49人	2.6	
2 . 5～9人	38.1	5 . 50～99人	2.6	
3 . 10～29人	25.2	6 . 100人以上	3.9	無回答 2.6

F 5 兼業している業種についてお答え下さい。（複数回答）

1 . なし	43.9	6 . 霊柩自動車	17.4	
2 . 生花店	6.5	7 . 不動産業	3.2	
3 . 造花店	8.4	8 . 互助会	10.3	
4 . 仏壇・仏具店	27.7	9 . その他（ ）	8.4	
5 . 斎場	19.4			無回答 3.9

貴社名		電話番号	
住所			
ご記入者名			

ご協力ありがとうございました。